

令和6年度
牧之原市 市民意識調査

～ 報告書 ～

令和6年6月
牧之原市

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 調査結果の要約	2
①牧之原市での暮らしについて	2
②女性にやさしいまちについて	3
③子育てについて	3
④教育について	4
⑤多文化共生について	4
⑥公共施設の最適化について	5
⑦産業・雇用について	5
⑧健康寿命について	5
⑨行政サービスのデジタル化について	6
⑩市からの情報発信について	6
⑪牧之原市の行政サービスについて	7
⑫全ての取組の満足度・重要度の評価点順位	8
(2) 調査結果の詳細	11
①牧之原市での暮らしについて	11
(1) 今後の居住継続意向	11
(2) 他の場所へ移りたい理由	13
(3) 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか	16
(4) 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか	19
(5) 牧之原市をおすすめしたい理由	22
(6) 浜岡原子力発電所の今後についての考え	25
②女性にやさしいまちについて	27
(7) 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか	27
(8) 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野	29
③子育てについて	31
(9) 牧之原市は子どもを育てやすい環境か	31
(10) 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組	33
④教育について	36
(11) 義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力	36
⑤多文化共生について	39
(12) 外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野	39
⑥公共施設の最適化について	41
(13) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの	41
(14) 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか	44
⑦産業・雇用について	46
(15) 牧之原市の各産業に活力があると思うか	46
⑧健康寿命について	54
(16) 健康について気を付けていること	54
(17) 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組	57

⑨行政サービスのデジタル化について	60
(18) 個人でインターネットを利用している端末	60
(19) デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること	63
⑩市からの情報発信について	66
(20) 市から得たい情報	66
(21) 市からの情報を得る媒体	69
⑪牧之原市の行政サービスについて	72
(22) 満足度・重要度について	72
(23) 満足度・重要度【防災】	73
(24) 満足度・重要度【健康福祉】	76
(25) 満足度・重要度【教育文化】	79
(26) 満足度・重要度【産業経済】	82
(27) 満足度・重要度【生活基盤】	85
(28) 満足度・重要度【市政経営】	88
⑫回答者自身のことについて	91
(29) 回答者の属性 ①性別	91
(30) 回答者の属性 ②年齢	91
(31) 回答者の属性 ③同居世帯の構成	92
(32) 回答者の属性 ④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ	92
(33) 回答者の属性 ⑤職業	93
(34) 回答者の属性 ⑥居住地域	93
3. 調査票	94

1. 調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取組に対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、令和5年度からスタートした第3次総合計画推進のための資料とすることを目的としています。

(2) 調査項目

- | | |
|--------------------|----------------|
| ①牧之原市での暮らしについて | ②女性にやさしいまちについて |
| ③子育てについて | ④教育について |
| ⑤多文化共生について | ⑥公共施設の最適化について |
| ⑦産業・雇用について | ⑧健康寿命について |
| ⑨行政サービスのデジタル化について | ⑩市からの情報発信について |
| ⑪行政サービスについて | ⑫回答者自身のことについて |
| ⑬日ごろ思うこと（自由意見）【別冊】 | |

(3) 調査の設計

- ・調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の16歳以上の市民
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布、郵送回収またはインターネット回答
- ・調査期間：令和6年4月26日（金）～令和6年5月10日（金）
- ・発送数：1,400人

(4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,397人*	654人 (郵送 : 424人) (インターネット : 230人)	46.8% (郵送 : 30.4%) (インターネット : 16.5%)

※対象者数は、発送数から宛先不明等による返戻3件を除いた数です。

◎報告書を見る際の注意事項

- ・回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。
- ・百分率は小数第二位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合があります。
- ・1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・選択肢の文字数が多い場合、表やグラフ上では省略して表記していることがあります。
- ・昨年度調査との比較、性別および年齢別のグラフに対するコメントは、それぞれ5.0ポイント以上の差がある回答についてのみ掲載しています。
- ・年齢別クロス集計の分析軸の各回答者数（件数）が20件未満のものについては、コメントを割愛しています。

2. 調査結果

(1) 調査結果の要約

①牧之原市での暮らしについて

■2人に1人以上が、今の居住場所に「住み続けたい」

問1 今後の居住継続意向

今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が53.4%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」「わからない」がともに19.9%、「市内の他の場所へ移りたい」が6.0%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■他の場所へ移りたい理由は

「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が約6割

問2 他の場所へ移りたい理由

他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が58.6%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が46.7%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が40.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「道路などの生活基盤が整備されていないから」が7.0ポイント以上増加し、「通勤や通学など交通面が不便だから」が5.3ポイント減少しています。

■市内で転居するなら「災害の心配がないところ」が約6割

問3 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が57.5%と最も多く、次いで「商店や公共施設の近く」が38.2%、「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が35.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■おすすめしたい気持ちは「5」が3割台で、平均は4.42

問4 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「5」が36.4%と最も多く、次いで「4」が9.6%、「3」が9.3%などとなっています。平均値は4.42となっています。

昨年度と比較すると、「5」が6.6ポイント増加しており、平均値が年々下がっています。

■おすすめしたい理由は「海岸線や里山などの景観」が約6割

問5 牧之原市をおすすめしたい理由

牧之原市をおすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が57.6%と最も多く、次いで「四季の風景」が21.6%、「豊かな食」が17.7%などとなっています。

**■浜岡原子力発電所は「安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が約4割
「停止しておいたほうが良い」は約3割**

問6 浜岡原子力発電所の今後についての考え

浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が39.4%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い」が28.6%、「どちらともいえない」が19.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

②女性にやさしいまちについて

■3人に1人以上が、女性が暮らしやすいまちだと『思わない』

問7 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が38.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が24.9%、「ある程度思う」が14.5%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は15.1%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は33.8%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

**■女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は
「子育て」が半数以上**

問8 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「子育て」が51.7%と最も多く、次いで「仕事」が40.1%、「日常生活」が38.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「仕事」「日常生活」が5.0ポイント以上減少しています。

③子育てについて

■子どもを育てやすい環境だと『思う』は29.2%、『思わない』は26.0%

問9 牧之原市は子どもを育てやすい環境か

牧之原市は子どもを育てやすい環境かについては、「どちらともいえない」が31.8%と最も多く、次いで「ある程度思う」が28.0%、「あまり思わない」が20.8%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は29.2%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は26.0%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

**■子どもを育てやすい環境にするためには
半数以上が「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」と回答**

問10 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が54.6%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が46.8%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が36.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、「親子で遊べる施設や公園の整備」が9.0ポイント減少しています。

④教育について

**■義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力は
「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が4割以上**

問11 義務教育学校の整備を踏まえ、今後、子どもに身につけさせたい力

義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が42.2%と最も多く、次いで「自分の考えを表現する力」が33.8%、「善悪を判断する力」が32.3%などとなっています。

昨年度と比較すると、「実際の場面で使える英語力」「コンピュータを活用する力」が5.0ポイント以上増加し、「教科の基礎的な学力」「自ら学ぼうとする意欲」「体力や運動能力」が5.0ポイント以上減少しています。

⑤多文化共生について

**■外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は
「言語サポート」・「日常生活サポート」がともに4割以上**

問12 外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「言語サポート」が47.2%と最も多く、次いで「日常生活サポート」が45.3%、「相談できる窓口」が19.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、「相談できる窓口」「雇用サポート」が7.0ポイント以上減少しています。

⑥公共施設の最適化について

■知っている取組は「学校再編の取組」が6割以上

問13 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編の取組」が65.7%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が50.2%、「図書館の整備」が45.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、「多目的体育館の整備」が11.0ポイント増加しています。

■施設の廃止や使用料の値上りを「ある程度までは容認できる」と約7割が回答

問14 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上りを容認できるか

「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上りを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が71.7%と最も多く、次いで「容認できる」が16.8%、「容認できない」が8.7%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑦産業・雇用について

■活力が『ある』と思う牧之原市の産業は、「茶業」が約4割で第1位

牧之原市の産業全体について、活力が『ない』と思う人は約4割

問15 牧之原市の各産業に活力があると思うか

牧之原市の《①茶業》～《⑤観光業》の各産業に活力があると思うかについては、「とてもある」が《①茶業》において11.3%と最も多く、『ある』（「とてもある」＋「ある程度ある」）は41.6%となっています。一方、「まったくない」が《⑤観光業》において13.8%と最も多く、『ない』（「あまりない」＋「まったくない」）は51.2%となっています。

また、《⑥牧之原市の産業全体》に活力があると思うかについては、『ある』は13.6%、『ない』は39.0%となっています。

昨年度と比較すると、《②農業（茶業除く）》において『ある』が5.1ポイント増加、《③製造業（茶加工業除く）》は9.9ポイント増加しています。また、《⑥牧之原市の産業全体》においては『ない』が9.5ポイント減少しています。

⑧健康寿命について

■健康について気を付けていることは「睡眠・休養を十分にとる」が6割以上

問16 健康について気を付けていること

健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が61.9%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が50.2%、「定期的に健康診断を受けている」が44.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「食事・栄養に気を配っている」「定期的に健康診断を受けている」「ストレスをためないようにしている」「酒・たばこを控えている、または、やめている」が5.0ポイント以上減少しています。

■市が力を入れるべき取組は、約6割が「健診の受診環境の拡充」と回答

問17 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組

健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が59.8%と最も多く、次いで「運動しやすい環境の充実や整備」が54.4%、「認知症予防の教室や相談」が28.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑨行政サービスのデジタル化について

■「スマートフォン」でのインターネット利用者が85.9%

個人でインターネットを利用していない人は7.8%

問18 個人でインターネットを利用している端末

個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が85.9%と最も多く、次いで「パソコン」が53.2%、「インターネットに接続できるテレビ」が26.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「インターネットに接続できるテレビ」「家庭用ゲーム機」が6.0ポイント以上増加しています。

■利便性向上に期待することは

「オンライン申請により、窓口に出向くことが不要になる」が半数以上

問19 デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が56.9%と最も多く、次いで「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が54.7%、「窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる」が23.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑩市からの情報発信について

■最も得たい情報は、半数以上が「防災・防犯」と回答

問20 市から得たい情報

市から得たい情報は、「防災・防犯」が54.0%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が46.5%、「観光・イベント」が38.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

■「広報まきのほら」を情報源としている人が7割以上

問21 市からの情報を得る媒体

市からの情報を得る媒体は、「広報まきのほら」が71.7%と最も多く、次いで「市公式LINE」が54.1%、「新聞、テレビ、ラジオ」が19.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

⑪牧之原市の行政サービスについて

※『満足』は満足度「満足」＋「やや満足」、『高い』は重要度「高い」＋「やや高い」を指します。

■ ≪火災・救急などの消防体制≫の満足度と ≪震災・水害・浸水対策≫の重要度は、全分野を通して最も高い

【防災】

満足度は、≪3 火災・救急などの消防体制≫で『満足』が68.5%、評価点が0.47点と、最も高くなっています。

重要度は、≪1 震災・水害・浸水対策≫で『高い』が83.6%、評価点が1.33点と、最も高くなっています。

■ 重要度は ≪子育て支援≫がトップ

【健康福祉】

満足度は、≪12 健康づくり≫で『満足』が53.7%、評価点が0.13点と、最も高くなっています。

重要度は、≪7 子育て支援≫で『高い』が76.8%、評価点が1.00点と、最も高くなっています。

■ 満足度は ≪図書館の機能充実≫がトップ

【教育文化】

満足度は、≪19 図書館の機能充実≫で『満足』が54.1%、評価点が0.13点と、最も高くなっています。

重要度は、≪15 子どもを通わせたいと思える学校環境≫で『高い』が73.2%、評価点が0.88点と、最も高くなっています。

■ 【産業経済】の全ての項目で、「重要度が高いが、満足度は低い」という結果に

【産業経済】

満足度は、≪21 農業者・水産業者への支援≫で『満足』が40.5%、評価点が-0.21点と、最も高くなっています。

重要度は、≪29 市内での買い物環境≫で『高い』が72.9%、評価点が0.79点と、最も高くなっています。

■ 満足度は ≪ごみの適正な処理などの生活環境対策≫がトップ 僅差で ≪上水道の供給環境≫が第2位

【生活基盤】

満足度は、≪37 ごみの適正な処理などの生活環境対策≫で『満足』が62.8%、評価点が0.28点と、最も高くなっています。

重要度は、≪32 道路や河川の補修・整備≫で『高い』が78.1%、評価点が0.97点と、最も高くなっています。

■ ≪市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信≫が 満足度・重要度ともにトップ

【市政経営】

満足度・重要度ともに、≪47 市の情報や知りたい取組などの情報発信≫が最も高く、『満足』は60.6%（評価点0.32点）、『高い』は70.5%（評価点0.67点）となっています。

⑫全ての取組の満足度・重要度の評価点順位

分野	評価項目	満足度		重要度	
		順位	評価点	順位	評価点
防災	1 震災・水害・浸水対策	24	-0.18	1	1.33
	2 自主防災組織の強化	8	0.07	3	1.06
	3 火災・救急などの消防体制	1	0.47	2	1.23
	4 盗難などの犯罪防止	16	-0.08	14	0.84
	5 学校や地域で子どもを守る活動	2	0.42	3	1.06
	6 道路交通の安全対策	20	-0.11	6	0.98
健康福祉	7 子育て支援	18	-0.10	5	1.00
	8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	32	-0.25	11	0.92
	9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	23	-0.16	12	0.91
	10 高齢者福祉	13	0.00	14	0.84
	11 障がい者福祉	11	0.05	16	0.82
	12 健康づくり	6	0.13	29	0.59
	13 地域医療や榛原病院の体制	41	-0.48	6	0.98
	14 地域福祉活動	15	-0.02	36	0.51
教育文化	15 子どもを通わせたいと思える学校環境	13	0.00	13	0.88
	16 学校再編の推進	8	0.07	27	0.61
	17 生涯学習活動の充実	12	0.02	44	0.39
	18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会	16	-0.08	47	0.23
	19 図書館の機能充実	6	0.13	33	0.56
	20 スポーツ環境の充実	24	-0.18	43	0.40
産業経済	21 農業者・水産業者への支援	27	-0.21	19	0.72
	22 特産品の消費促進	29	-0.23	29	0.59
	23 荒廃農地の活用	47	-0.77	28	0.60
	24 耕作しやすい農地整備	44	-0.53	37	0.49
	25 企業誘致	46	-0.58	22	0.69
	26 起業に対する支援	38	-0.38	41	0.44
	27 雇用機会の創出や就業環境の充実	39	-0.44	25	0.65
	28 商工業者への支援	36	-0.34	37	0.49
	29 市内での買い物環境	45	-0.57	17	0.79
	30 観光誘客の促進	43	-0.52	40	0.45
	31 各種イベントの開催	33	-0.26	45	0.35
生活基盤	32 道路や河川の補修・整備	29	-0.23	8	0.97
	33 上水道の供給環境	5	0.25	9	0.96
	34 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	37	-0.37	37	0.49
	35 住宅地の確保や空き家情報の発信	42	-0.50	46	0.27
	36 公園・緑地の管理や整備	39	-0.44	33	0.56
	37 ごみの適正な処理などの生活環境対策	4	0.28	10	0.94
	38 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	10	0.06	19	0.72
	39 再生可能エネルギー・省エネルギーへの推進	24	-0.18	23	0.68
	40 街並みや周辺の景観・美観への保全	31	-0.24	31	0.58
	41 自然環境の保全	21	-0.12	18	0.77
	42 富士山静岡空港を活用するための取組	34	-0.28	26	0.63
	43 公共交通の充実	47	-0.77	19	0.72
	市政経営	44 自治会の住民自治活動への支援	18	-0.10	42
45 行政と地域の連携・協働		27	-0.21	35	0.52
46 行政改革		35	-0.31	32	0.57
47 市の情報や知りたい取組などの情報発信		3	0.32	24	0.67
48 姉妹都市、友好都市などとの交流		22	-0.14	48	0.03

※評価点の算出方法は72ページ参照。
 ※満足度・重要度の上位項目（第5位まで）には網掛けが付いています。

【満足度順】

分野の凡例

防	防災	健	健康福祉	教	教育文化	産	産業経済	生	生活基盤	市	市政経営
---	----	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------

分野	評価項目	満足度		重要度	
		順位	評価点	順位	評価点
防	3 火災・救急などの消防体制	1	0.47	2	1.23
防	5 学校や地域で子どもを守る活動	2	0.42	3	1.06
市	47 市の情報や知りたい取組などの情報発信	3	0.32	24	0.67
生	37 ごみの適正な処理などの生活環境対策	4	0.28	10	0.94
生	33 上水道の供給環境	5	0.25	9	0.96
健	12 健康づくり	6	0.13	29	0.59
教	19 図書館の機能充実	6	0.13	33	0.56
防	2 自主防災組織の強化	8	0.07	3	1.06
教	16 学校再編の推進	8	0.07	27	0.61
生	38 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	10	0.06	19	0.72
健	11 障がい者福祉	11	0.05	16	0.82
教	17 生涯学習活動の充実	12	0.02	44	0.39
健	10 高齢者福祉	13	0.00	14	0.84
教	15 子どもを通わせたいと思える学校環境	13	0.00	13	0.88
健	14 地域福祉活動	15	-0.02	36	0.51
防	4 盗難などの犯罪防止	16	-0.08	14	0.84
教	18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会	16	-0.08	47	0.23
健	7 子育て支援	18	-0.10	5	1.00
市	44 自治会の住民自治活動への支援	18	-0.10	42	0.41
防	6 道路交通の安全対策	20	-0.11	6	0.98
生	41 自然環境の保全	21	-0.12	18	0.77
市	48 姉妹都市・友好都市などとの交流	22	-0.14	48	0.03
健	9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	23	-0.16	12	0.91
防	1 震災・水害・浸水対策	24	-0.18	1	1.33
教	20 スポーツ環境の充実	24	-0.18	43	0.40
生	39 再生可能エネルギー・省エネルギーの促進	24	-0.18	23	0.68
産	21 農業者・水産業者への支援	27	-0.21	19	0.72
市	45 行政と地域の連携・協働	27	-0.21	35	0.52
産	22 特産品の消費促進	29	-0.23	29	0.59
生	32 道路や河川の補修・整備	29	-0.23	8	0.97
生	40 街並みや周辺の景観・美観への保全	31	-0.24	31	0.58
健	8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	32	-0.25	11	0.92
産	31 各種イベントの開催	33	-0.26	45	0.35
生	42 富士山静岡空港を活用するための取組	34	-0.28	26	0.63
市	46 行政改革	35	-0.31	32	0.57
産	28 商工業者への支援	36	-0.34	37	0.49
生	34 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	37	-0.37	37	0.49
産	26 起業に対する支援	38	-0.38	41	0.44
産	27 雇用機会の創出や就業環境の充実	39	-0.44	25	0.65
生	36 公園・緑地の管理や整備	39	-0.44	33	0.56
健	13 地域医療や榛原病院の体制	41	-0.48	6	0.98
生	35 住宅地の確保や空き地情報の発信	42	-0.50	46	0.27
産	30 観光誘客の促進	43	-0.52	40	0.45
産	24 耕作しやすい農地整備	44	-0.53	37	0.49
産	29 市内での買い物環境	45	-0.57	17	0.79
産	25 企業誘致	46	-0.58	22	0.69
産	23 荒廃農地の活用	47	-0.77	28	0.60
生	43 公共交通の充実	47	-0.77	19	0.72

※満足度の評価点の高い順に並べ替えています。
 ※重要度の上位項目（第5位まで）には網掛けが付いています。

【重要度順】

分野の凡例

防	防災	健	健康福祉	教	教育文化	産	産業経済	生	生活基盤	市	市政経営
---	----	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------

分野	評価項目	満足度		重要度	
		順位	評価点	順位	評価点
防	1 震災・水害・浸水対策	24	-0.18	1	1.33
防	3 火災・救急などの消防体制	1	0.47	2	1.23
防	2 自主防災組織の強化	8	0.07	3	1.06
防	5 学校や地域で子どもを守る活動	2	0.42	3	1.06
健	7 子育て支援	18	-0.10	5	1.00
防	6 道路交通の安全対策	20	-0.11	6	0.98
健	13 地域医療や榛原病院の体制	41	-0.48	6	0.98
生	32 道路や河川の補修・整備	29	-0.23	8	0.97
生	33 上水道の供給環境	5	0.25	9	0.96
生	37 ごみの適正な処理などの生活環境対策	4	0.28	10	0.94
健	8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	32	-0.25	11	0.92
健	9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	23	-0.16	12	0.91
教	15 子どもを通わせたいと思える学校環境	13	0.00	13	0.88
防	4 盗難などの犯罪防止	16	-0.08	14	0.84
健	10 高齢者福祉	13	0.00	14	0.84
健	11 障がい者福祉	11	0.05	16	0.82
産	29 市内での買い物環境	45	-0.57	17	0.79
生	41 自然環境の保全	21	-0.12	18	0.77
産	21 農業者・水産業者への支援	27	-0.21	19	0.72
生	38 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	10	0.06	19	0.72
生	43 公共交通の充実	47	-0.77	19	0.72
産	25 企業誘致	46	-0.58	22	0.69
生	39 再生可能エネルギー・省エネルギーの促進	24	-0.18	23	0.68
市	47 市の情報や知りたい取組などの情報発信	3	0.32	24	0.67
産	27 雇用機会の創出や就業環境の充実	39	-0.44	25	0.65
生	42 富士山静岡空港を活用するための取組	34	-0.28	26	0.63
教	16 学校再編の推進	8	0.07	27	0.61
産	23 荒廃農地の活用	47	-0.77	28	0.60
健	12 健康づくり	6	0.13	29	0.59
産	22 特産品の消費促進	29	-0.23	29	0.59
生	40 街並みや周辺の景観・美観への保全	31	-0.24	31	0.58
市	46 行政改革	35	-0.31	32	0.57
教	19 図書館の機能充実	6	0.13	33	0.56
生	36 公園・緑地の管理や整備	39	-0.44	33	0.56
市	45 行政と地域の連携・協働	27	-0.21	35	0.52
健	14 地域福祉活動	15	-0.02	36	0.51
産	24 耕作しやすい農地整備	44	-0.53	37	0.49
産	28 商工業者への支援	36	-0.34	37	0.49
生	34 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	37	-0.37	37	0.49
産	30 観光誘客の促進	43	-0.52	40	0.45
産	26 起業に対する支援	38	-0.38	41	0.44
市	44 自治会の住民自治活動への支援	18	-0.10	42	0.41
教	20 スポーツ環境の充実	24	-0.18	43	0.40
教	17 生涯学習活動の充実	12	0.02	44	0.39
産	31 各種イベントの開催	33	-0.26	45	0.35
生	35 住宅地の確保や空き地情報の発信	42	-0.50	46	0.27
教	18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会	16	-0.08	47	0.23
市	48 姉妹都市、友好都市などとの交流	22	-0.14	48	0.03

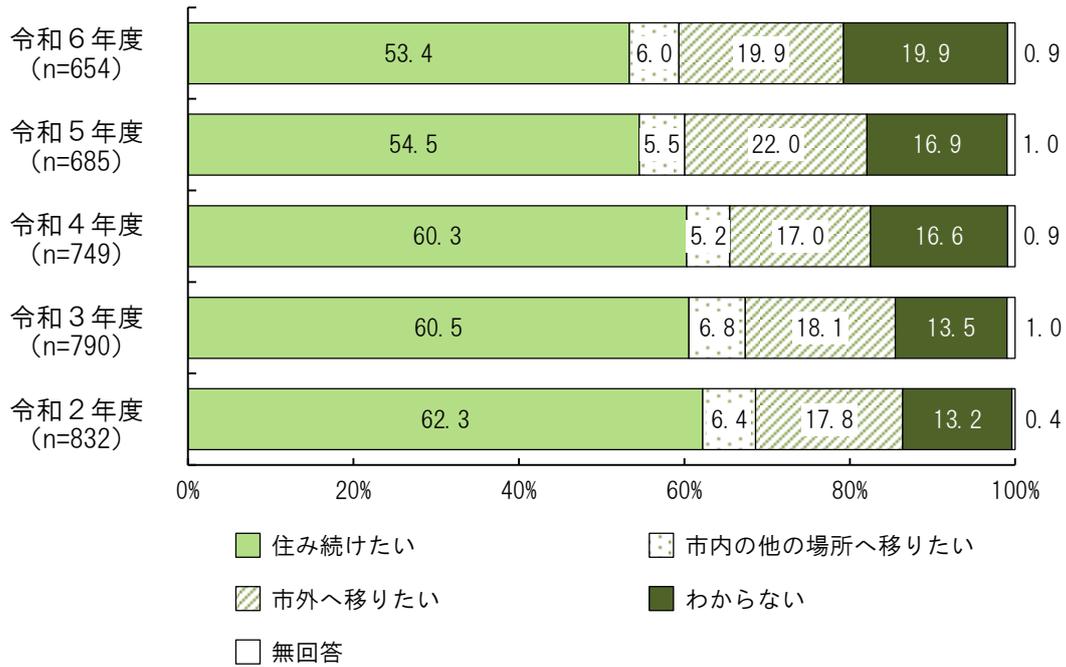
※重要度の評価点の高い順に並べ替えています。
 ※満足度の上位項目（第5位まで）には網掛けが付いています。

(2) 調査結果の詳細

①牧之原市での暮らしについて

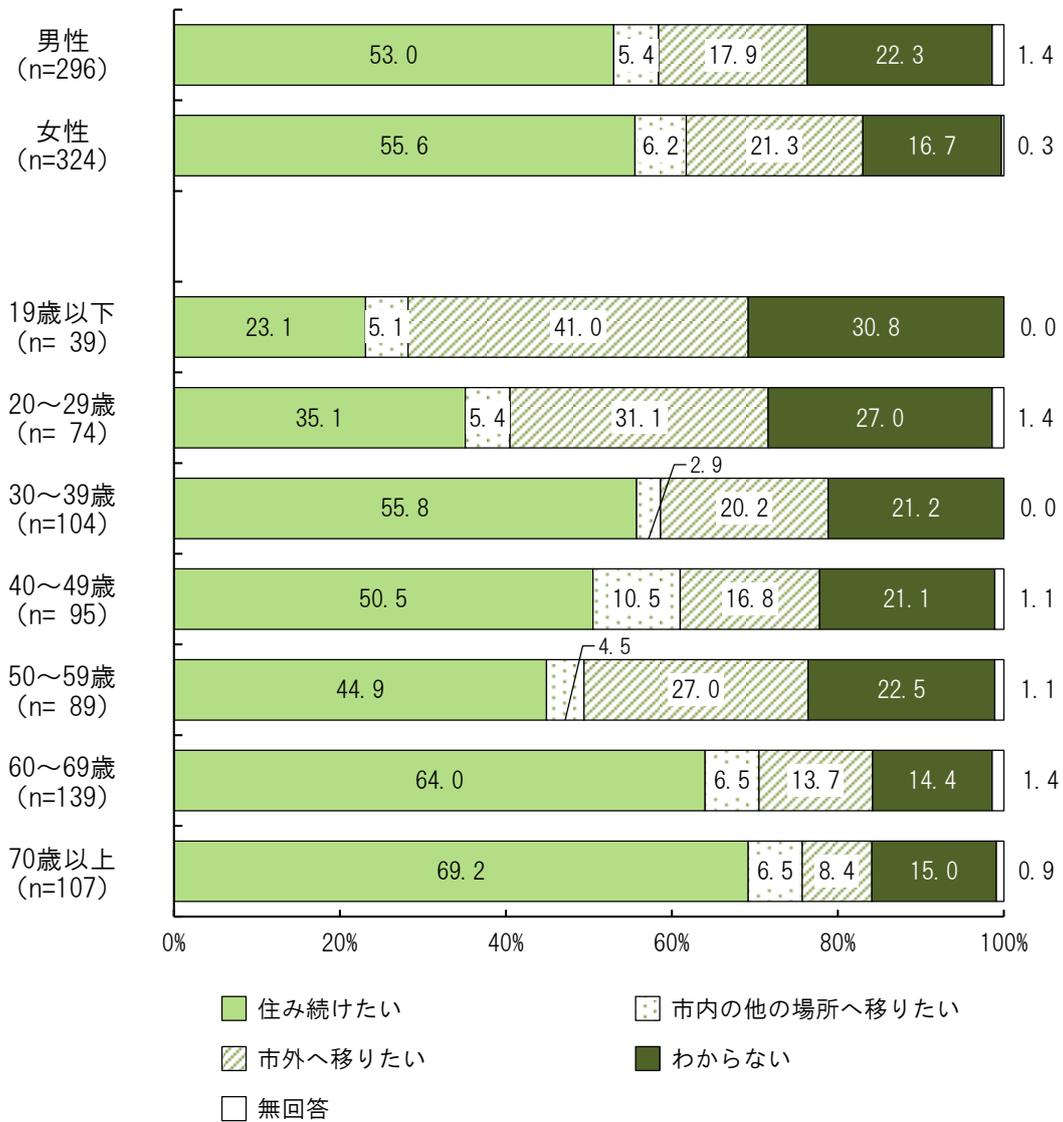
(1) 今後の居住継続意向

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？（○は1つ）



今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が53.4%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」「わからない」がともに19.9%、「市内の他の場所へ移りたい」が6.0%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



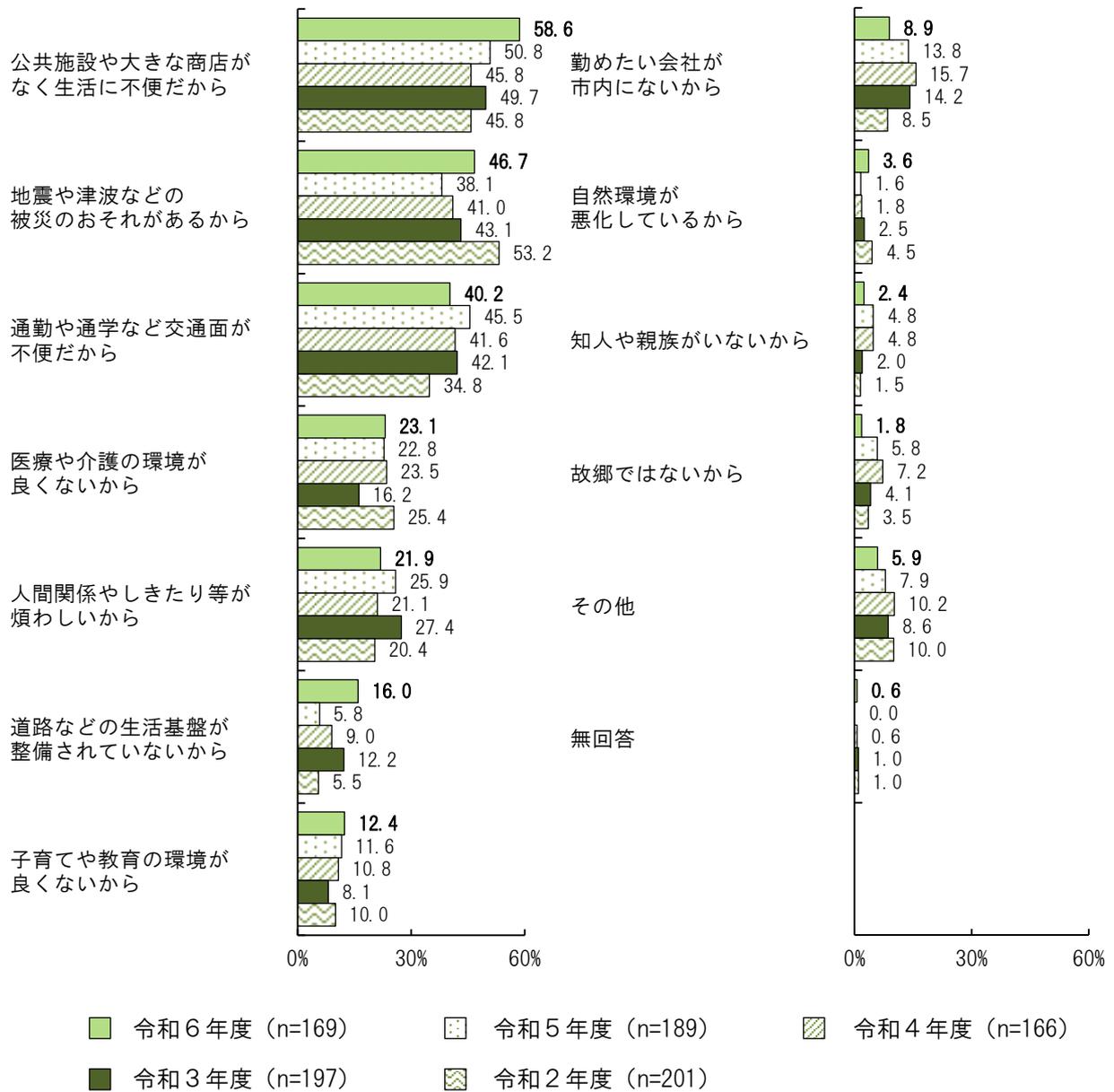
【性別】：男性は「わからない」が22.3%と女性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「市外へ移りたい」が41.0%と他の年代に比べて多く、「住み続けたい」が23.1%と少なくなっています。70歳以上は「住み続けたい」が69.2%と多く、「市外へ移りたい」が8.4%と少なくなっています。

(2) 他の場所へ移りたい理由

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と答えた方のみ

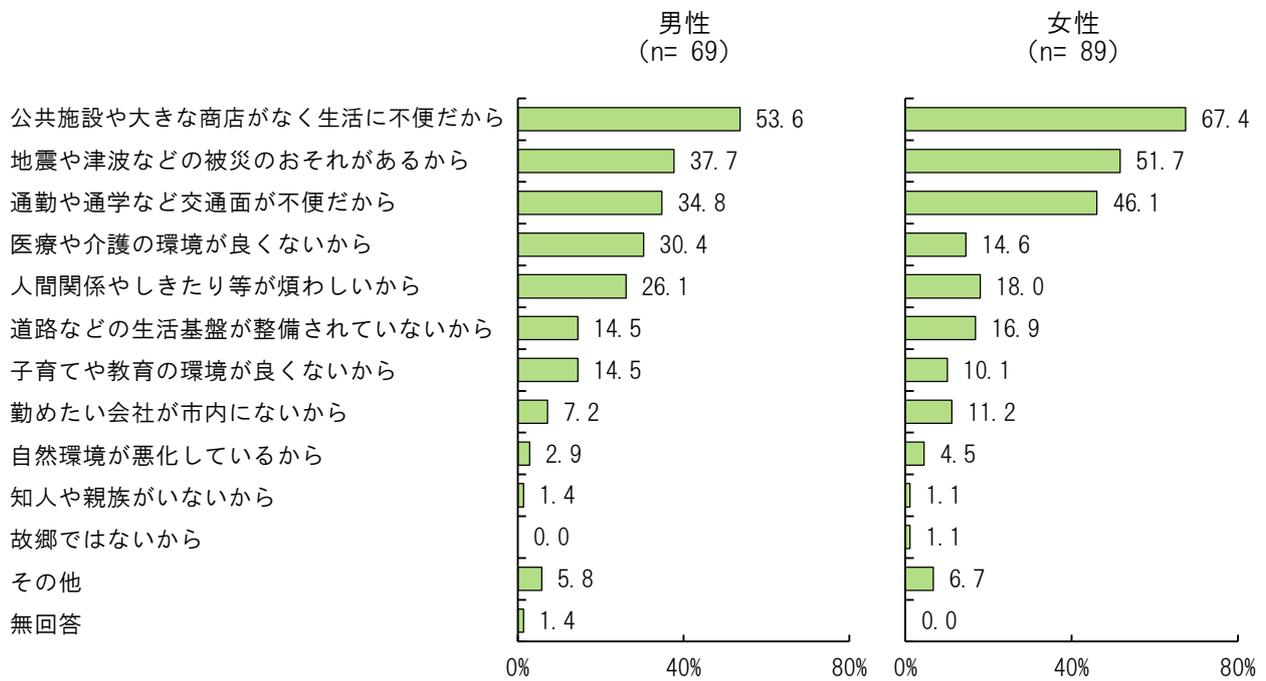
問2 他の場所へ移りたい理由は何ですか？（○は3つ以内）



他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が 58.6%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が 46.7%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が 40.2%などとなっています。

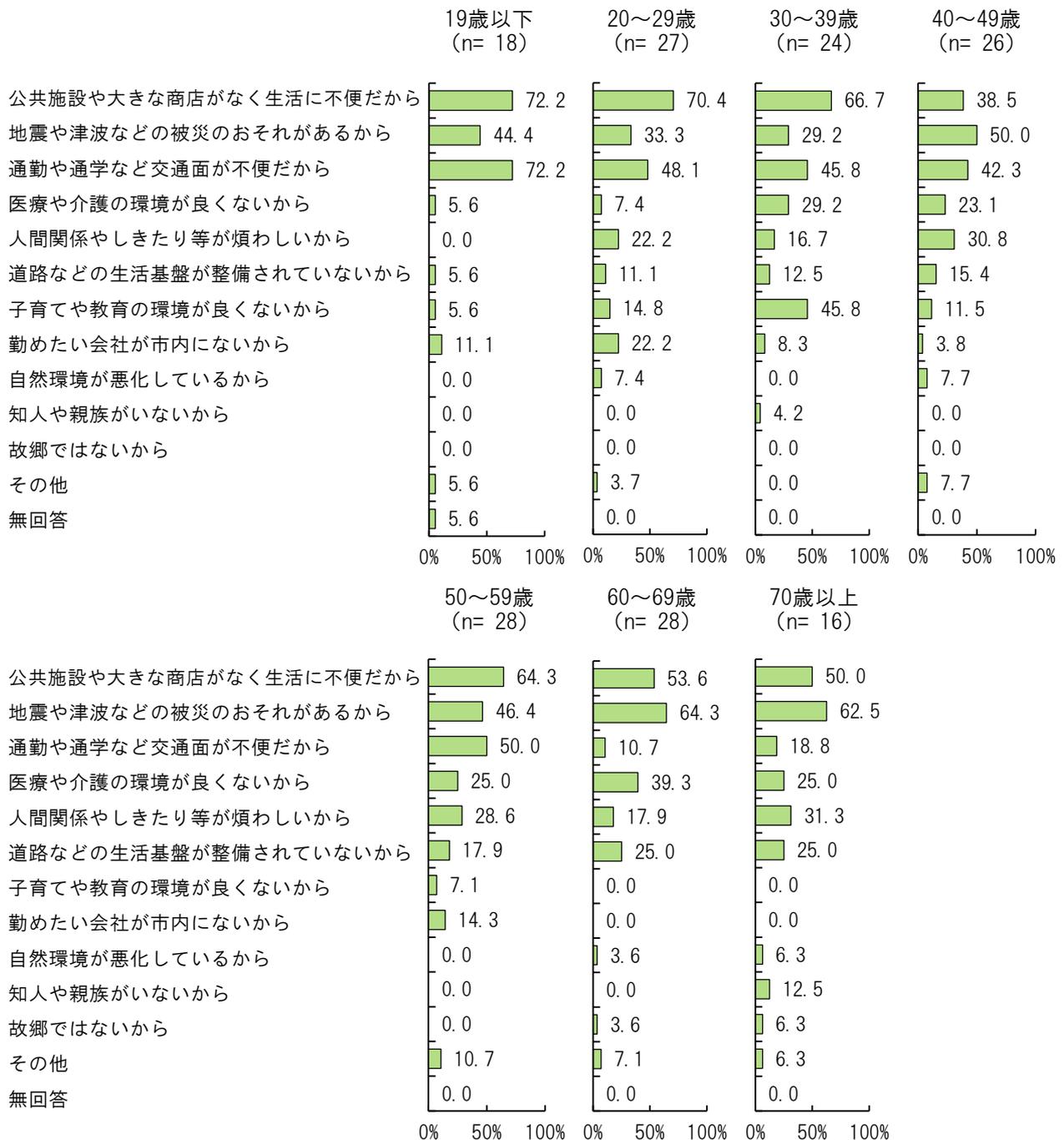
昨年度と比較すると、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「道路などの生活基盤が整備されていないから」が 7.0 ポイント以上増加し、「通勤や通学など交通面が不便だから」が 5.3 ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「医療や介護の環境が良くないから」「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が女性より多くなっています。女性は「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「通勤や通学など交通面が不便だから」が男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

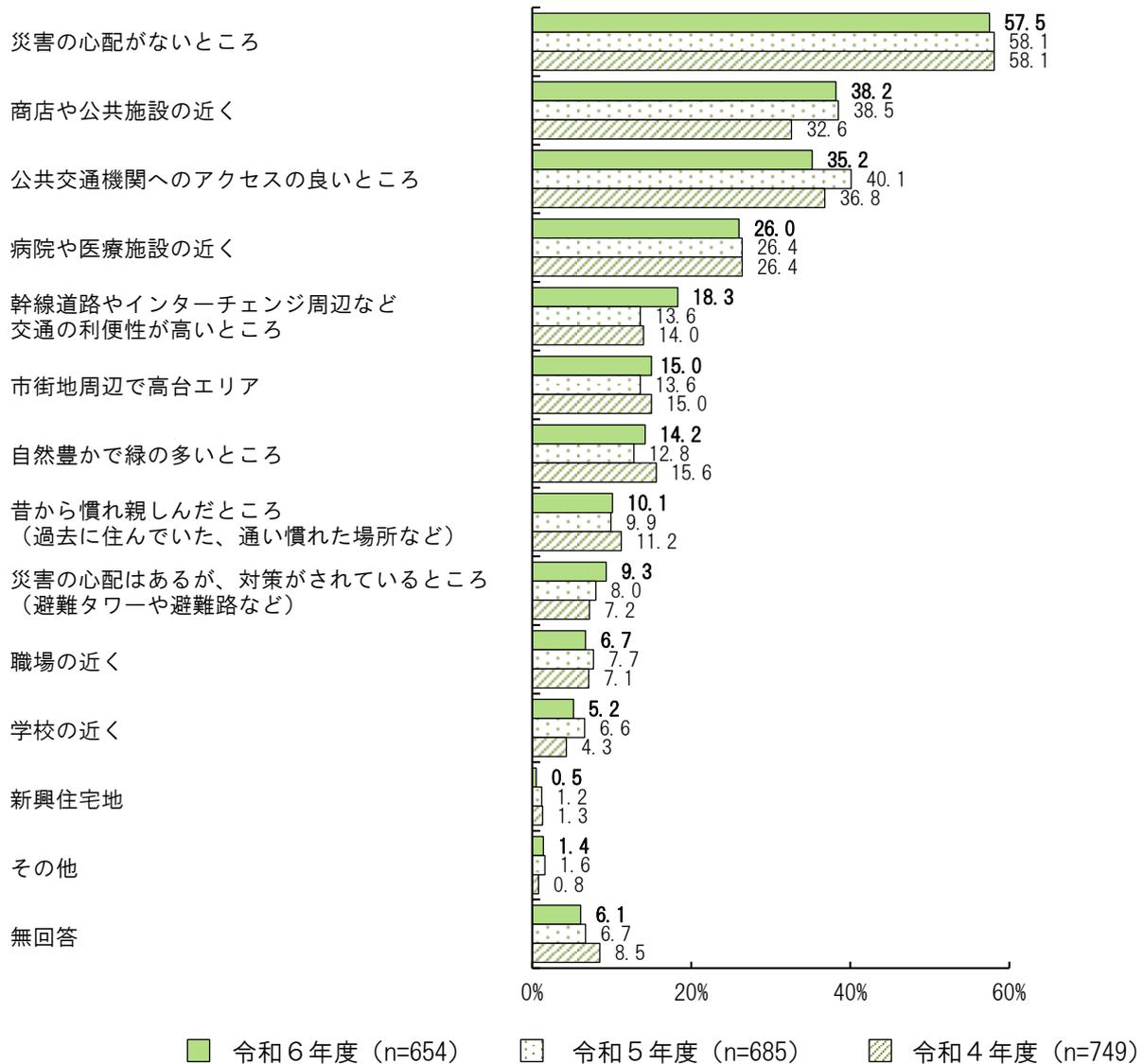


【年齢別】：20～29歳は「勤めたい会社が市内にないから」が22.2%と他の年代に比べて多く、「医療や介護の環境が良くないから」が7.4%と少なくなっています。30～39歳は「子育てや教育の環境が良くないから」が45.8%と多くなっています。また、40～49歳は「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が38.5%と少なくなっています。さらに、60～69歳は「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「医療や介護の環境が良くないから」「道路などの生活基盤が整備されていないから」が多く、「通勤や通学など交通面が不便だから」「子育てや教育の環境が良くないから」が少なくなっています。

(3) 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

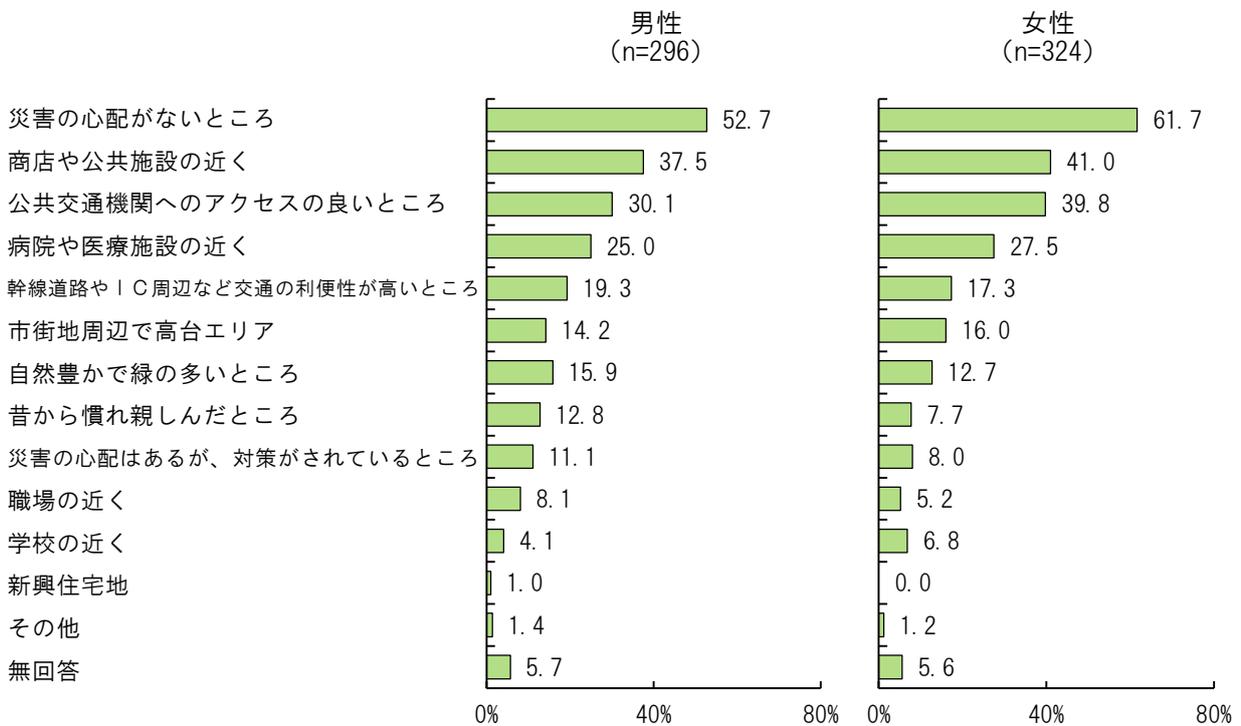
問3 市内で転居するとしたら、どんな場所に住みたいですか？（○は3つ以内）

※転居する予定がない方もお答えください。



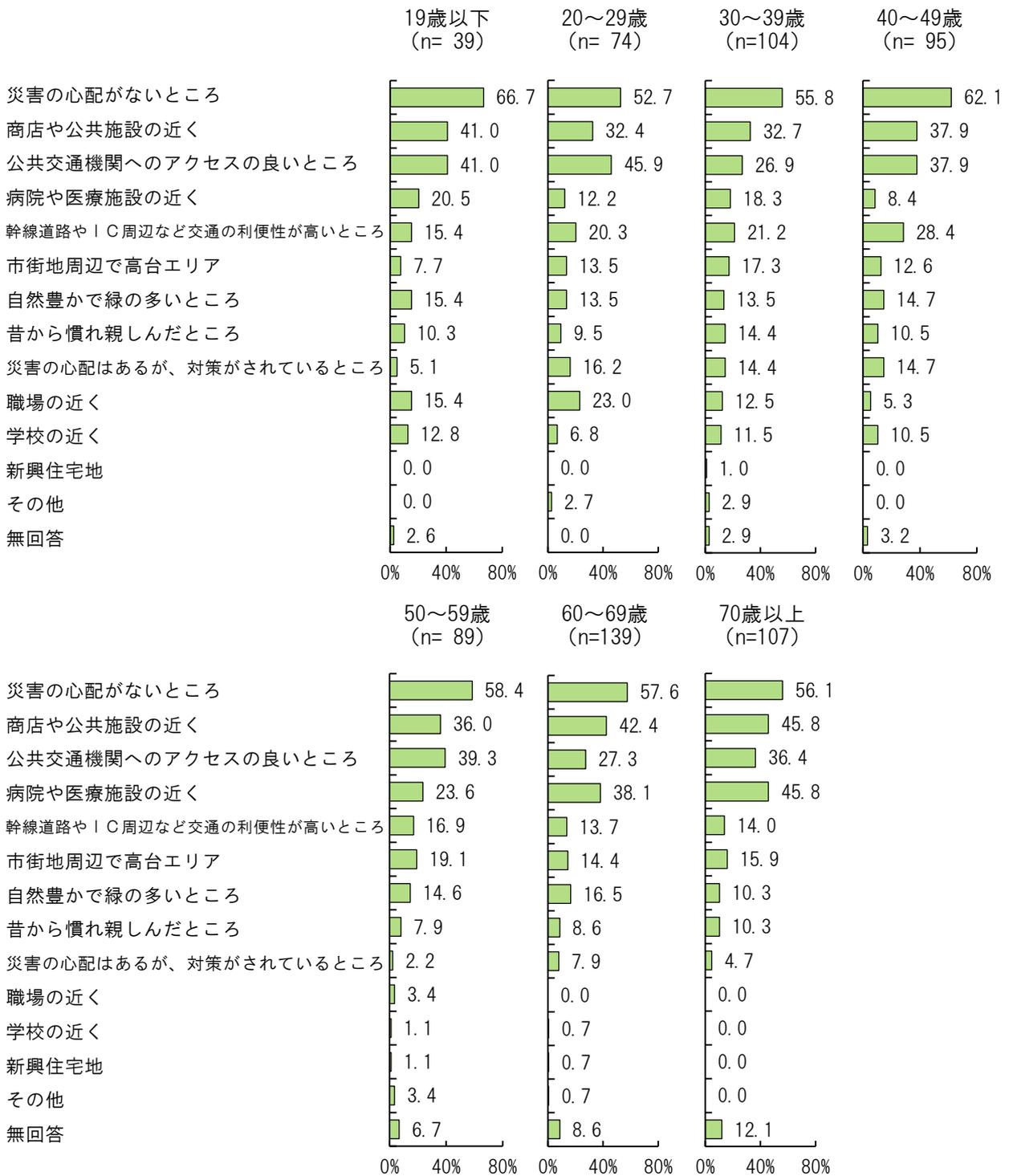
市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が57.5%と最も多く、次いで「商店や公共施設の近く」が38.2%、「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が35.2%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】: 男性は「昔から慣れ親しんだところ（過去に住んでいた、通い慣れた場所など）」が12.8%と女性より多くなっています。女性は「災害の心配がないところ」「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が男性より多くなっています。

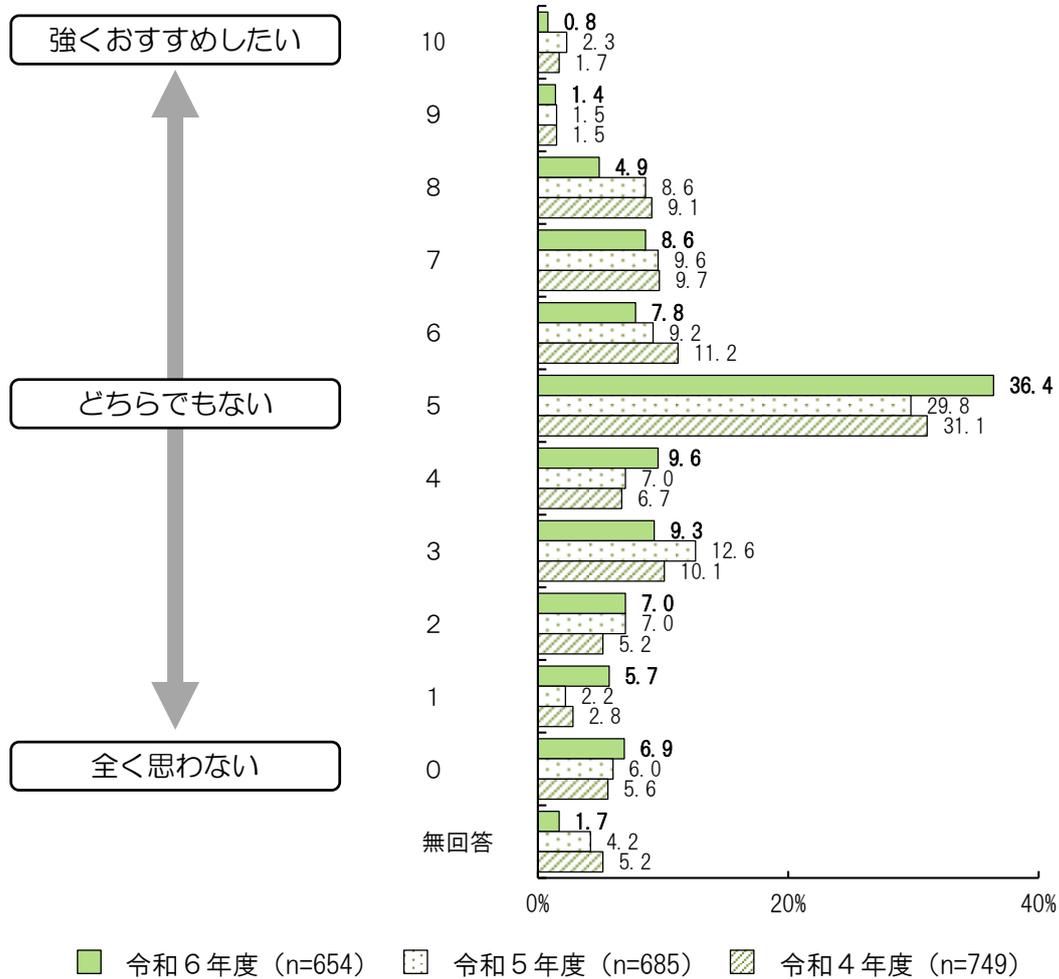
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：20～29歳は「職場の近く」が23.0%と他の年代に比べて多くなっています。40～49歳は「幹線道路やインターチェンジ周辺など交通の利便性が高いところ」が28.4%と多くなっています。また、70歳以上は「病院や医療施設の近く」が45.8%と多くなっています。

(4) 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

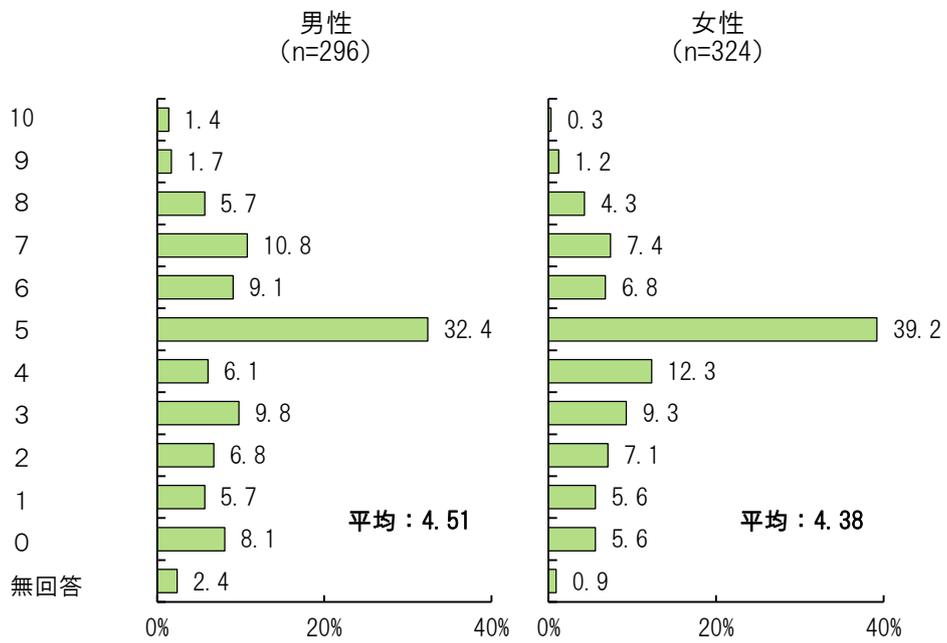
問4 あなたには、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？（〇は1つ）



	令和6年度	令和5年度	令和4年度
平均	4.42	4.79	4.90

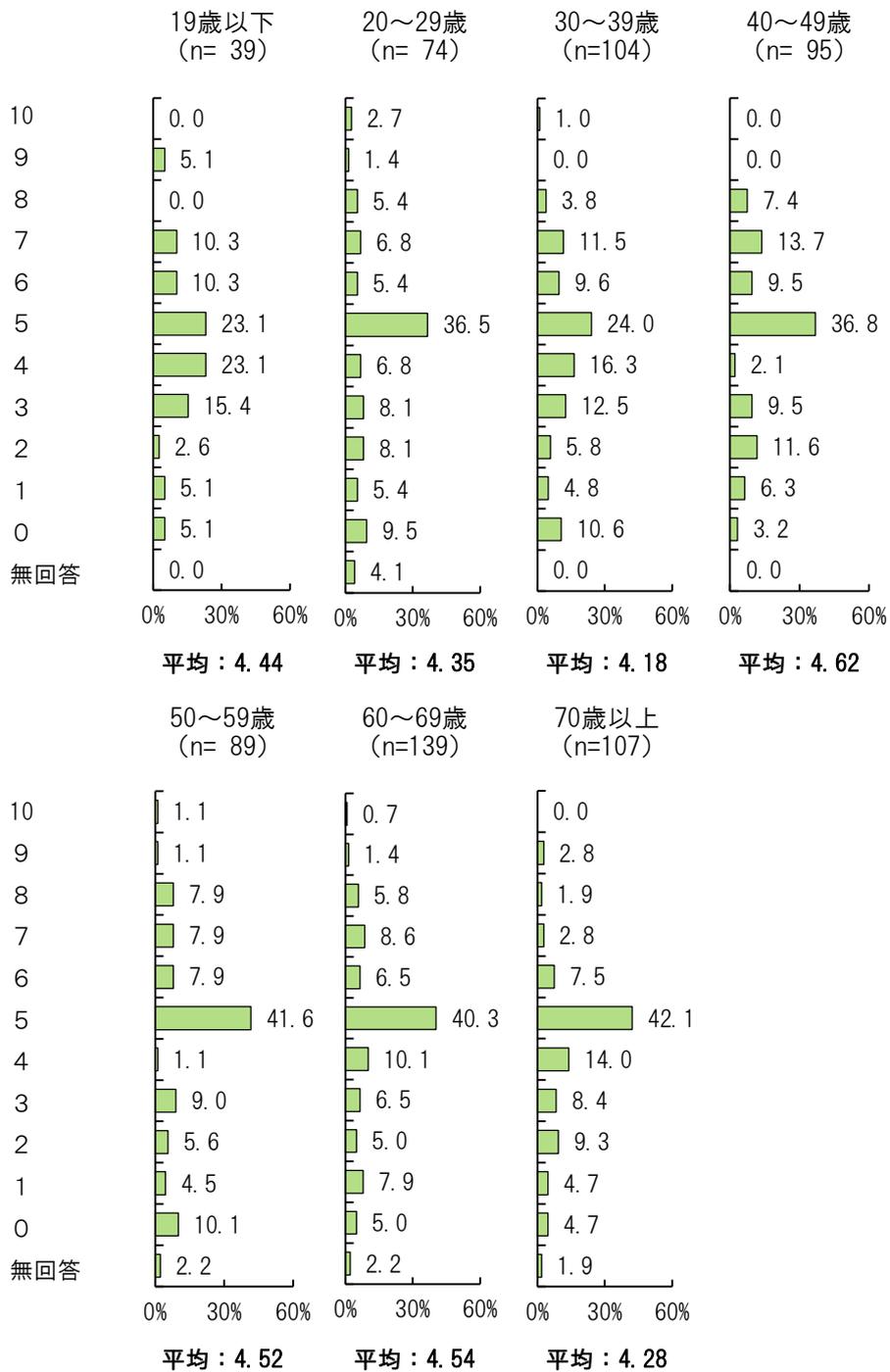
牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「5」が36.4%と最も多く、次いで「4」が9.6%、「3」が9.3%などとなっています。平均値は4.42となっています。昨年度と比較すると、「5」が6.6ポイント増加しており、平均値が年々下がっています。

クロス集計（性別）



【性別】：女性は「5」「4」が男性より多くなっています。平均値は、男性が4.51、女性が4.38となっています。

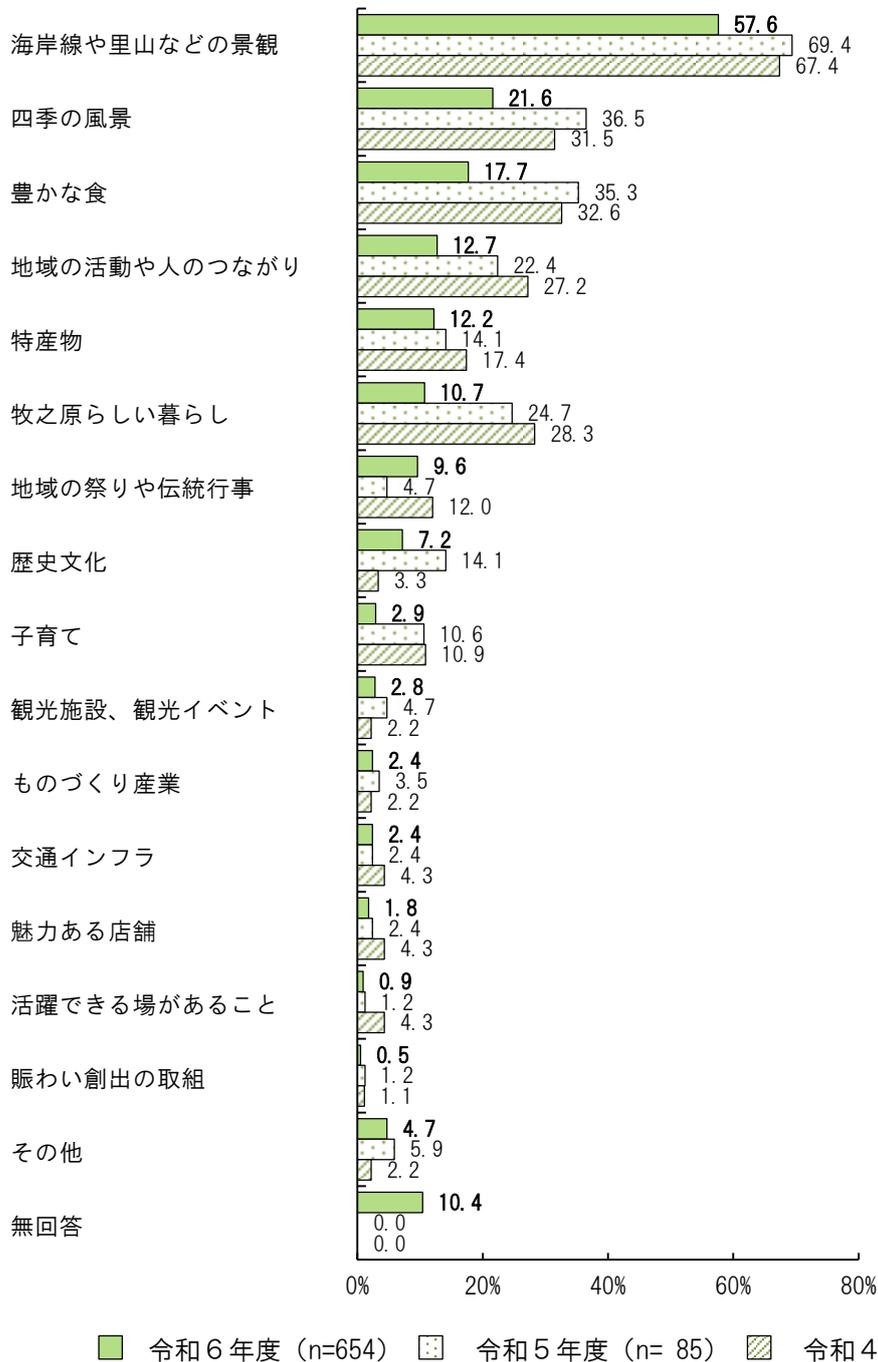
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「4」が23.1%と他の年代に比べて多くなっています。平均値は、40~49歳が4.62と最も高く、30~39歳が4.18と最も低くなっています。

(5) 牧之原市をおすすめしたい理由

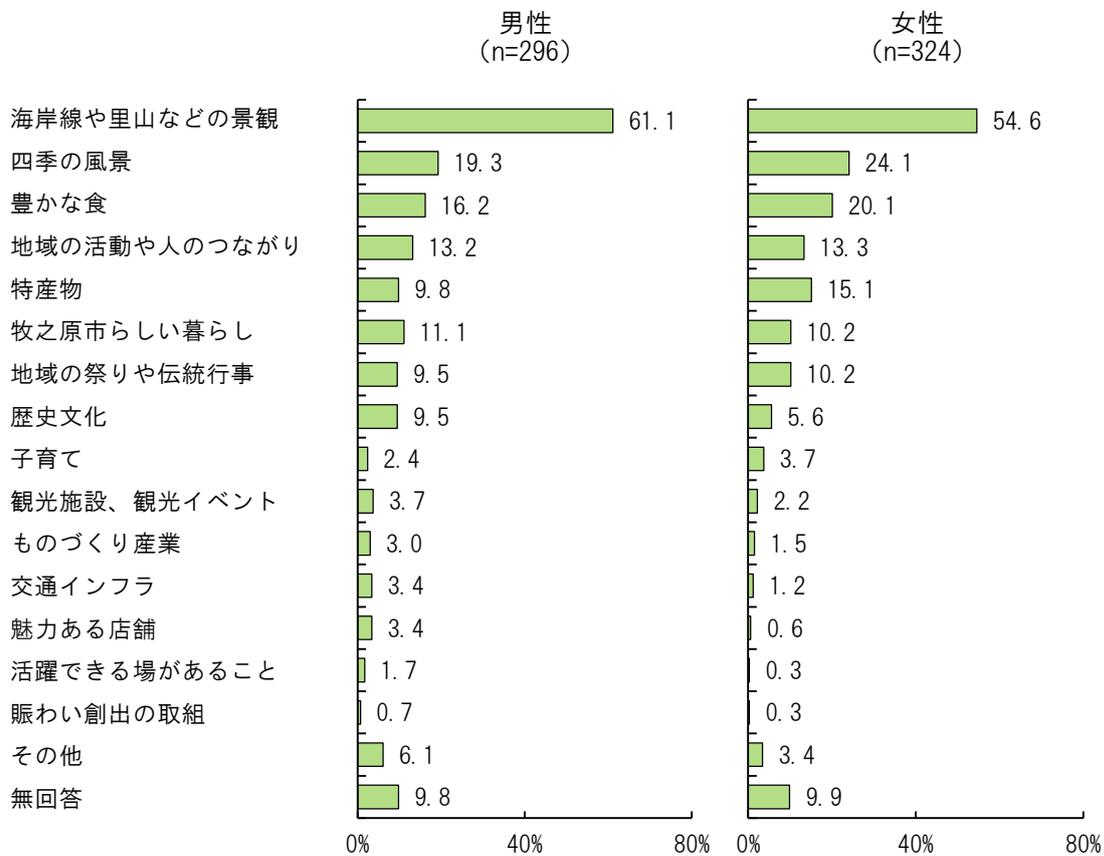
問5 牧之原市をおすすめしたい理由は何ですか？（〇は3つ以内）



※令和5年度以前は、問4で「10」「9」「8」と回答した人のみに対する設問であったため、比較はできません。
「子育て」は、令和5年度以前は「牧之原市で子育てすること」という選択肢でした。

牧之原市をおすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が 57.6%と最も多く、次いで「四季の風景」が 21.6%、「豊かな食」が 17.7%などとなっています。

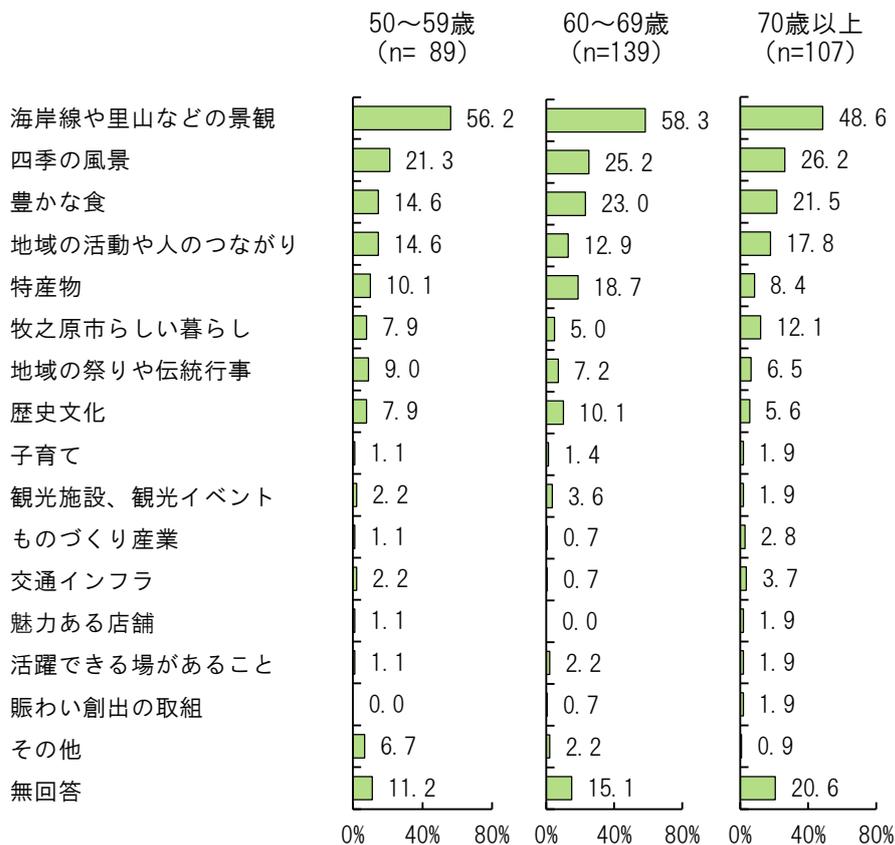
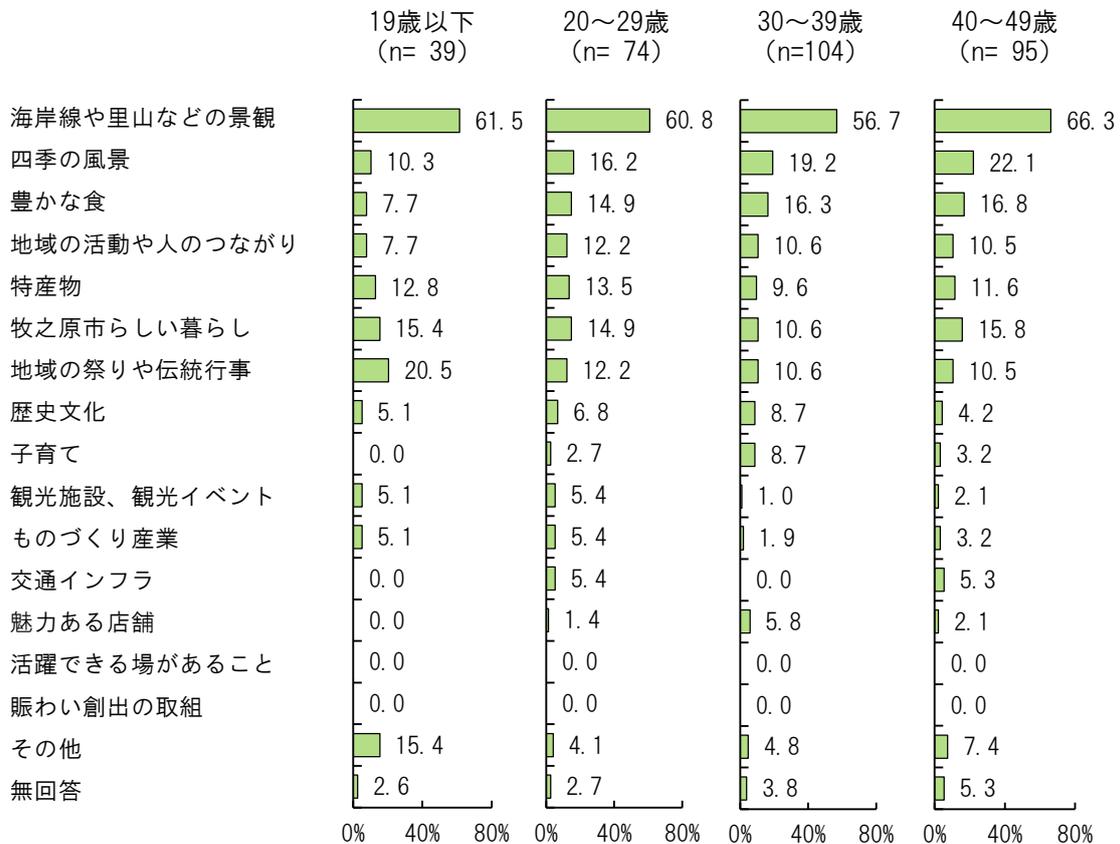
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「海岸線や里山などの景観」が61.1%と女性より多くなっています。女性は「特産物」が15.1%と男性より多くなっています。

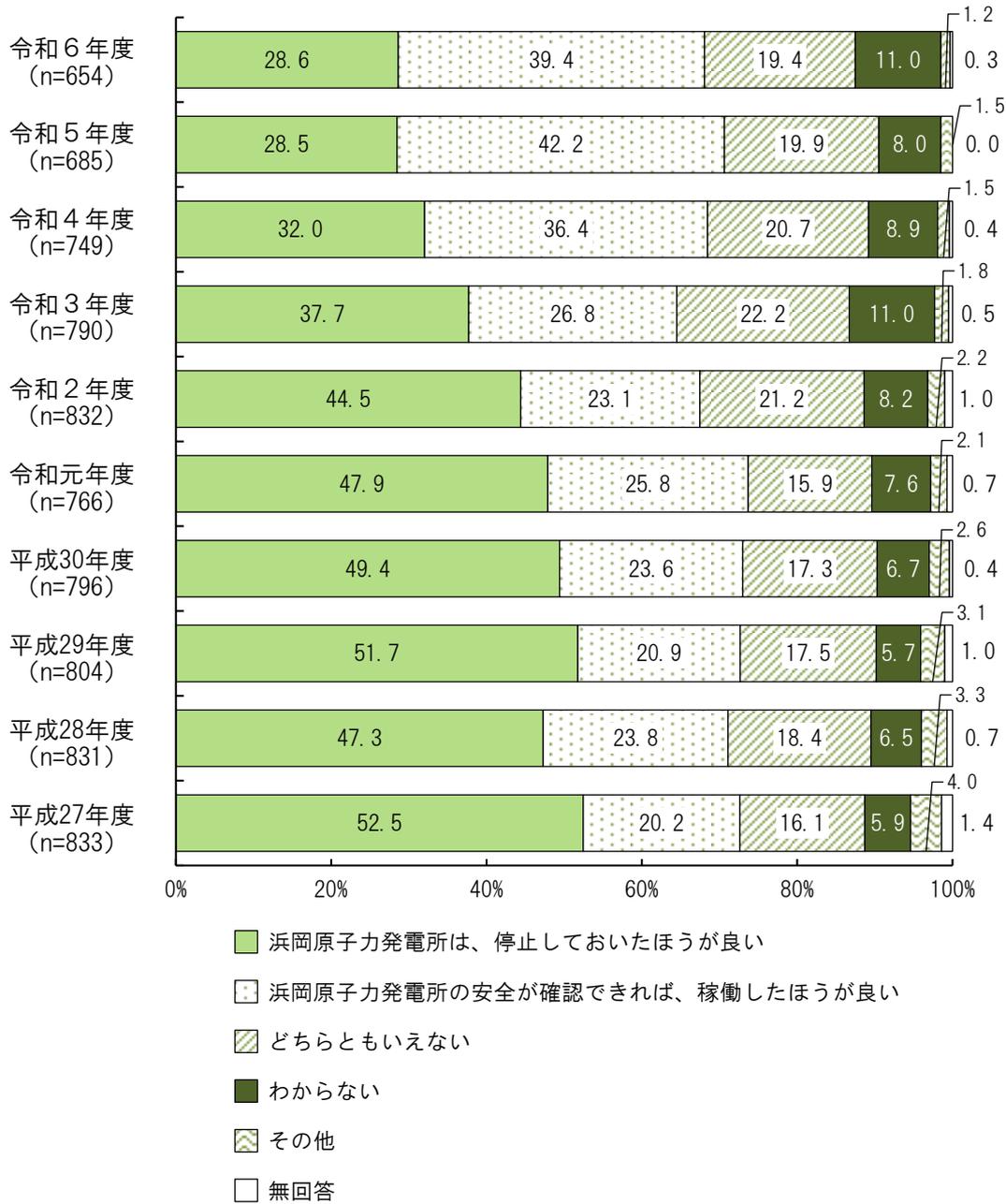
【年齢別】：19歳以下は「地域の祭りや伝統行事」が20.5%と他の年代に比べて多く、「四季の風景」「豊かな食」が少なくなっています。30～39歳は「子育て」が8.7%と多くなっています。また、60～69歳は「特産物」が18.7%と多くなっています。さらに、70歳以上は「海岸線や里山などの景観」が48.6%と少なくなっています。

クロス集計（年齢別）



(6) 浜岡原子力発電所の今後についての考え

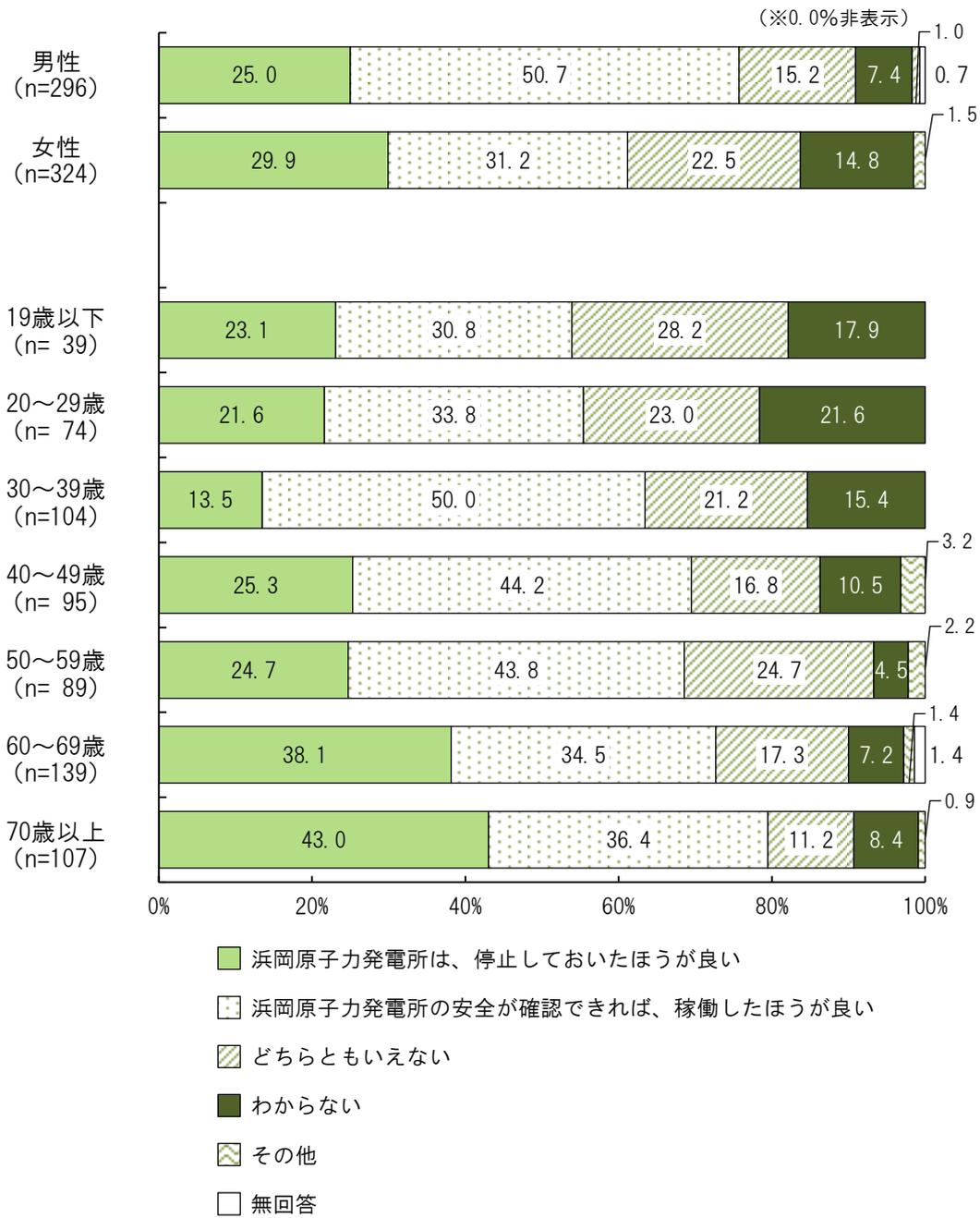
問6 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？（○は1つ）



浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が39.4%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い」が28.6%、「どちらともいえない」が19.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



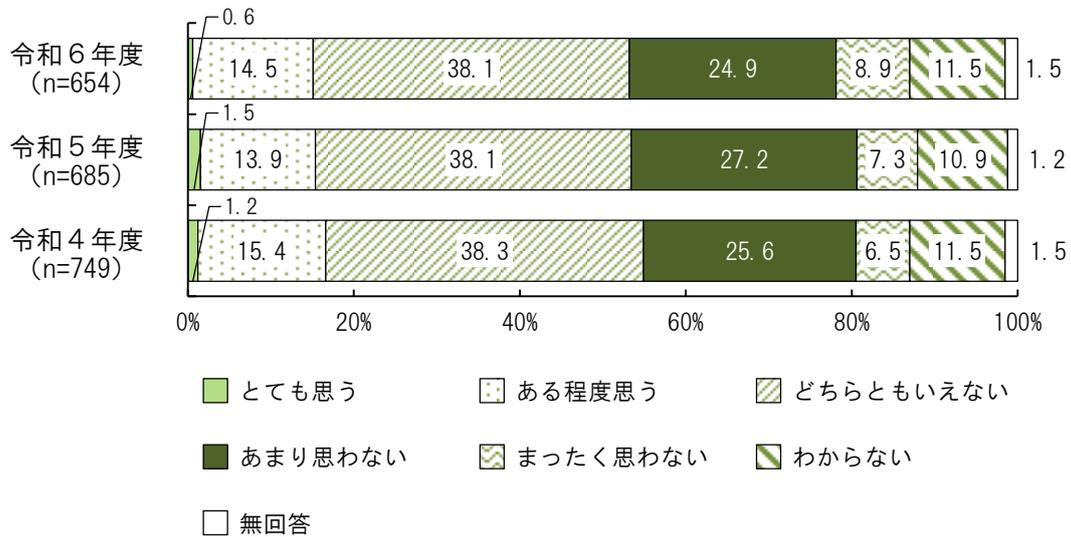
【性別】：男性は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が50.7%と女性より多くなっています。女性は「どちらともいえない」「わからない」が男性より多くなっています。

【年齢別】：30～39歳は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い」が50.0%と他の年代に比べて多く、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い」が13.5%と少なくなっています。70歳以上は「どちらともいえない」が11.2%と少なくなっています。

②女性にやさしいまちについて

(7) 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

問7 あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？（○は1つ）

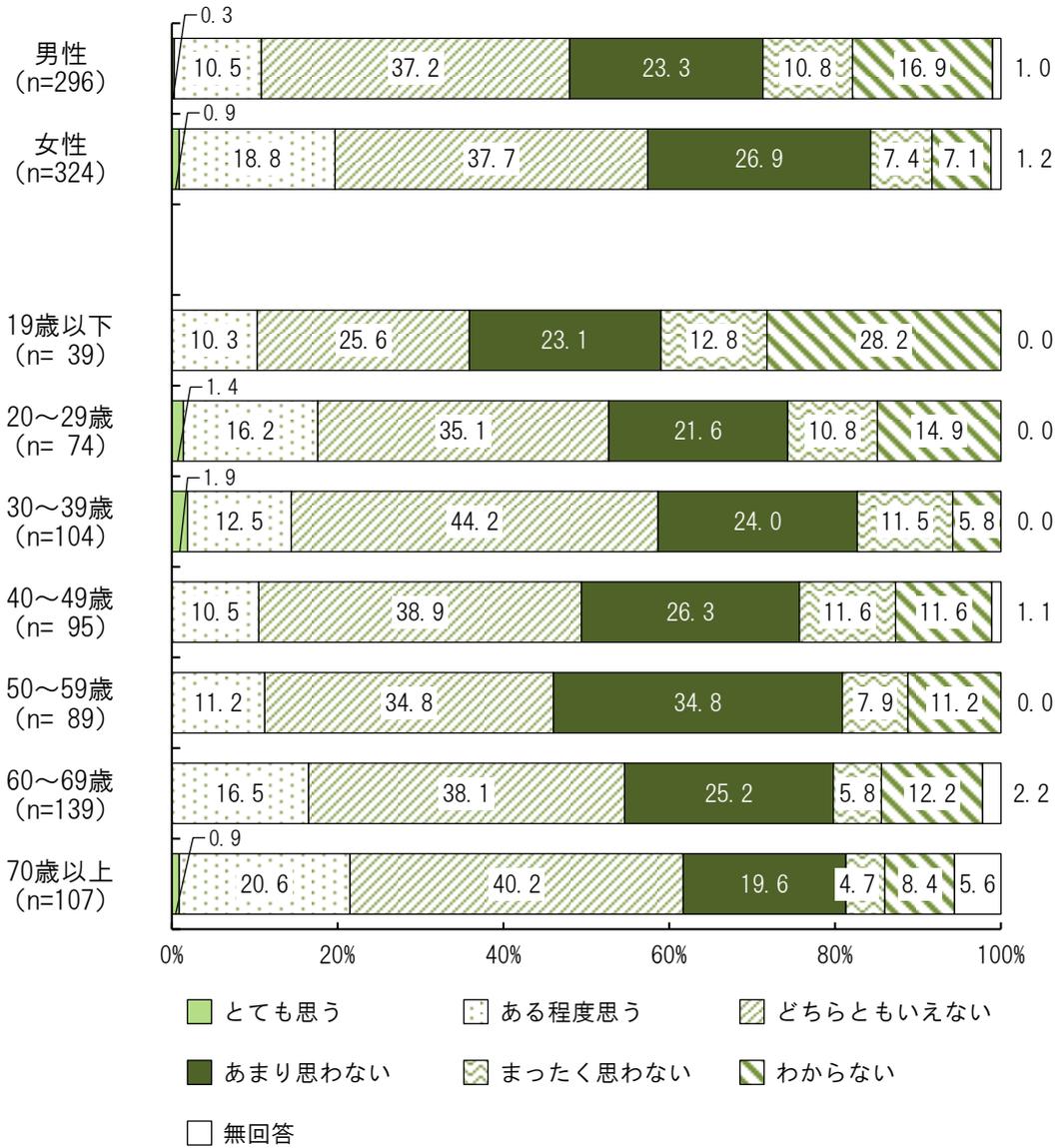


※「とても思う」は、令和5年度以前は「大いに思う」という選択肢でした。

牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が38.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が24.9%、「ある程度思う」が14.5%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は15.1%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は33.8%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

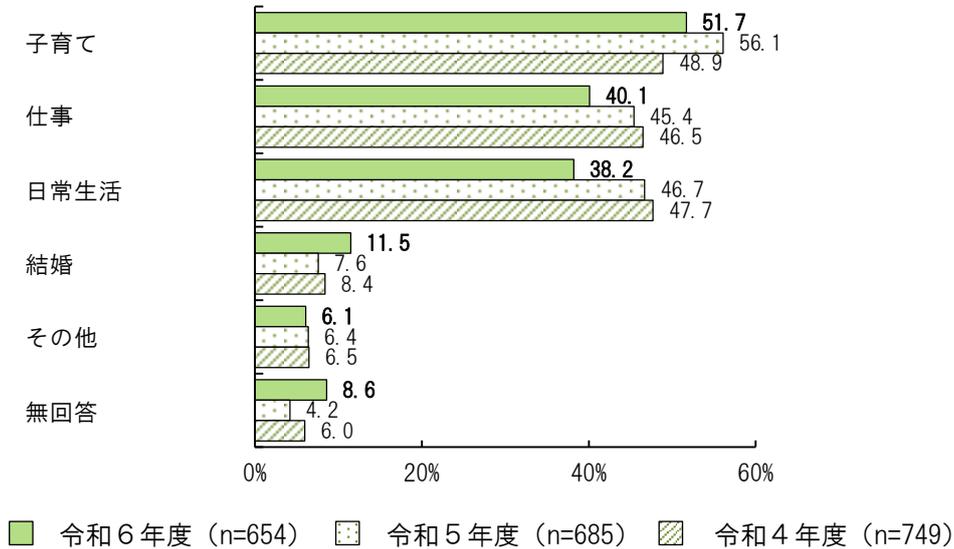


【性別】：男性は「わからない」が16.9%と女性より多くなっています。女性は「ある程度思う」が18.8%と男性より多くなっています。また、『思う』は女性が19.8%と男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「どちらともいえない」が25.6%と他の年代に比べて少なくなっています。20～29歳は「わからない」が14.9%と多くなっています。50～59歳は「あまり思わない」が34.8%と多くなっています。また、『思わない』は70歳以上が24.3%と少なくなっています。

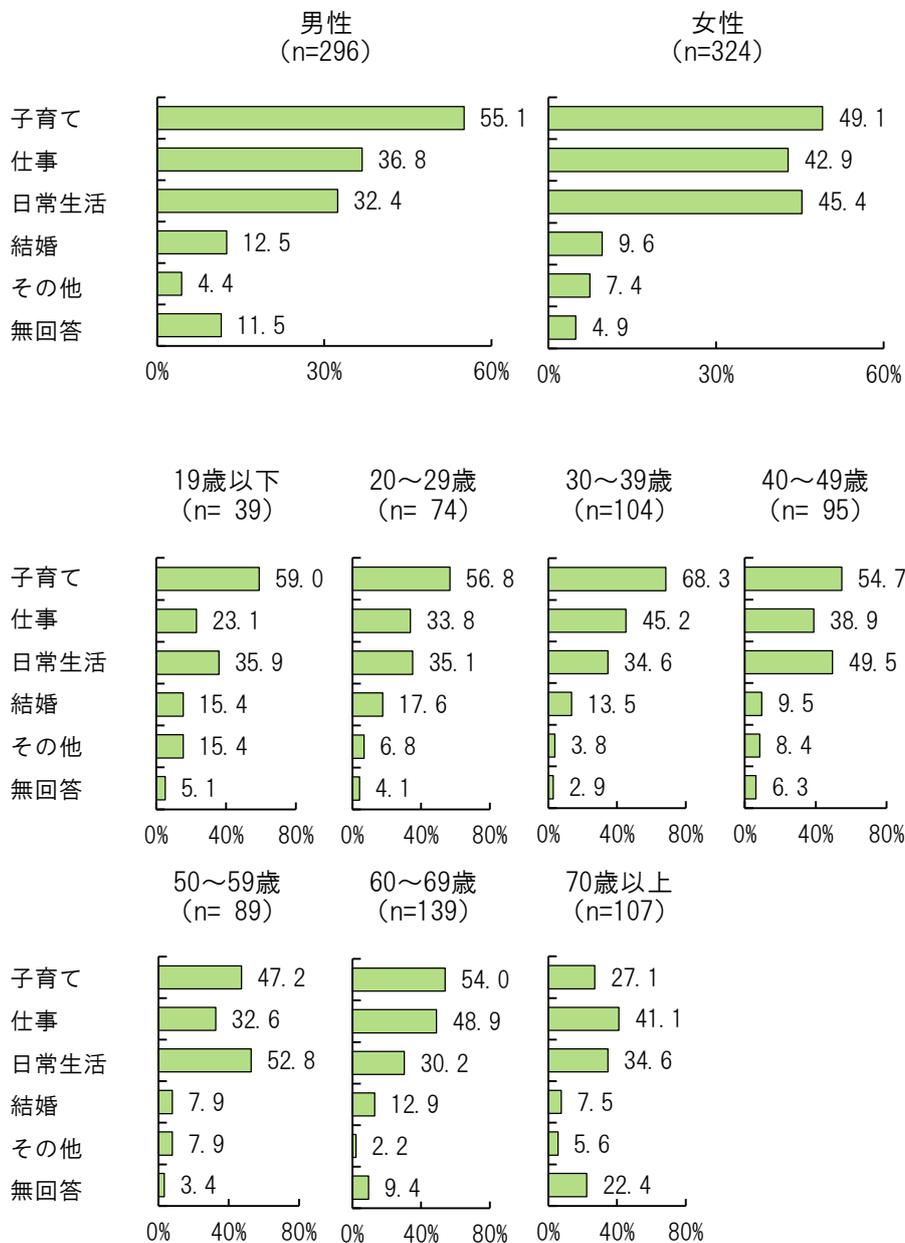
(8) 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

問8 あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いませんか？（〇は2つ以内）



女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「子育て」が 51.7% と最も多く、次いで「仕事」が 40.1%、「日常生活」が 38.2%などとなっています。昨年度と比較すると、「仕事」「日常生活」が 5.0 ポイント以上減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）



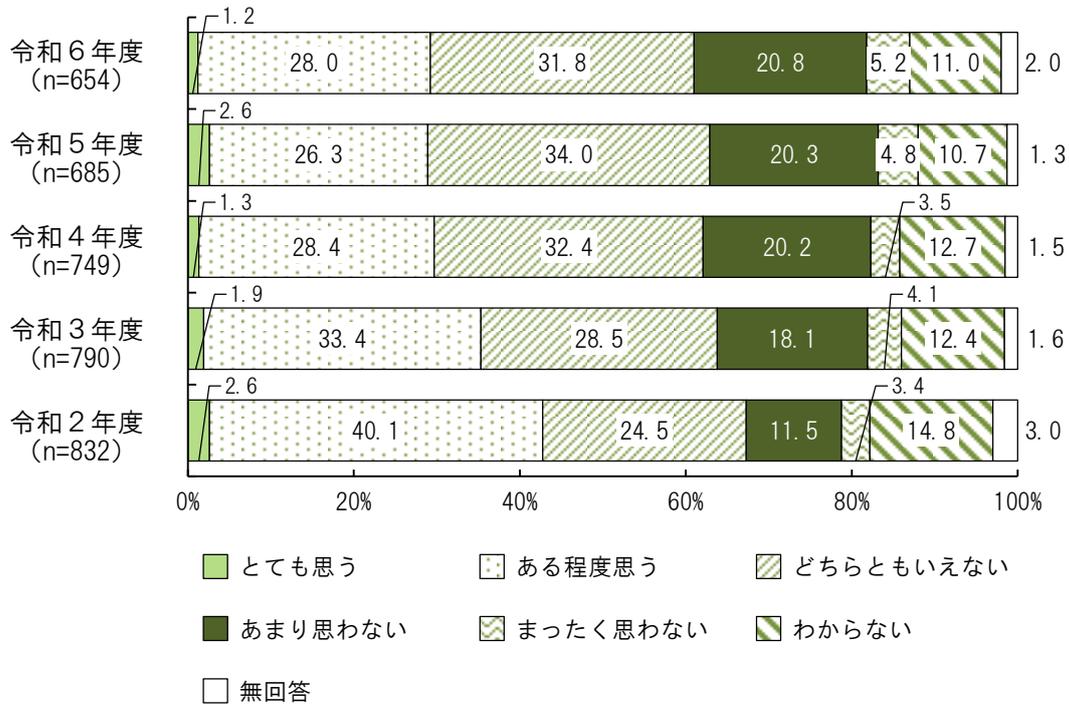
【性別】：男性は「子育て」が55.1%と女性より多くなっています。女性は「仕事」「日常生活」が男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「仕事」が23.1%と他の年代に比べて少なくなっています。30～39歳は「子育て」が68.3%と多くなっています。また、70歳以上は「子育て」が27.1%と少なくなっています。

③子育てについて

(9) 牧之原市は子どもを育てやすい環境か

問9 あなたは、牧之原市が子どもを育てやすい環境だと思いますか？（○は1つ）



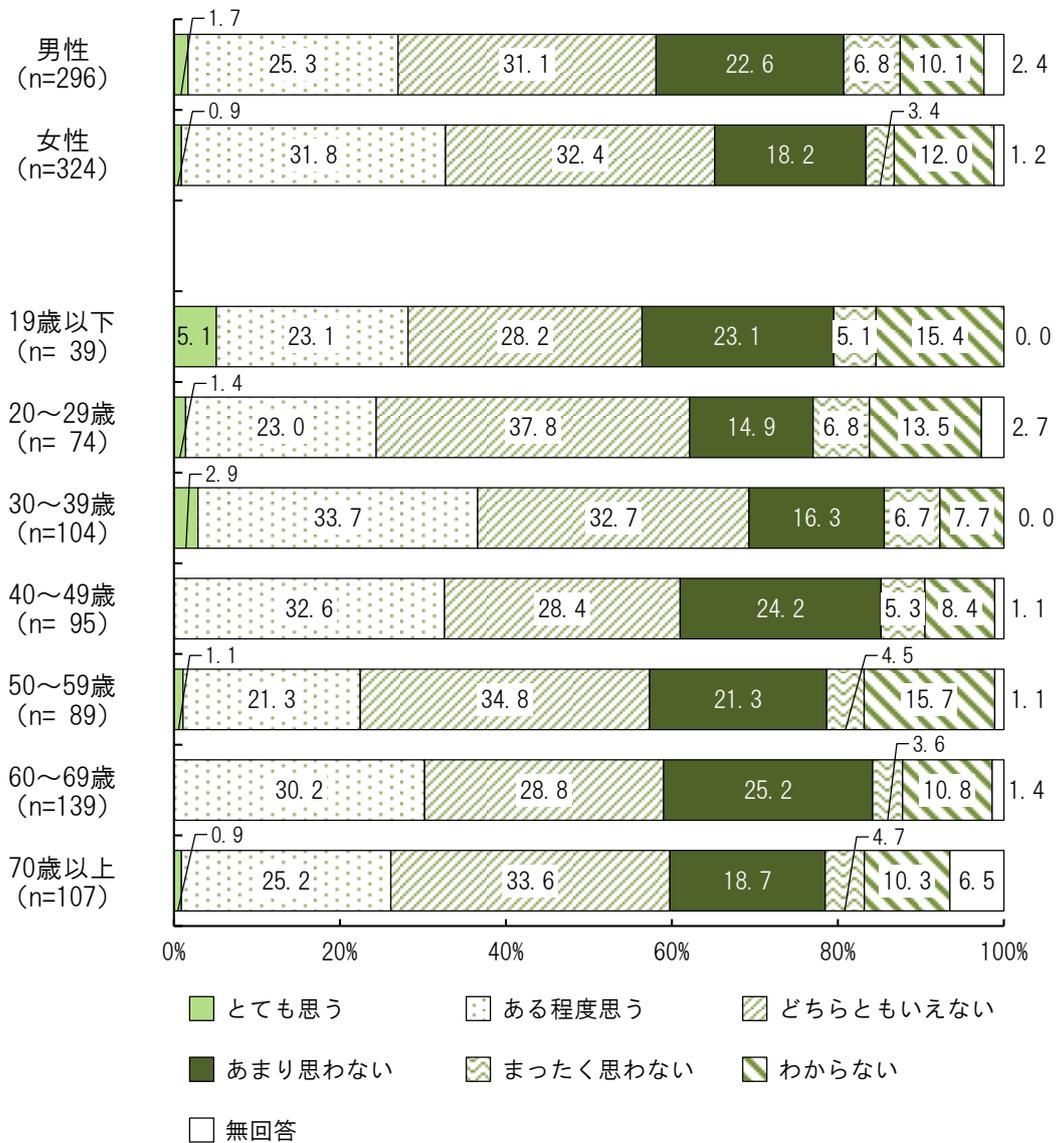
※「とても思う」は、令和5年度以前は「大いに思う」という選択肢でした。

令和3年度以前は「あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？」という設問文でした。

牧之原市は子どもを育てやすい環境かについては、「どちらともいえない」が31.8%と最も多く、次いで「ある程度思う」が28.0%、「あまり思わない」が20.8%などとなっています。また、『思う』（「とても思う」＋「ある程度思う」）は29.2%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は26.0%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

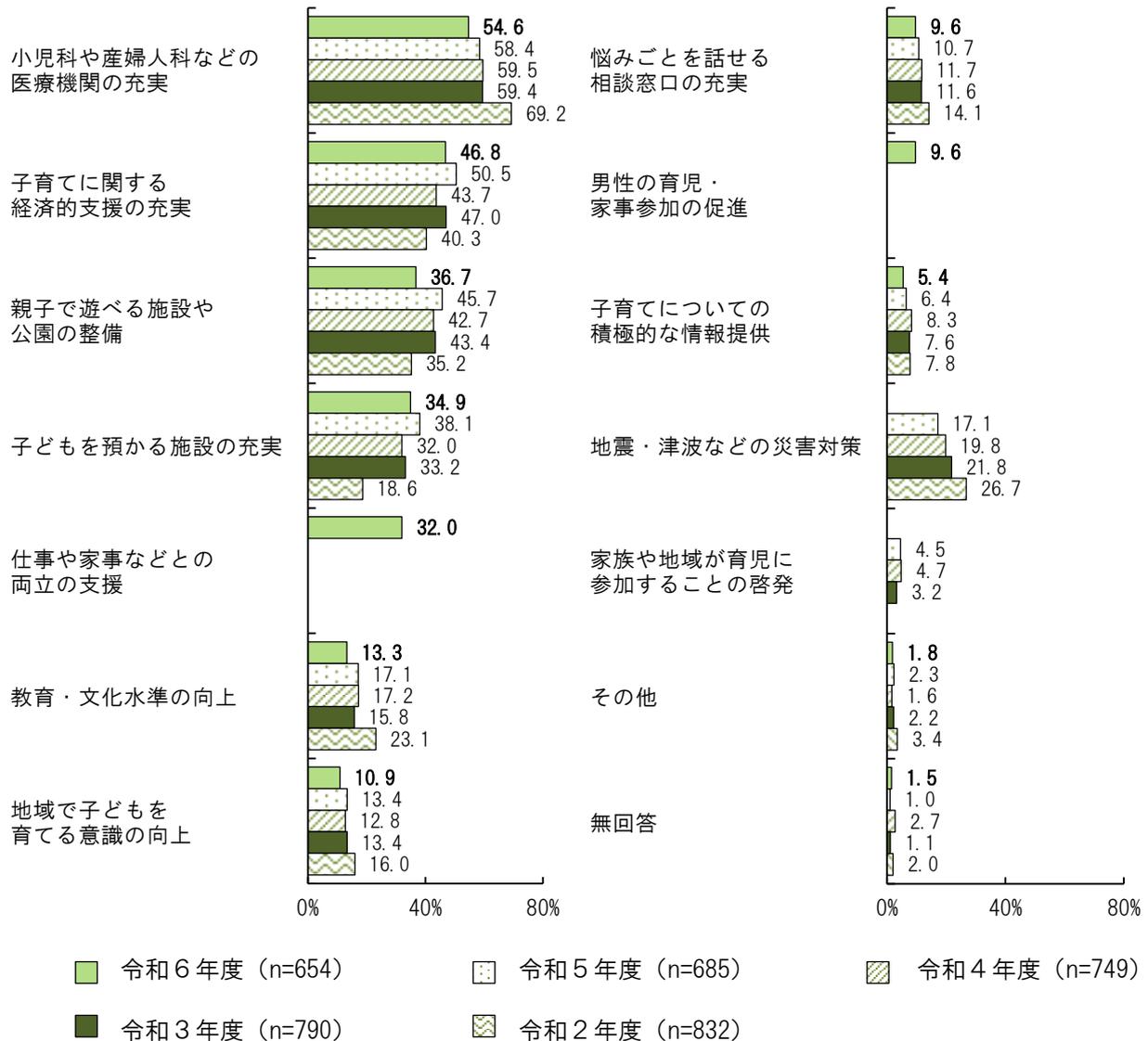


【性別】：女性は「ある程度思う」が31.8%と男性より多くなっています。また、『思わない』は男性が29.4%と女性より多くなっています。

【年齢別】：大きな差異はみられません。

(10) 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

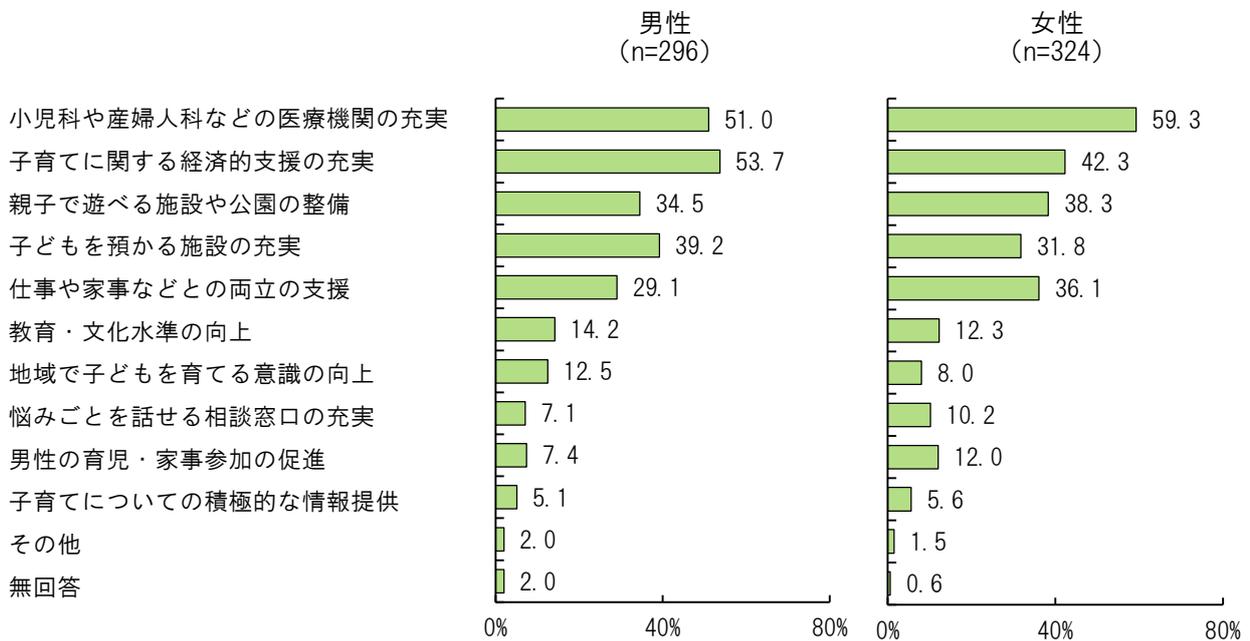
問10 あなたは、子どもを育てやすい環境にするためには、市はどんなことに力を入れるべきだと思いますか？（〇は3つ以内）



※「仕事や家事などとの両立の支援」「男性の育児・家事参加の促進」は、令和6年度に追加された選択肢です。
 「地震・津波などの災害対策」は、令和5年度以前の選択肢です。
 「家族や地域が育児に参加することの啓発」は、令和3年度～令和5年度の選択肢です。

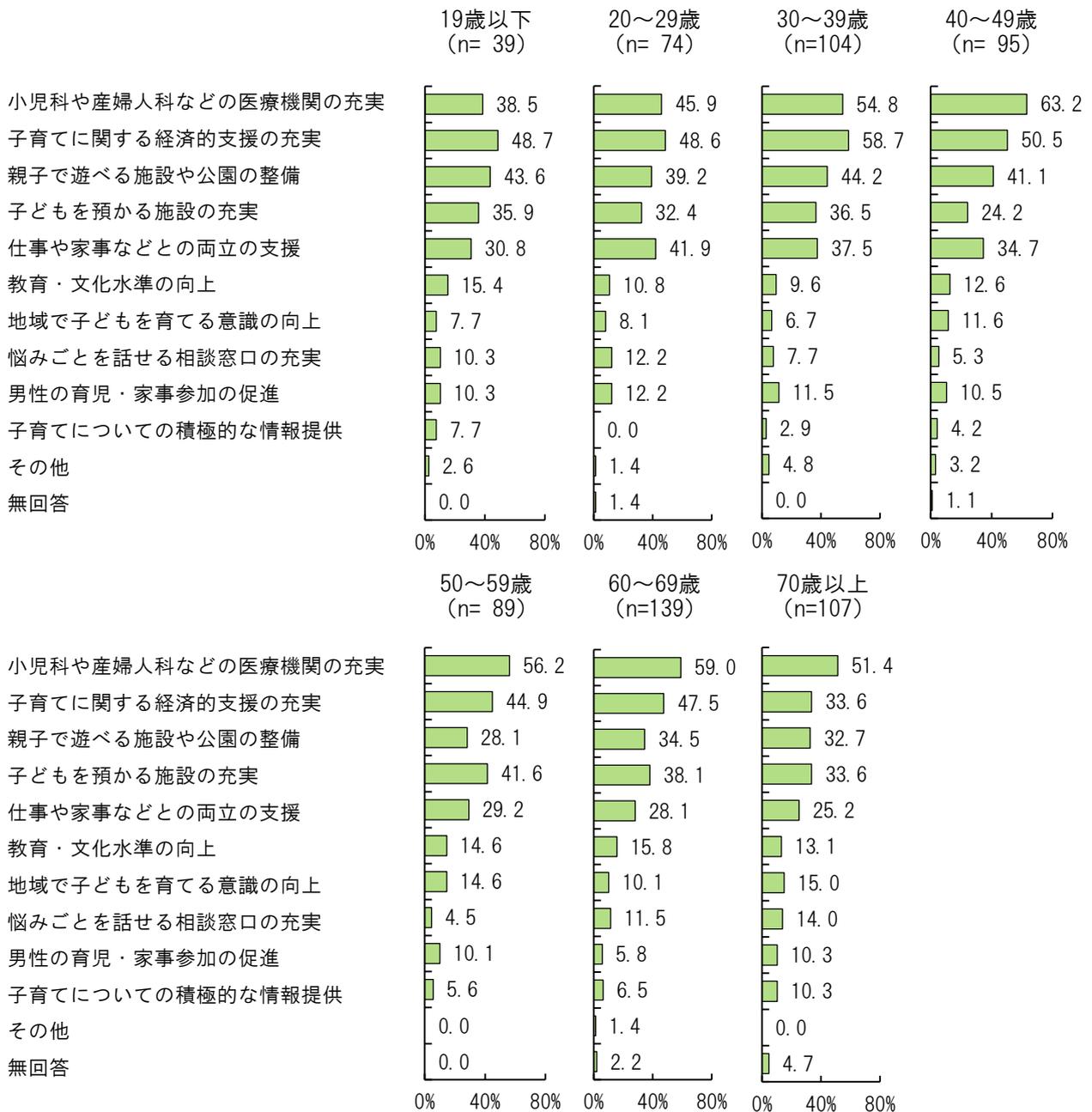
子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が54.6%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が46.8%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が36.7%などとなっています。
 昨年度と比較すると、「親子で遊べる施設や公園の整備」が9.0ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「子育てに関する経済的支援の充実」「子どもを預かる施設の充実」が女性より多くなっています。女性は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」「仕事や家事などとの両立の支援」が男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

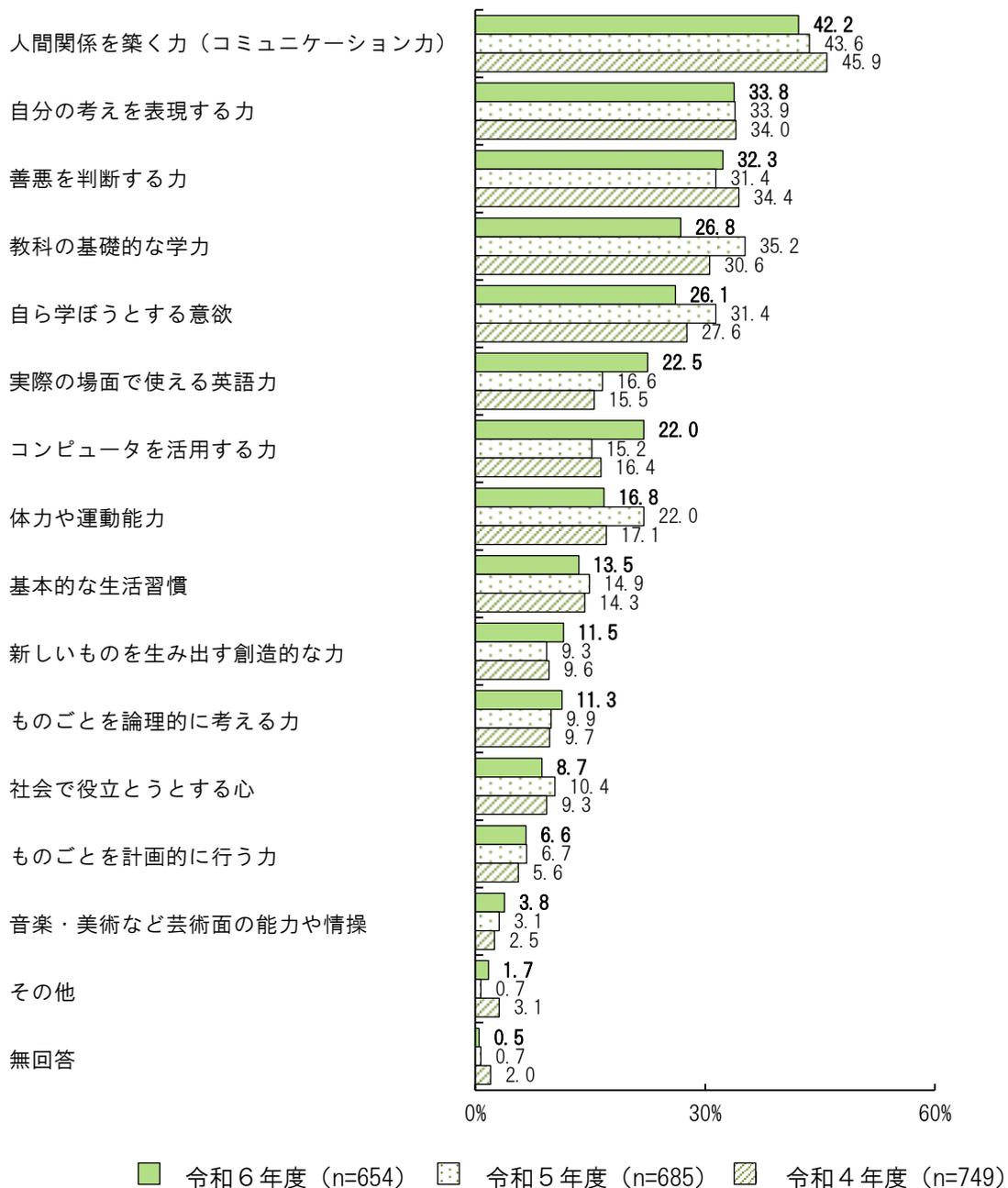


【年齢別】：19歳以下は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が38.5%と他の年代に比べて少なくなっています。30~39歳は「子育てに関する経済的支援の充実」が58.7%と多くなっています。また、40~49歳は「子どもを預かる施設の充実」が24.2%と少なくなっています。さらに、70歳以上は「子育てに関する経済的支援の充実」が33.6%と少なくなっています。

④教育について

(11) 義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力

問11 あなたは、義務教育学校の整備を踏まえ、今後、子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？（○は3つ以内）

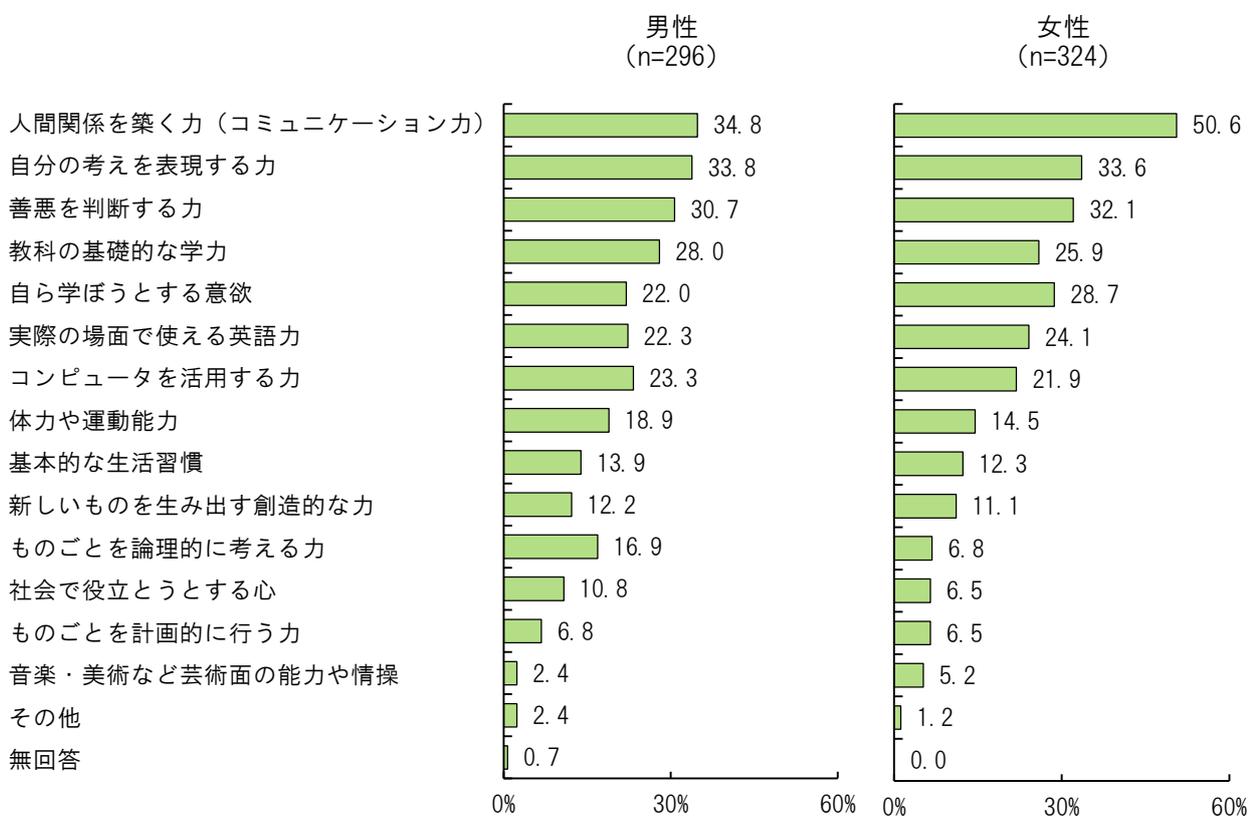


※令和5年度以前は「あなたは、学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？」という設問文でした。

義務教育学校の整備を踏まえた上で、子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が42.2%と最も多く、次いで「自分の考えを表現する力」が33.8%、「善悪を判断する力」が32.3%などとなっています。

昨年度と比較すると、「実際の場面で使える英語力」「コンピュータを活用する力」が5.0ポイント以上増加し、「教科の基礎的な学力」「自ら学ぼうとする意欲」「体力や運動能力」が5.0ポイント以上減少しています。

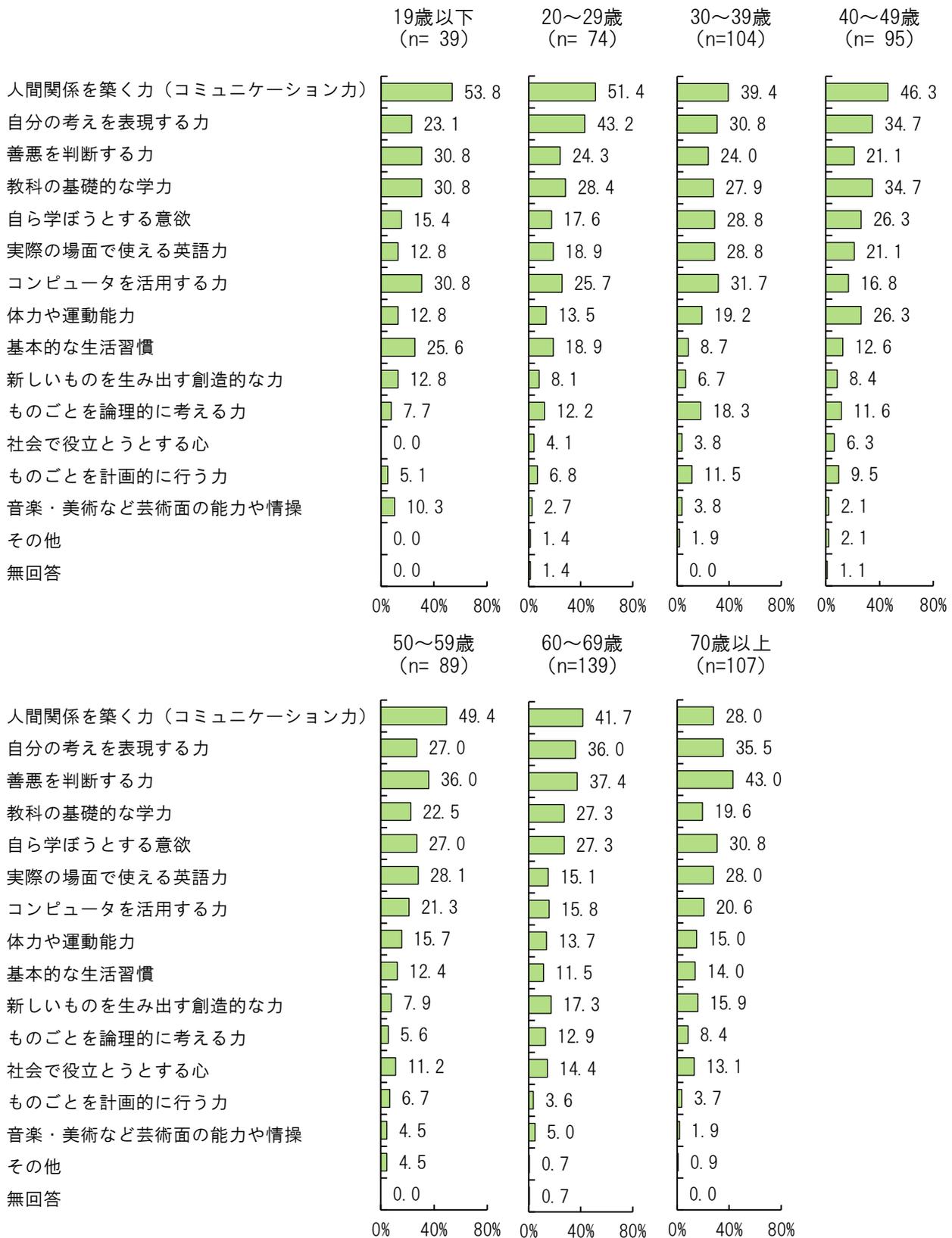
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「ものごとを論理的に考える力」が16.9%と女性より多くなっています。女性は「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」「自ら学ぼうとする意欲」が男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「基本的な生活習慣」「音楽・美術など芸術面の能力や情操」が他の年代に比べて多くなっています。20～29歳は「自分の考えを表現する力」が43.2%と多くなっています。また、30～39歳は「ものごとを論理的に考える力」が18.3%と多くなっています。40～49歳は「体力や運動能力」が26.3%と多くなっています。さらに、70歳以上は「善悪を判断する力」が43.0%と多く、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が28.0%と少なくなっています。

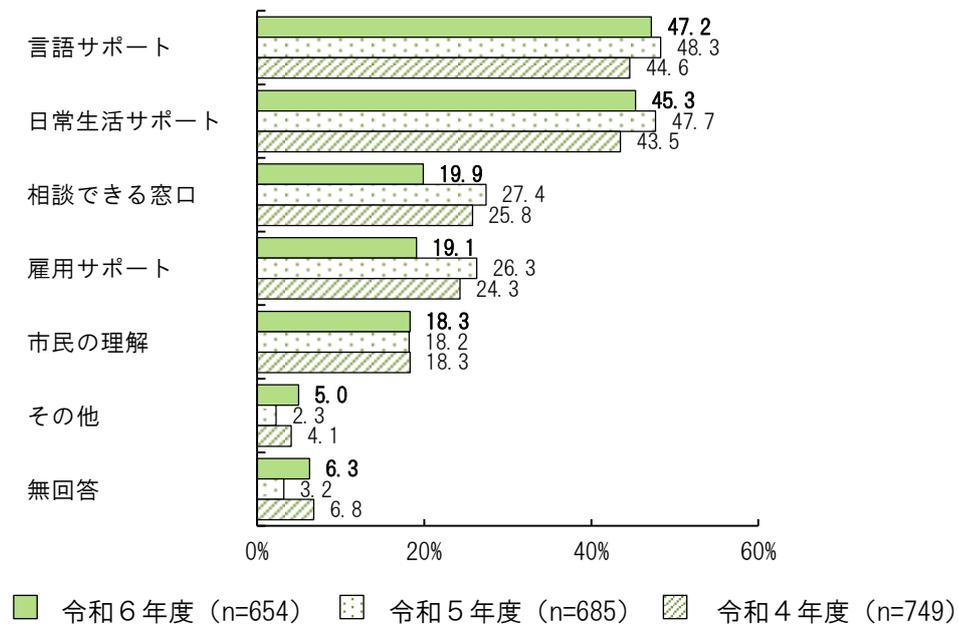
クロス集計（年齢別）



⑤多文化共生について

(12) 外国籍住民が暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

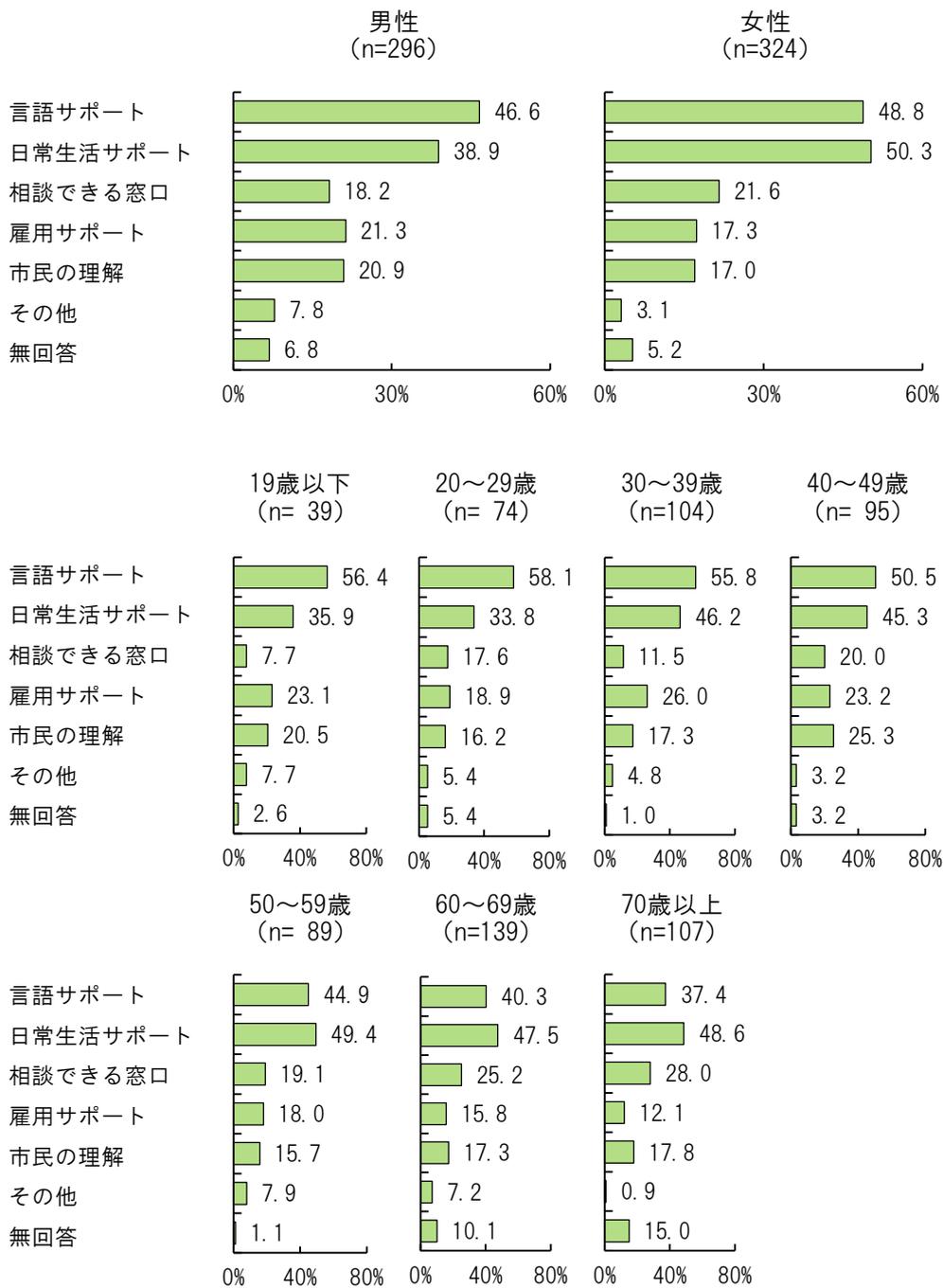
問12 あなたは、外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いませんか？（○は2つ以内）



外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「言語サポート」が47.2%と最も多く、次いで「日常生活サポート」が45.3%、「相談できる窓口」が19.9%などとなっています。

昨年度と比較すると、「相談できる窓口」「雇用サポート」が7.0ポイント以上減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）



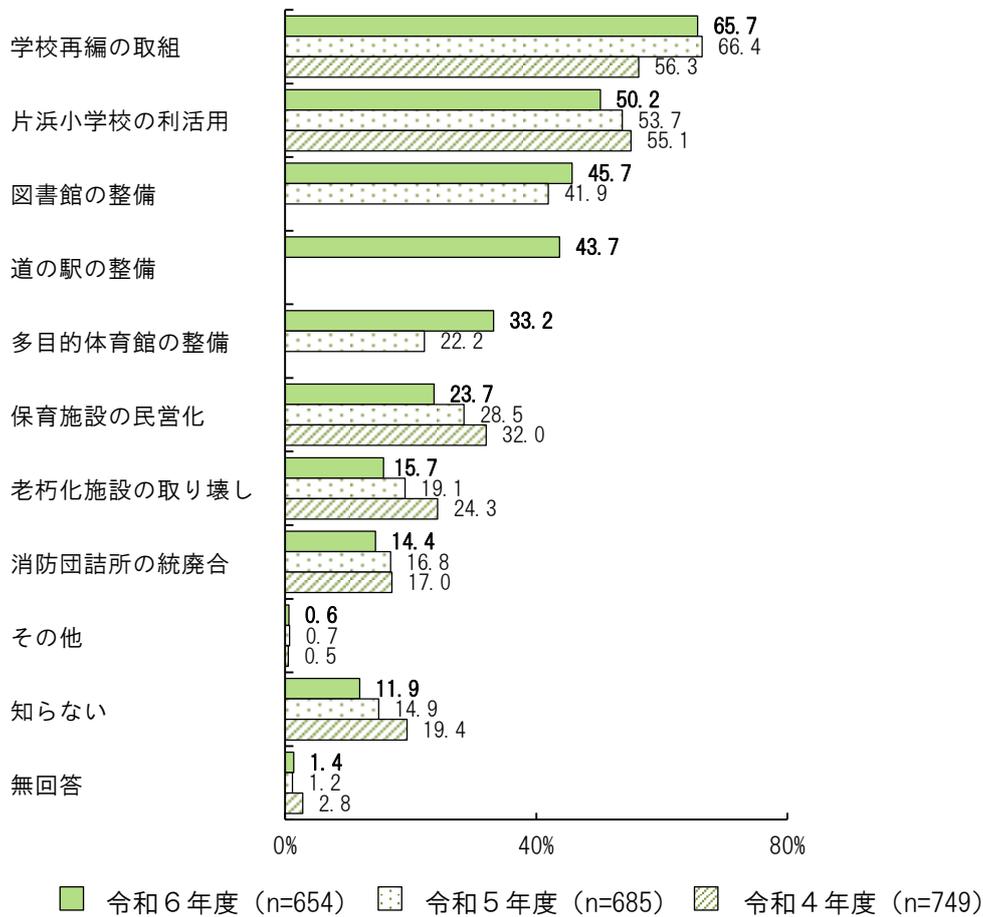
【性別】：女性は「日常生活サポート」が50.3%と男性より多くなっています。

【年齢別】：大きな差異はみられません。

⑥公共施設の最適化について

(13) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

問13 牧之原市では、「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？（○はいくつでも）



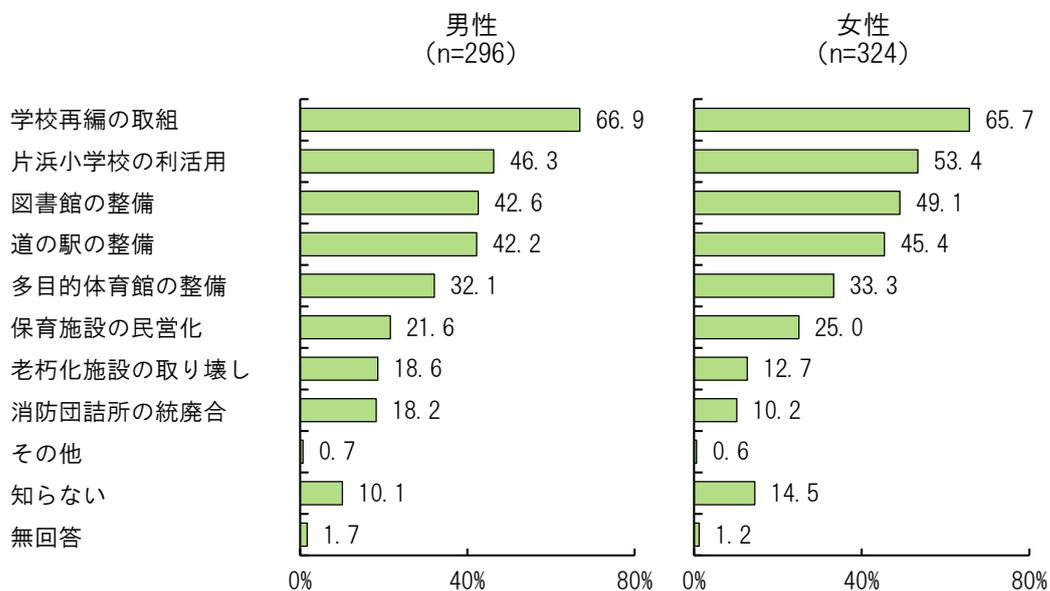
※「道の駅の整備」は、令和6年度に追加された選択肢です。

「図書館の整備」「多目的体育館の整備」は、令和5年度に追加された選択肢です。

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編の取組」が65.7%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が50.2%、「図書館の整備」が45.7%などとなっています。

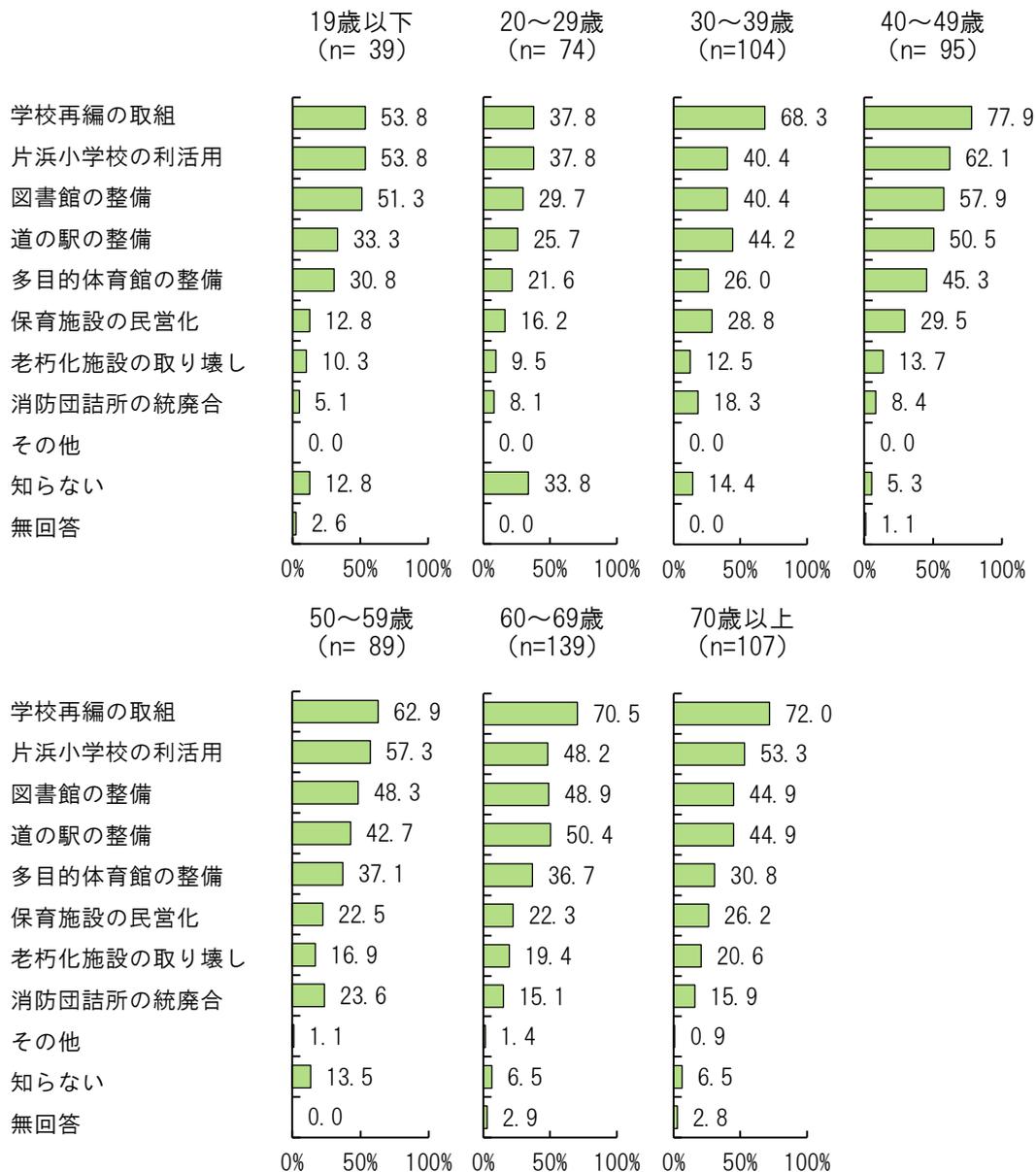
昨年度と比較すると、「多目的体育館の整備」が11.0ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「老朽化施設の取り壊し」「消防団詰所の統廃合」が女性より多くなっています。女性は「片浜小学校の利活用」「図書館の整備」が男性より多くなっています。

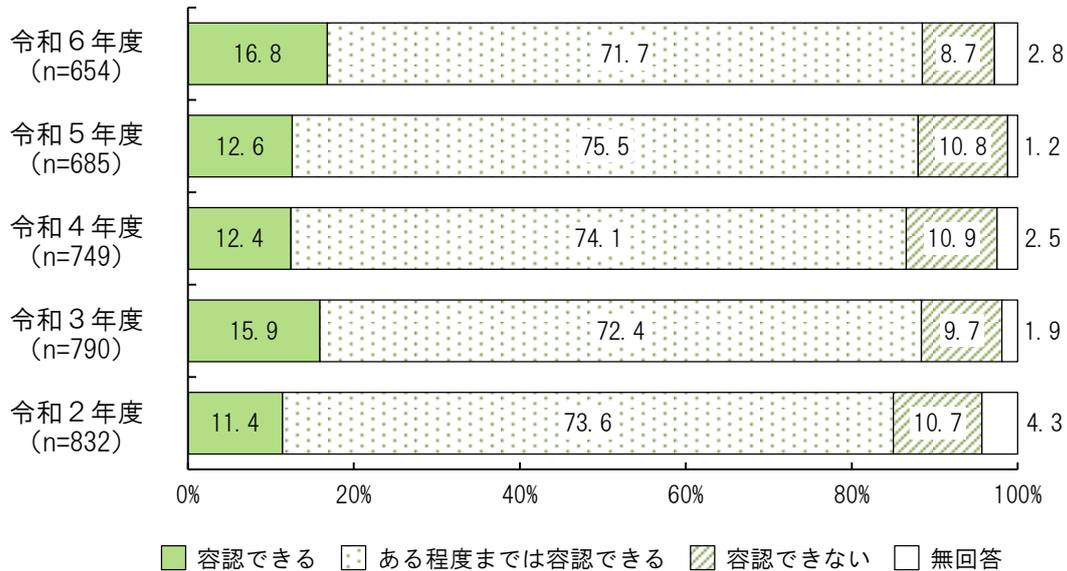
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：20～29歳は「学校再編の取組」「図書館の整備」「道の駅の整備」が他の年代に比べて少なくなっています。40～49歳は「学校再編の取組」「図書館の整備」「多目的体育館の整備」が多くなっています。また、50～59歳は「消防団詰所の統廃合」が23.6%と多くなっています。

(14) 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

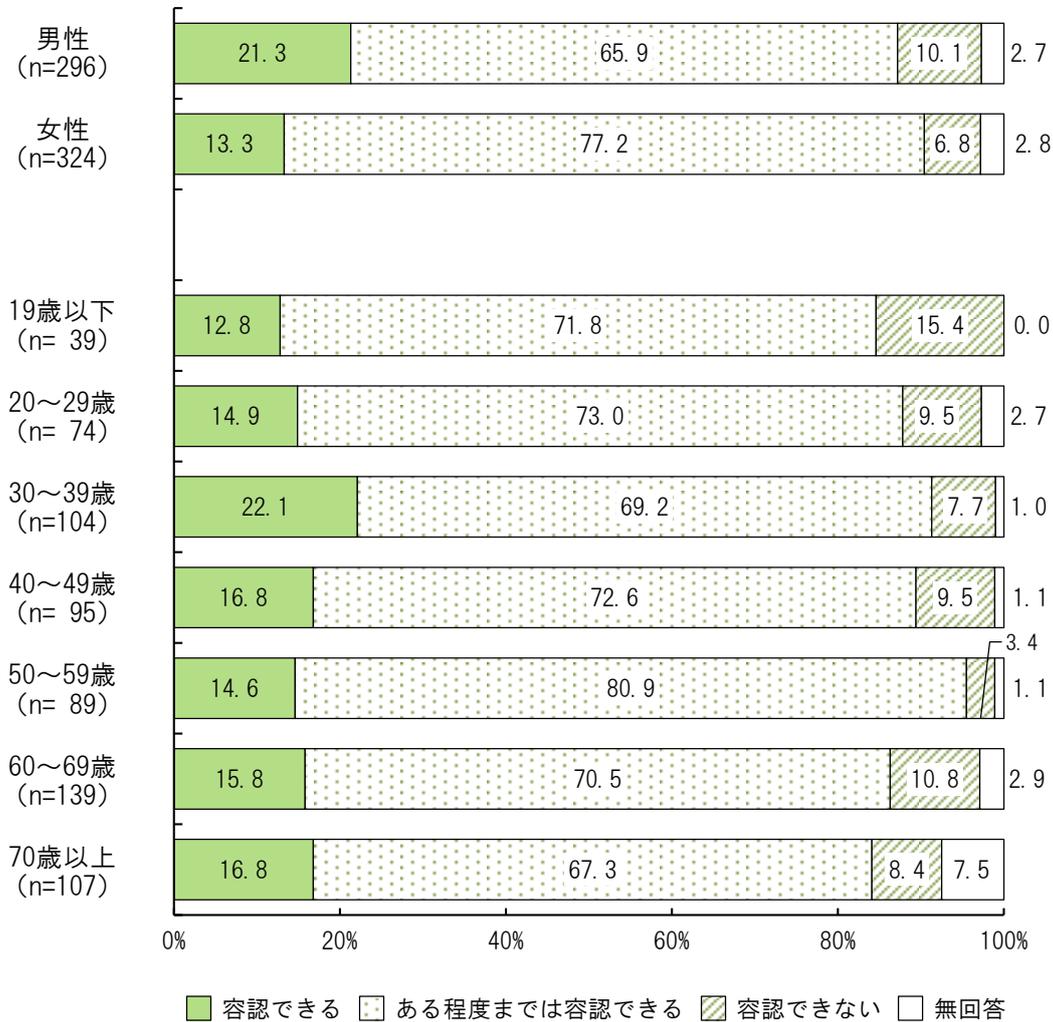
問14 「公共施設の最適化」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？（○は1つ）



「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が71.7%と最も多く、次いで「容認できる」が16.8%、「容認できない」が8.7%となっています。

昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



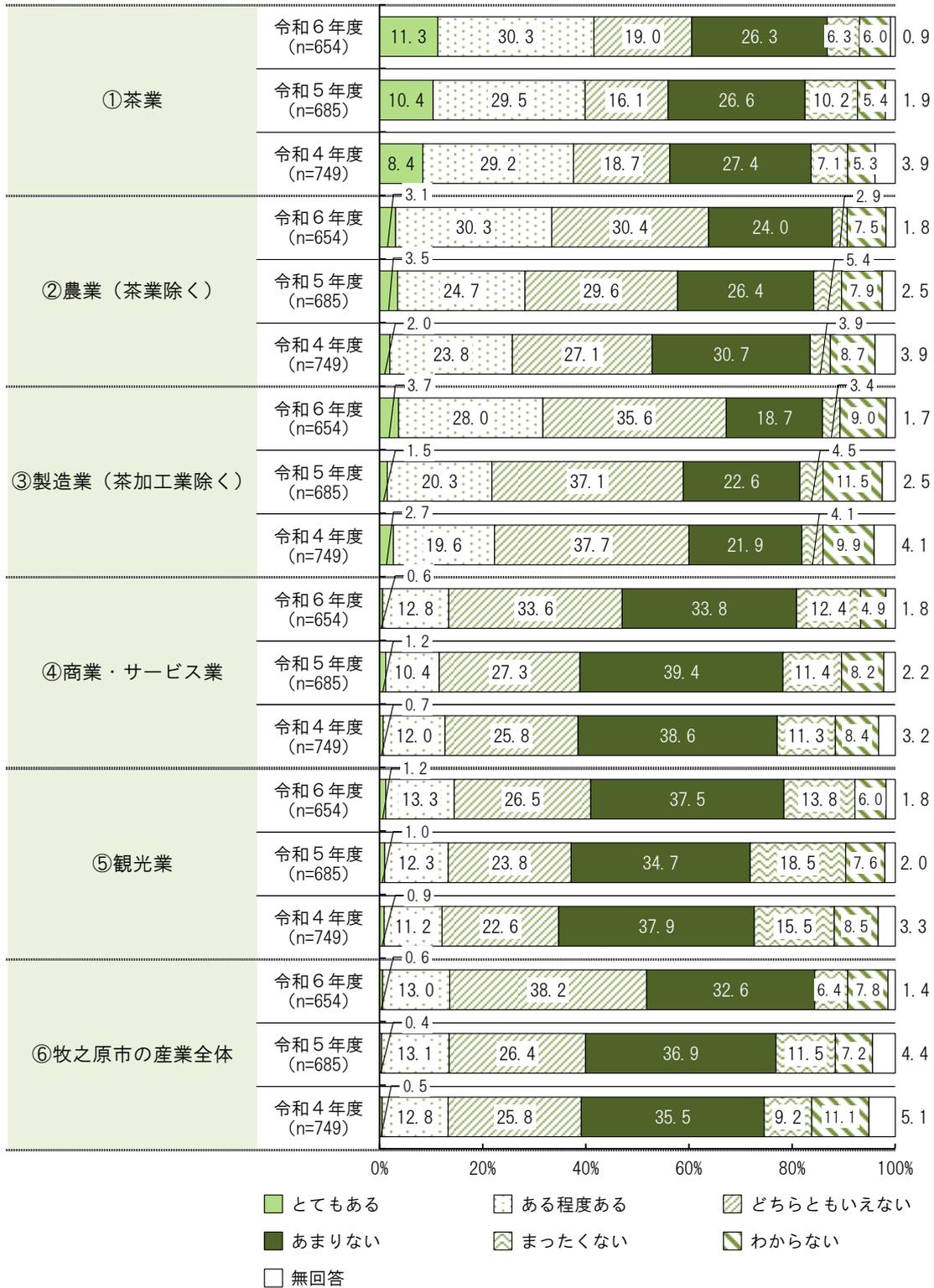
【性別】：男性は「容認できる」が21.3%と女性より多くなっています。女性は「ある程度までは容認できる」が77.2%と男性より多くなっています。

【年齢別】：30～39歳は「容認できる」が22.1%と他の年代に比べて多くなっています。50～59歳は「ある程度までは容認できる」が80.9%と多くなっています。

⑦産業・雇用について

(15) 牧之原市の各産業に活力があると思うか

問15 あなたは、市の各産業に活力があると思いますか？（○は各項目1つ）



※「とてもある」は、令和5年度以前は「大いにある」という選択肢でした。

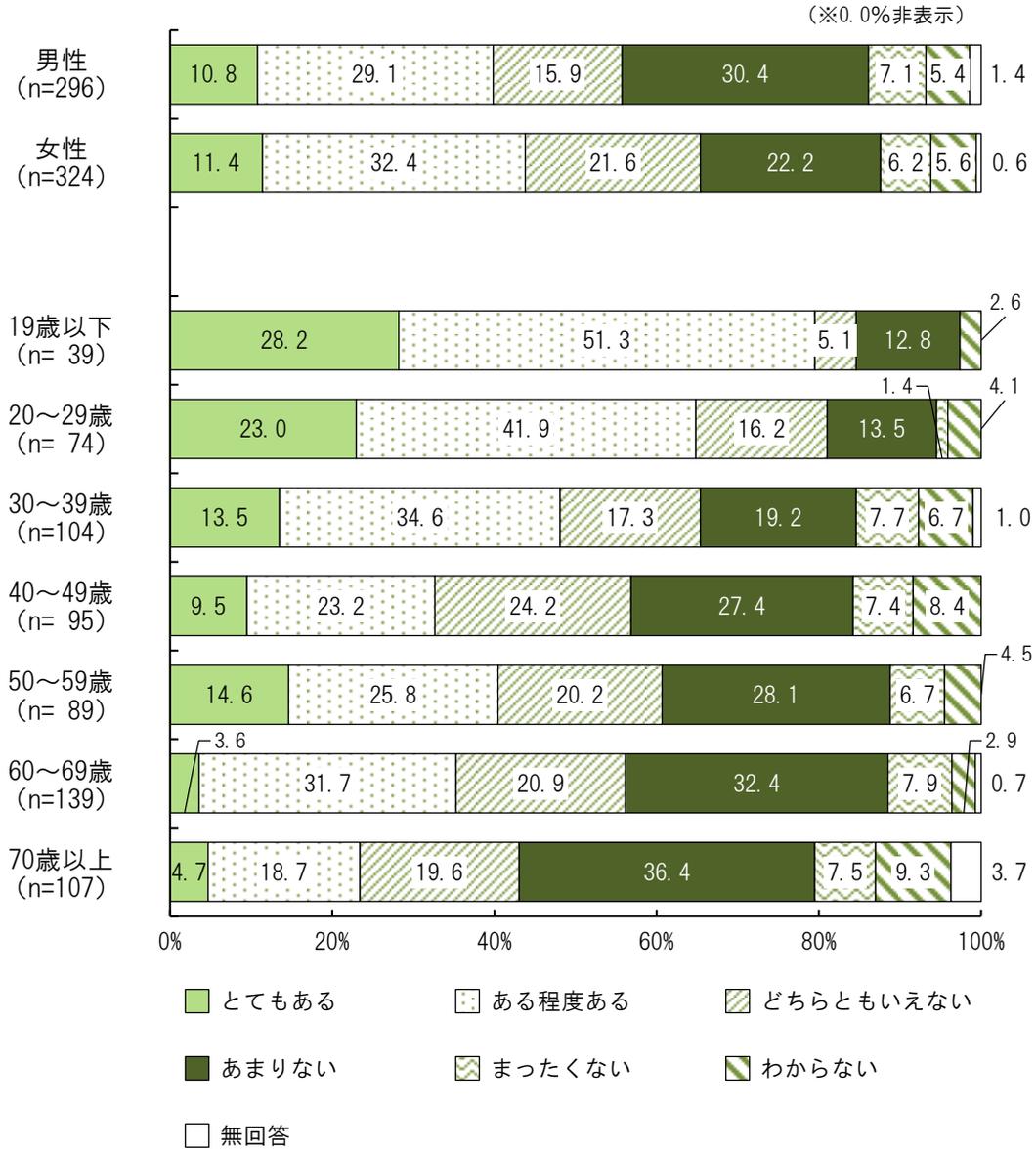
牧之原市の《①茶業》～《⑤観光業》の各産業に活力があると思うかについては、「とてもある」が《①茶業》において11.3%と最も多く、『ある』（「とてもある」＋「ある程度ある」）は41.6%となっています。一方、「まったくない」が《⑤観光業》において13.8%と最も多く、『ない』（「あまりない」＋「まったくない」）は51.2%となっています。

また、《⑥牧之原市の産業全体》に活力があると思うかについては、『ある』は13.6%、『ない』は39.0%となっています。

昨年度と比較すると、《②農業（茶業除く）》において『ある』が5.1ポイント増加、《③製造業（茶加工業除く）》は9.9ポイント増加しています。また、《⑥牧之原市の産業全体》においては『ない』が9.5ポイント減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）

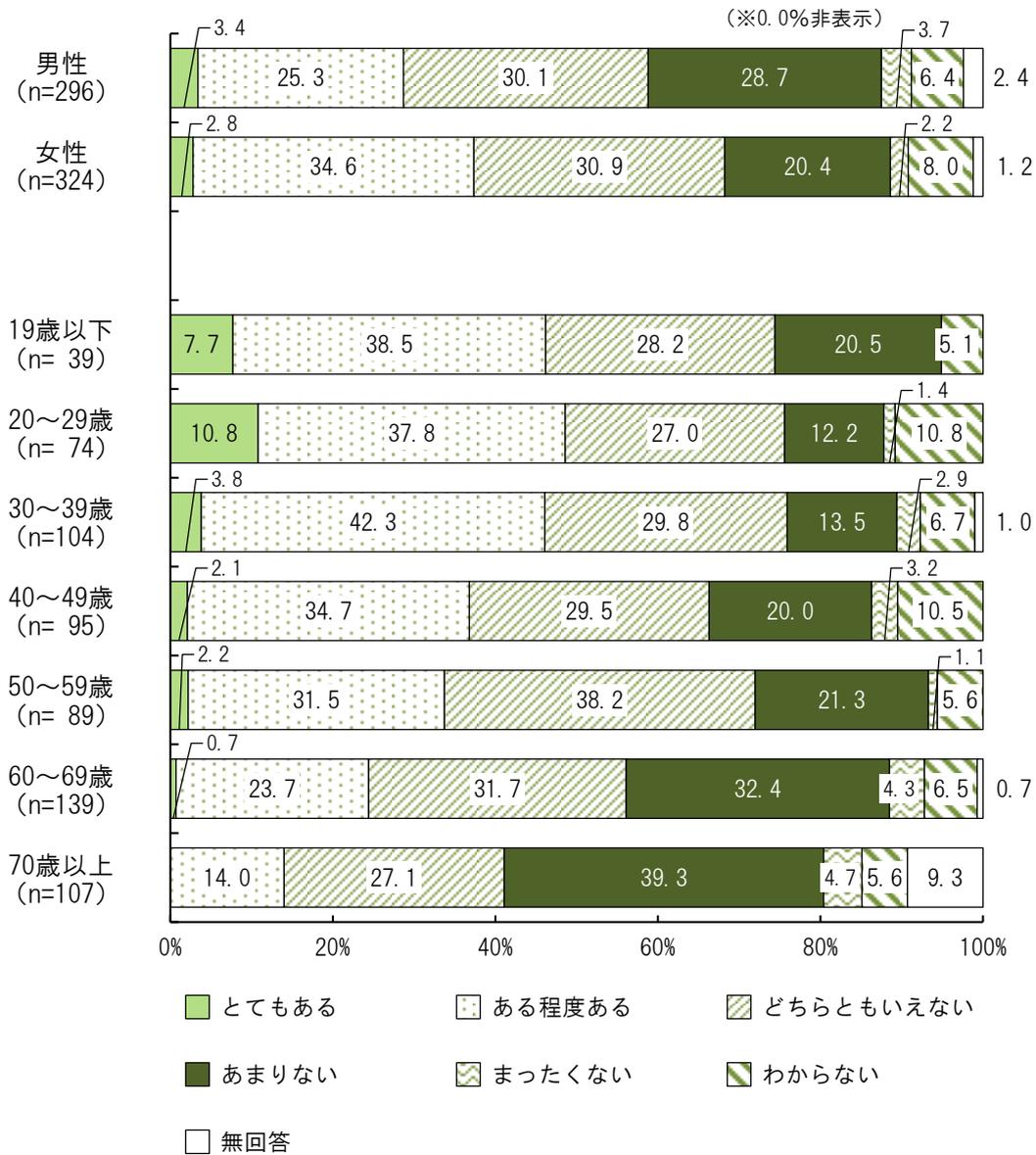
《①茶業》



【性別】：男性は「あまりない」が30.4%と女性より多くなっています。女性は「どちらともいえない」が21.6%と男性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「とてもある」「ある程度ある」が他の年代に比べて多く、「どちらともいえない」が5.1%と少なくなっています。また、『ある』は19歳以下が79.5%と多く、70歳以上が23.4%と少なくなっています。

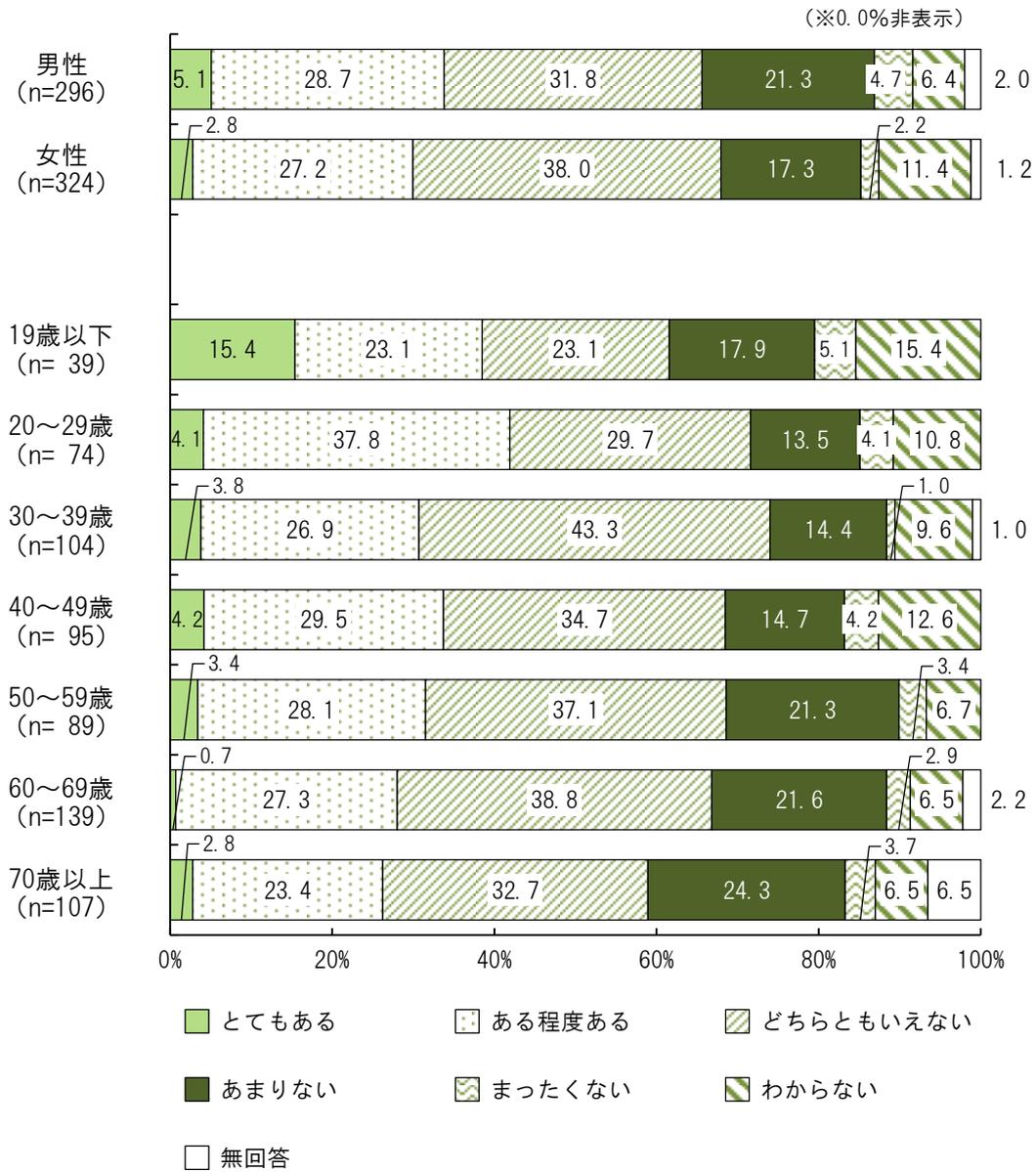
《②農業（茶業除く）》



【性別】：男性は「あまりない」が28.7%と女性より多くなっています。女性は「ある程度ある」が34.6%と男性より多くなっています。また、『ない』は男性が32.4%と女性より多くなっています。

【年齢別】：50～59歳は「どちらともいえない」が38.2%と他の年代に比べて多くなっています。70歳以上は「あまりない」が39.3%と多く、「ある程度ある」が14.0%と少なくなっています。また、『ある』は70歳以上が14.0%と少なくなっています。

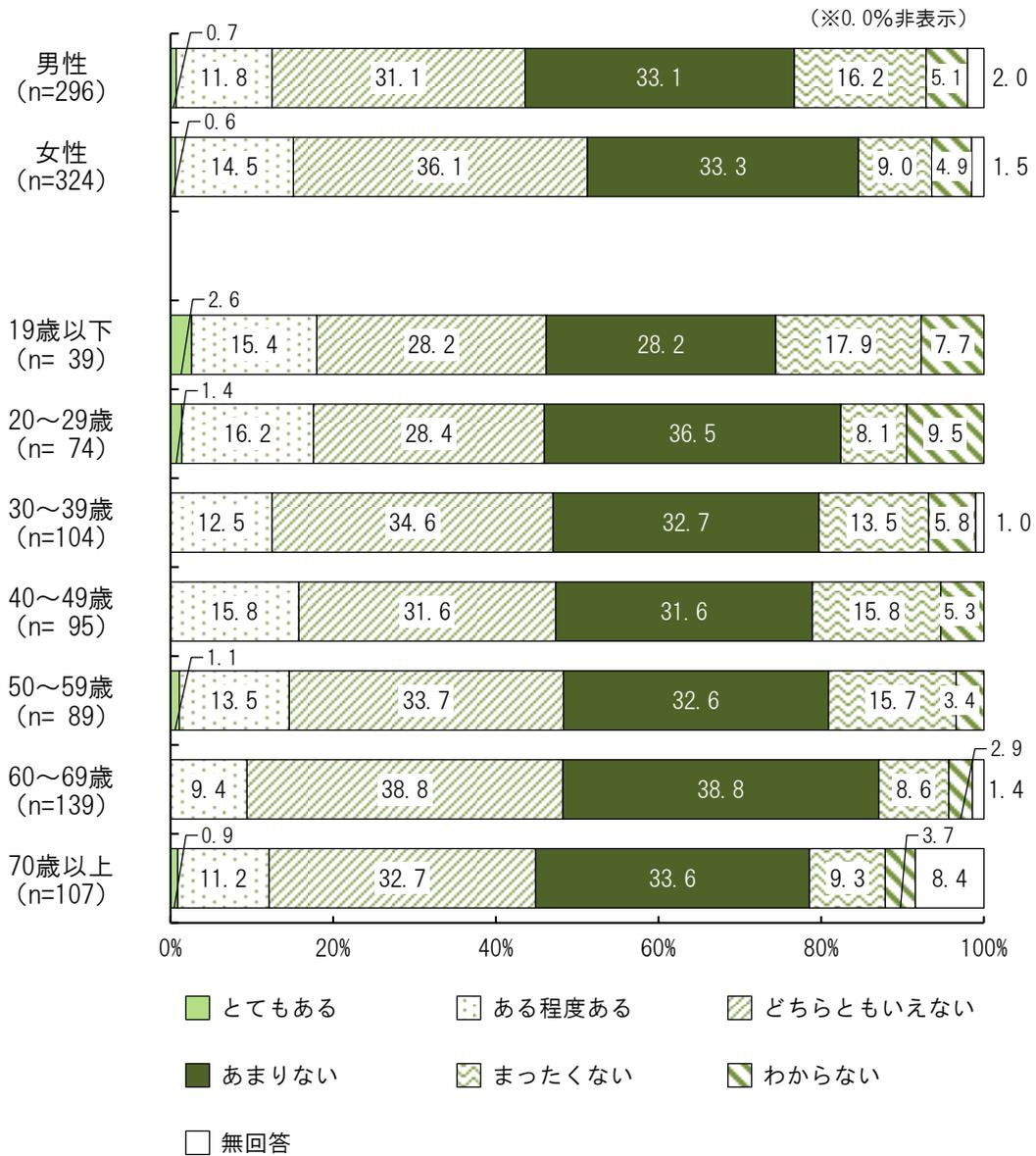
《③製造業（茶加工業除く）》



【性別】：女性は「どちらともいえない」「わからない」が男性より多くなっています。また、『ない』は男性が26.0%と女性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「とてもある」が15.4%と他の年代に比べて多く、「どちらともいえない」が23.1%と少なくなっています。20～29歳は「ある程度ある」が37.8%と多くなっています。

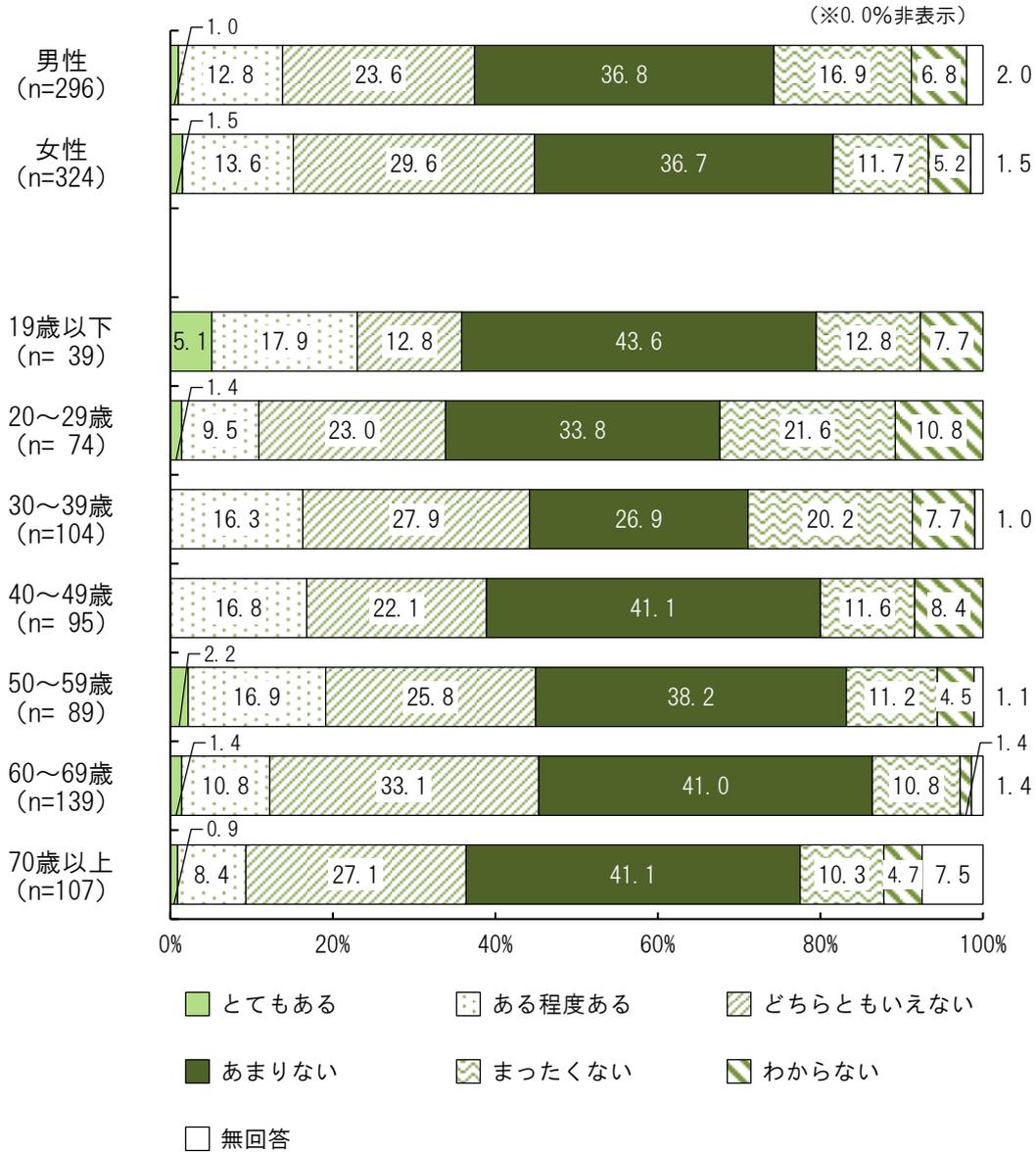
《④商業・サービス業》



【性別】：男性は「まったくない」が16.2%と女性より多くなっています。女性は「どちらともいえない」が36.1%と男性より多くなっています。また、『ない』は男性が49.3%と女性より多くなっています。

【年齢別】：大きな差異はみられません。

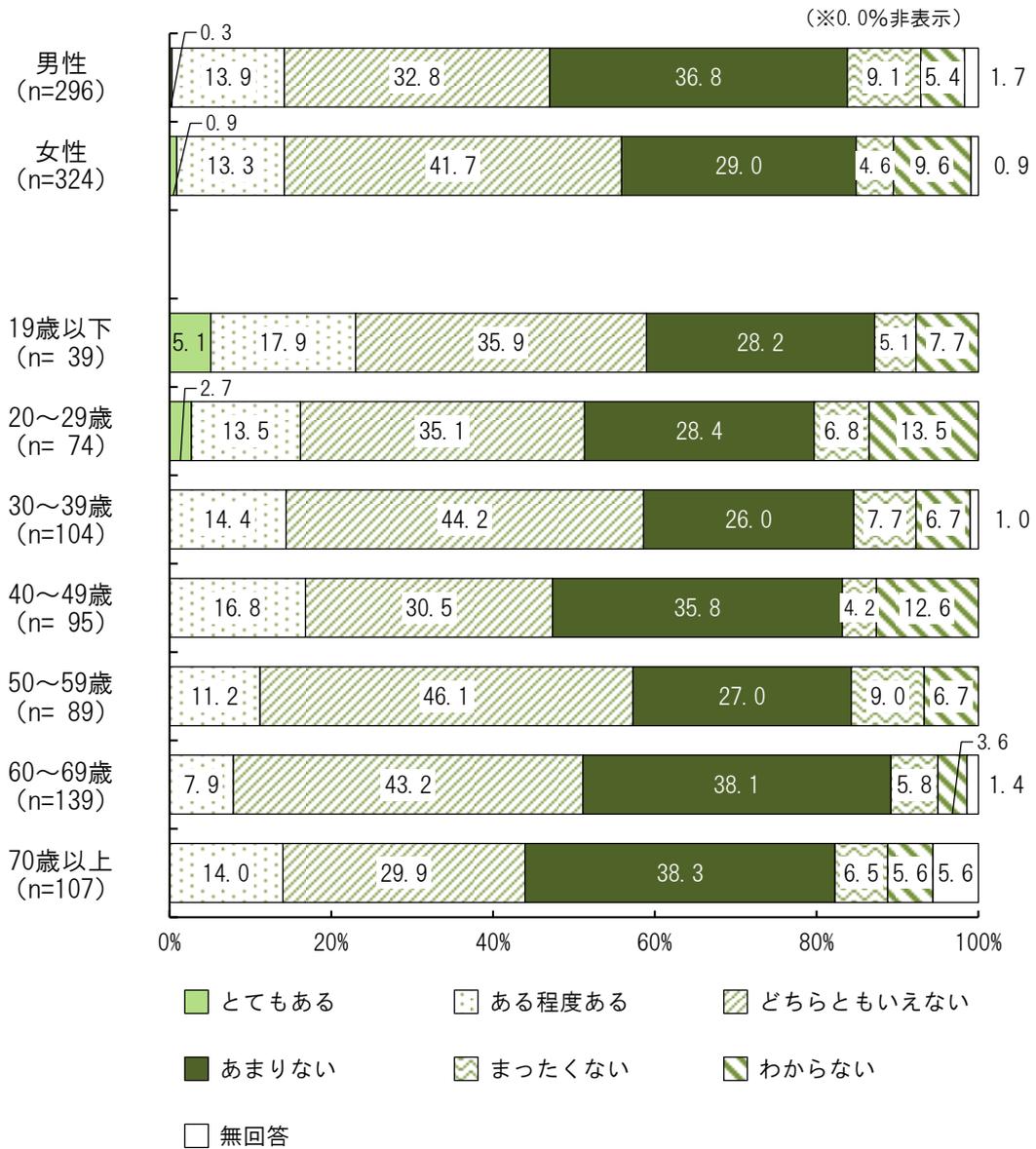
《⑤観光業》



【性別】：男性は「まったくない」が16.9%と女性より多くなっています。女性は「どちらともいえない」が29.6%と男性より多くなっています。また、『ない』は男性が53.7%と女性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「どちらともいえない」が12.8%と他の年代に比べて少なくなっています。30～39歳は「あまりない」が26.9%と少なくなっています。また、60～69歳は「どちらともいえない」が33.1%と多くなっています。

《⑥牧之原市の産業全体》



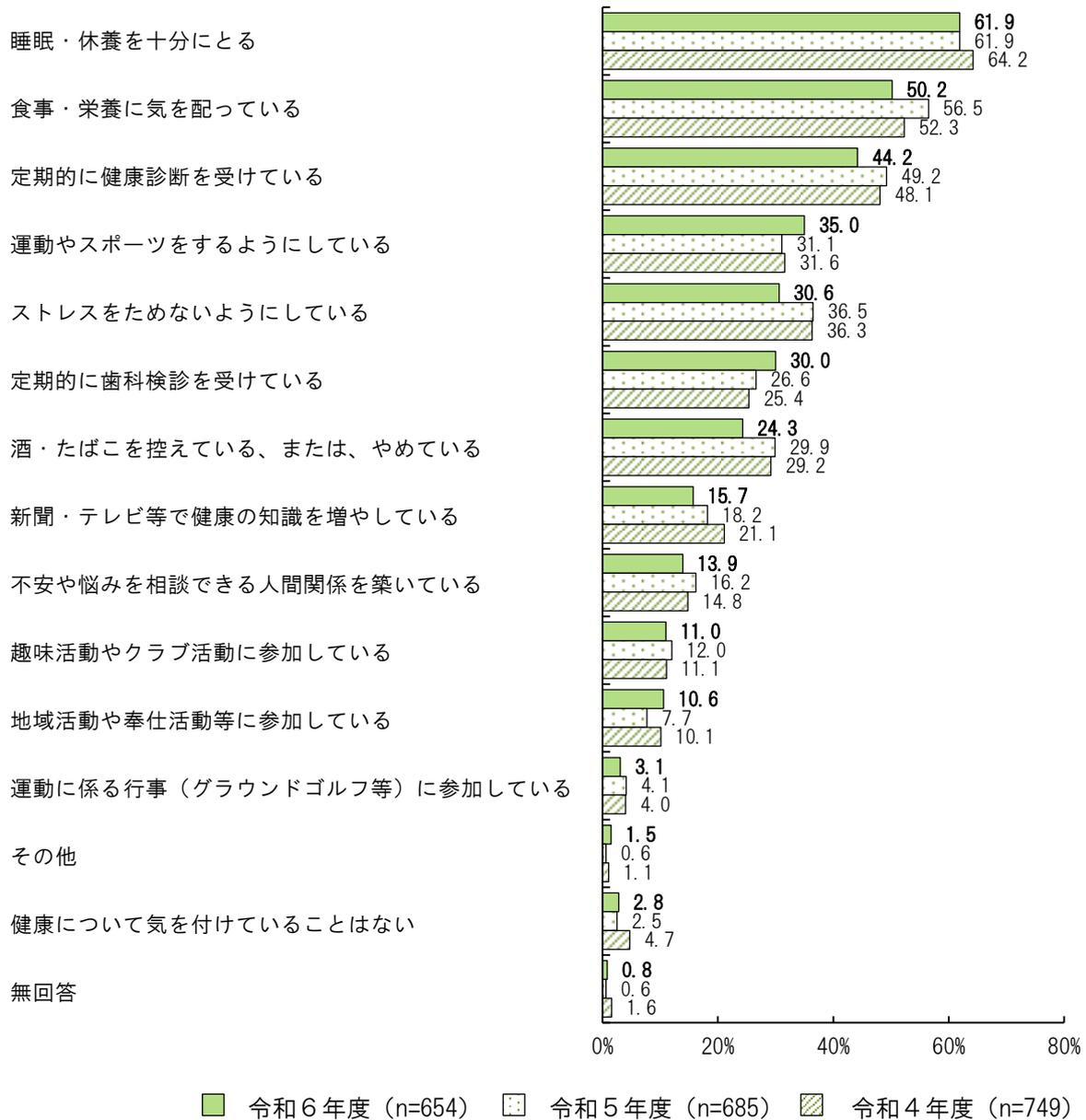
【性別】：男性は「あまりない」が36.8%と女性より多くなっています。女性は「どちらともいえない」が41.7%と男性より多くなっています。また、『ない』は男性が45.9%と女性より多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は『ある』が23.1%と他の年代に比べて多くなっています。

⑧健康寿命について

(16) 健康について気を付けていること

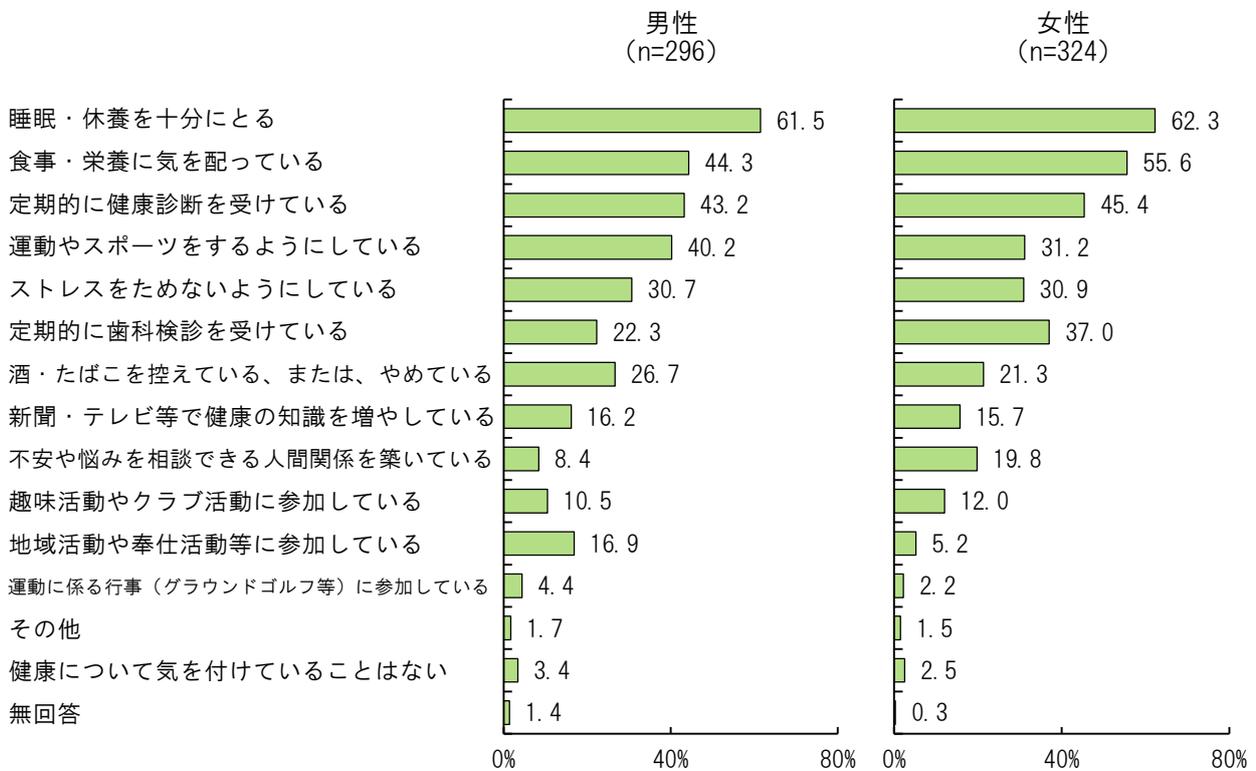
問16 あなたが健康について気を付けていることは何ですか？（○はいくつでも）



健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が61.9%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が50.2%、「定期的に健康診断を受けている」が44.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「食事・栄養に気を配っている」「定期的に健康診断を受けている」「ストレスをためないようにしている」「酒・たばこを控えている、または、やめている」が5.0ポイント以上減少しています。

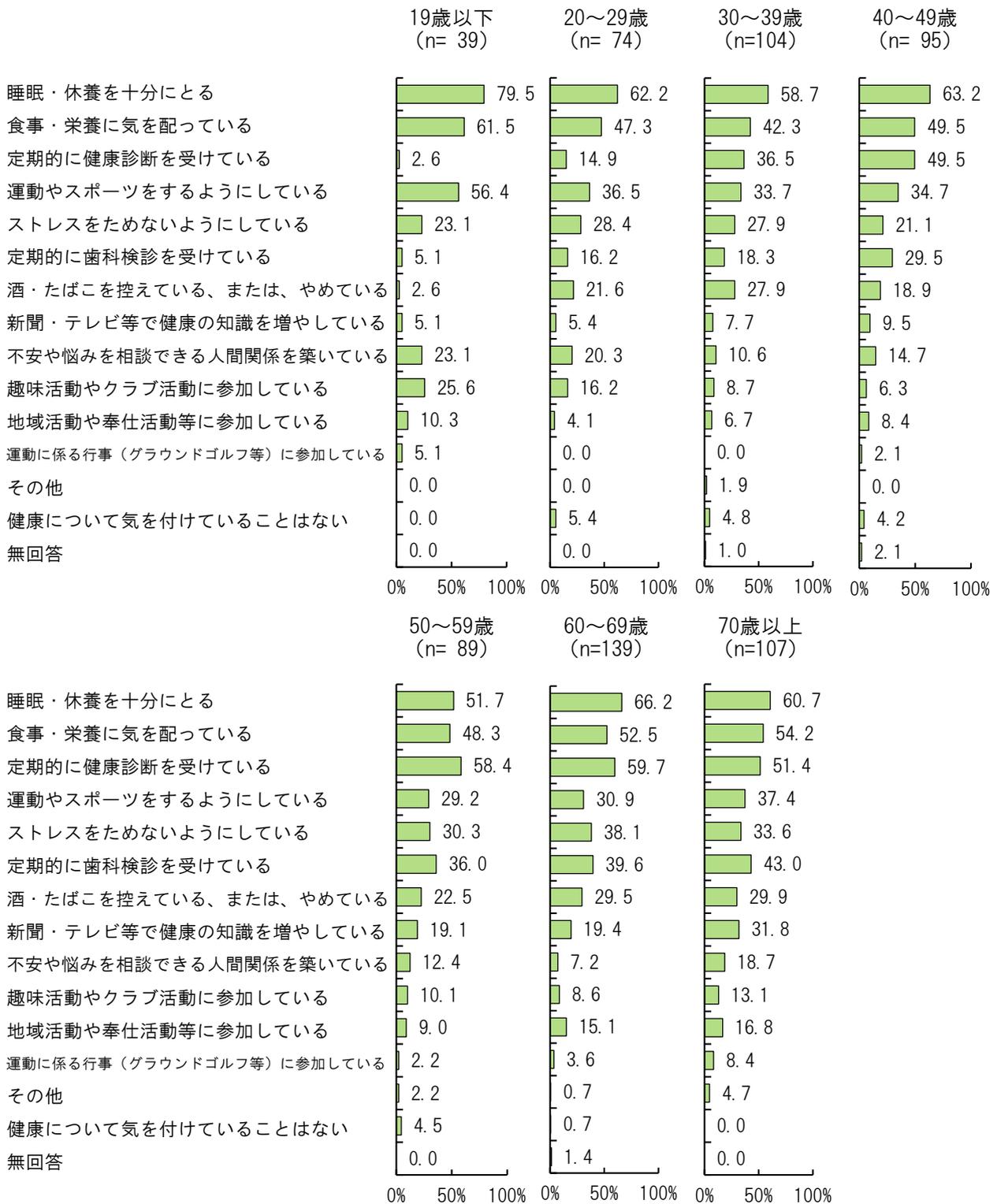
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「運動やスポーツをするようにしている」「酒・たばこを控えている、または、やめている」「地域活動や奉仕活動等に参加している」が女性より多くなっています。女性は「食事・栄養に気を配っている」「定期的に歯科検診を受けている」「不安や悩みを相談できる人間関係を築いている」が男性より多くなっています。

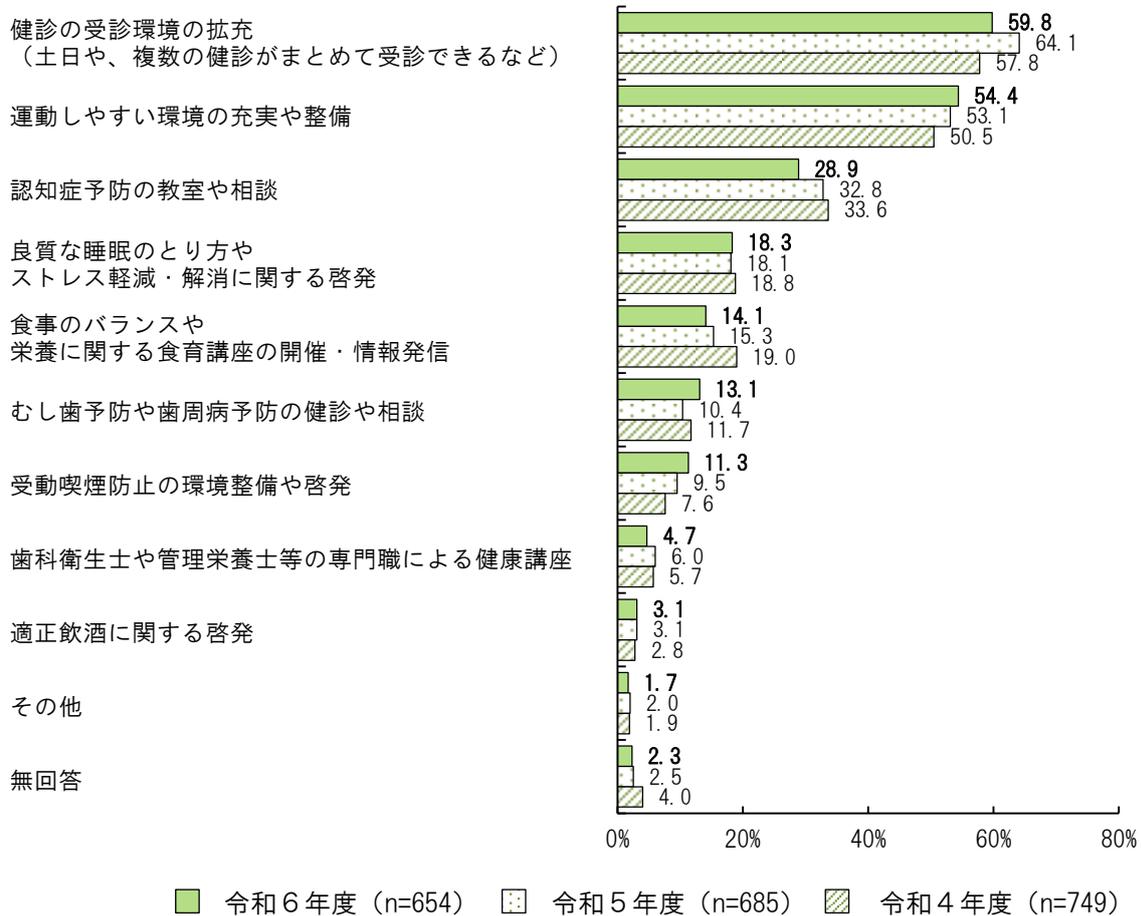
【年齢別】：19歳以下は「睡眠・休養を十分にとる」「食事・栄養に気を配っている」「運動やスポーツをするようにしている」「趣味活動やクラブ活動に参加している」が他の年代に比べて多く、「定期的に健康診断を受けている」「定期的に歯科検診を受けている」「酒・たばこを控えている、または、やめている」が少なくなっています。30～39歳は「食事・栄養に気を配っている」が42.3%と少なくなっています。また、50～59歳は「睡眠・休養を十分にとる」が51.7%と少なくなっています。さらに、70歳以上は「新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている」が31.8%と多くなっています。

クロス集計（年齢別）



(17) 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組

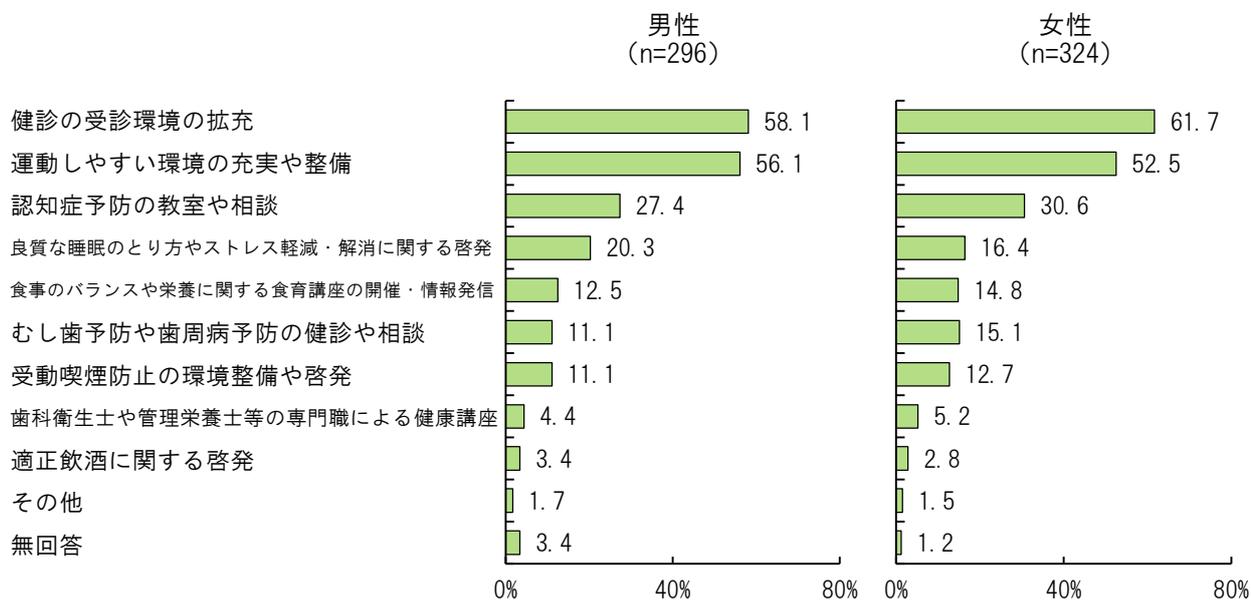
問17 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？（○は3つ以内）



健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が 59.8%と最も多く、次いで「運動しやすい環境の充実や整備」が 54.4%、「認知症予防の教室や相談」が 28.9%などとなっています。

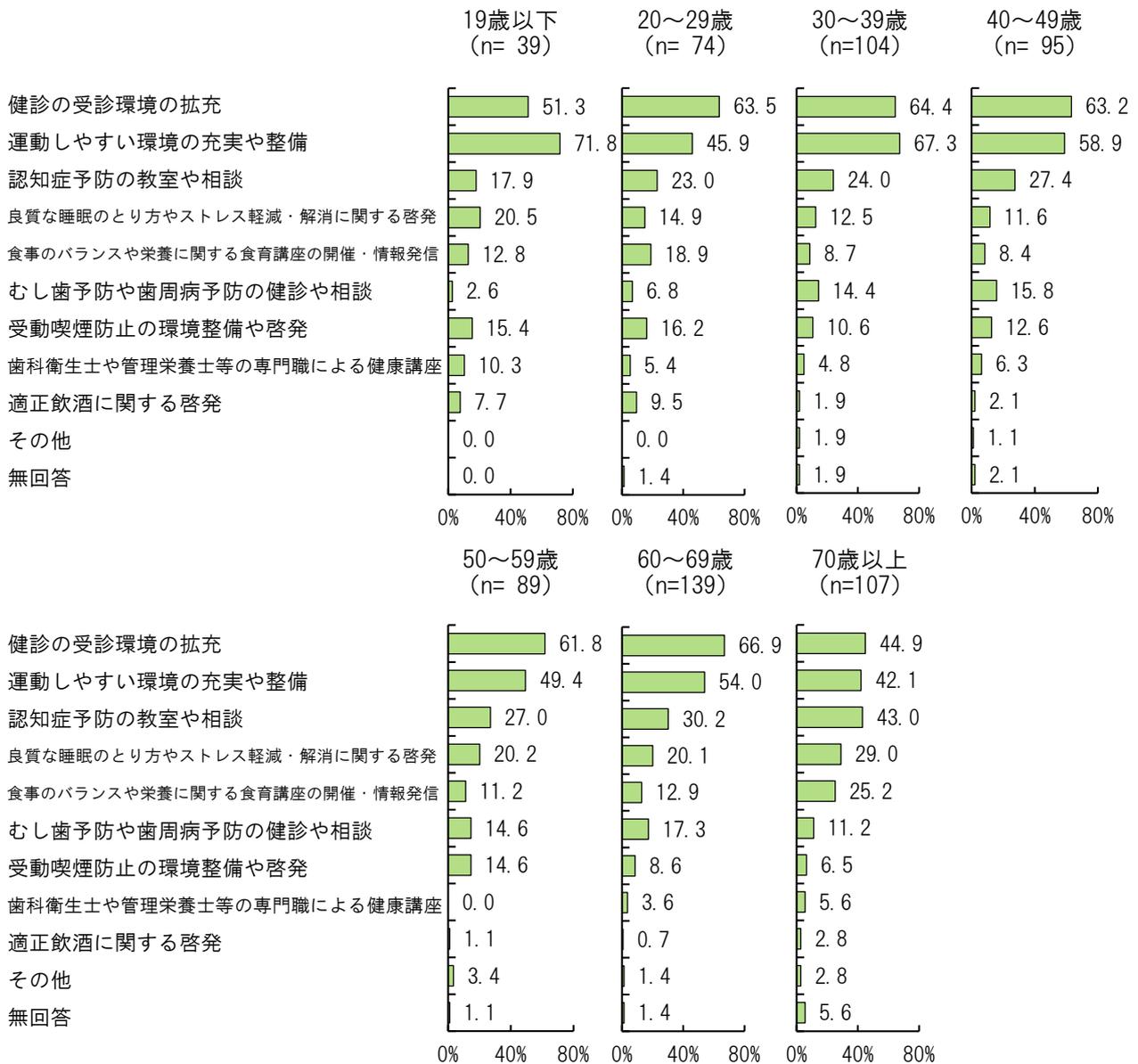
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：大きな差異はみられません。

クロス集計（年齢別）

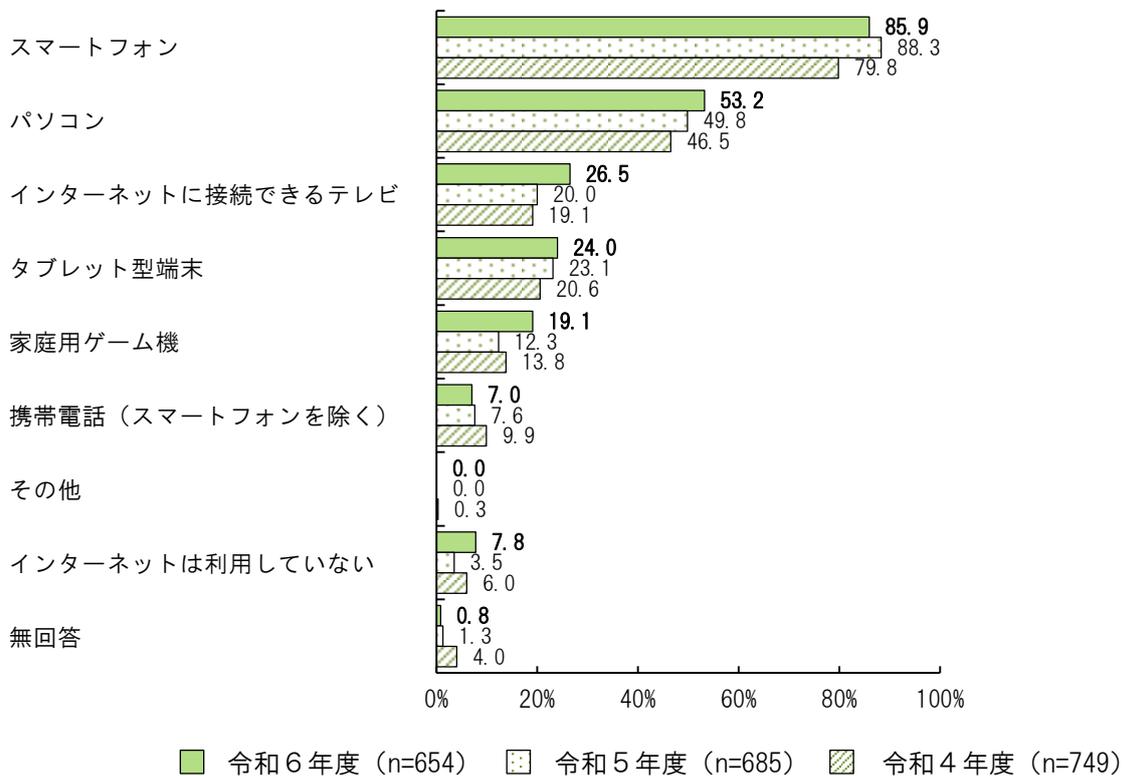


【年齢別】：19歳以下は「認知症予防の教室や相談」が17.9%と他の年代に比べて少なくなっています。70歳以上は「認知症予防の教室や相談」「良質な睡眠のとり方やストレス軽減・解消に関する啓発」「食事のバランスや栄養に関する食育講座の開催・情報発信」が多く、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が44.9%と少なくなっています。

◎行政サービスのデジタル化について

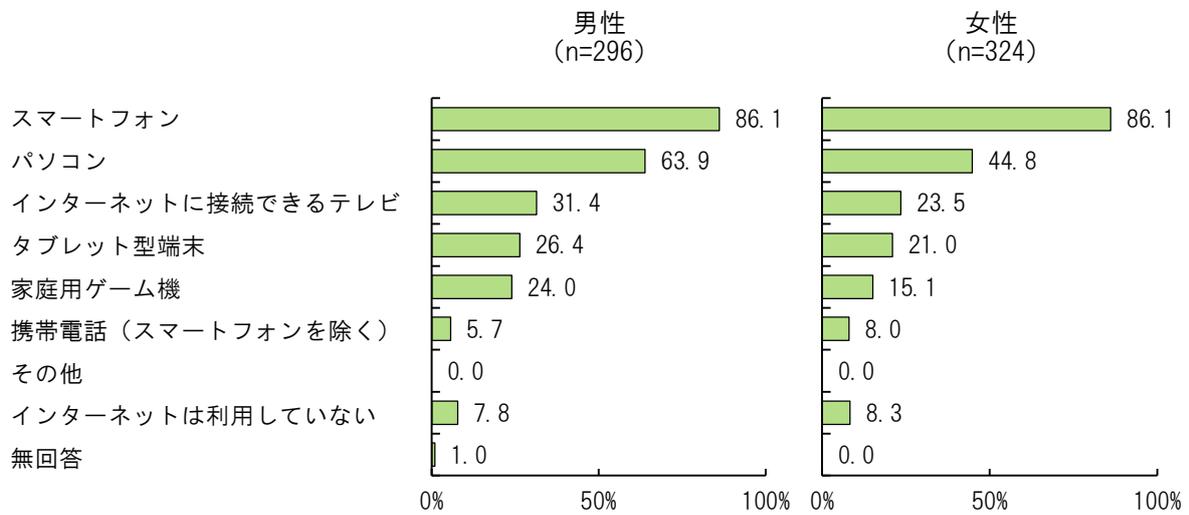
(18) 個人でインターネットを利用している端末

問18 あなたは現在、個人でインターネットを利用していますか？利用している場合は、ご利用端末にすべて○をつけてください。(○はいくつでも)



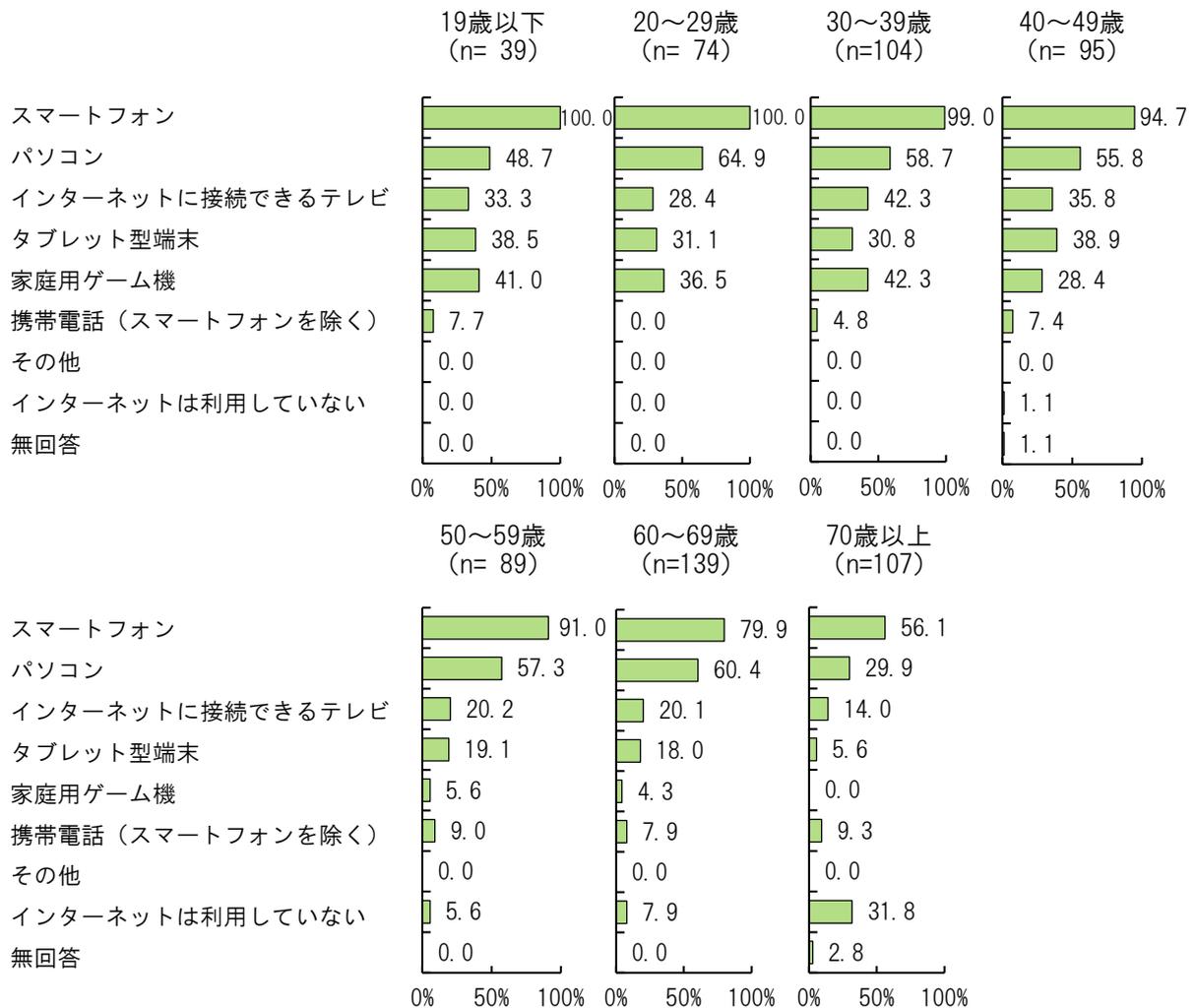
個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が85.9%と最も多く、次いで「パソコン」が53.2%、「インターネットに接続できるテレビ」が26.5%などとなっています。
 昨年度と比較すると、「インターネットに接続できるテレビ」「家庭用ゲーム機」が6.0ポイント以上増加しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「パソコン」「インターネットに接続できるテレビ」「タブレット型端末」「家庭用ゲーム機」が女性より多くなっています。

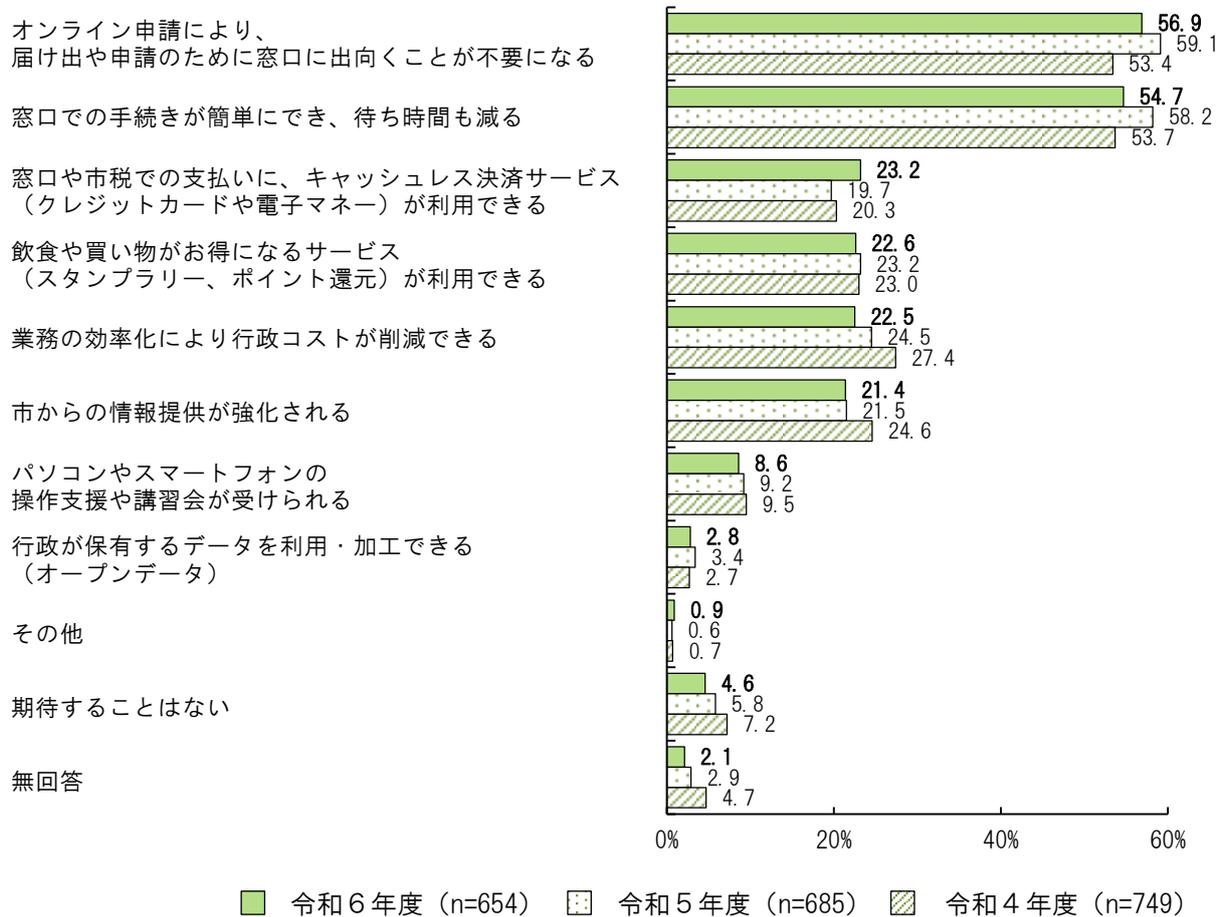
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：30~39歳は「インターネットに接続できるテレビ」が42.3%と他の年代に比べて多くなっています。70歳以上は「インターネットは利用していない」が31.8%と多く、「スマートフォン」「パソコン」「インターネットに接続できるテレビ」「タブレット型端末」が少なくなっています。

(19) デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

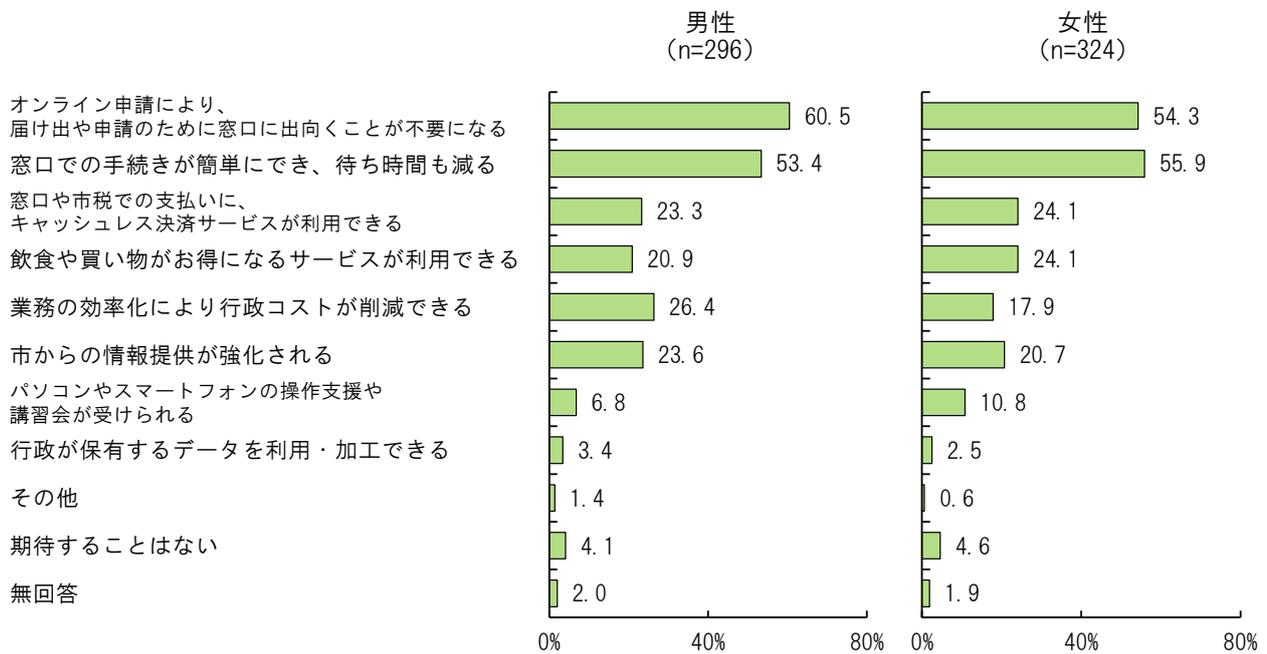
問19 デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？
 (○は3つ以内)



デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が56.9%と最も多く、次いで「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が54.7%、「窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる」が23.2%などとなっています。

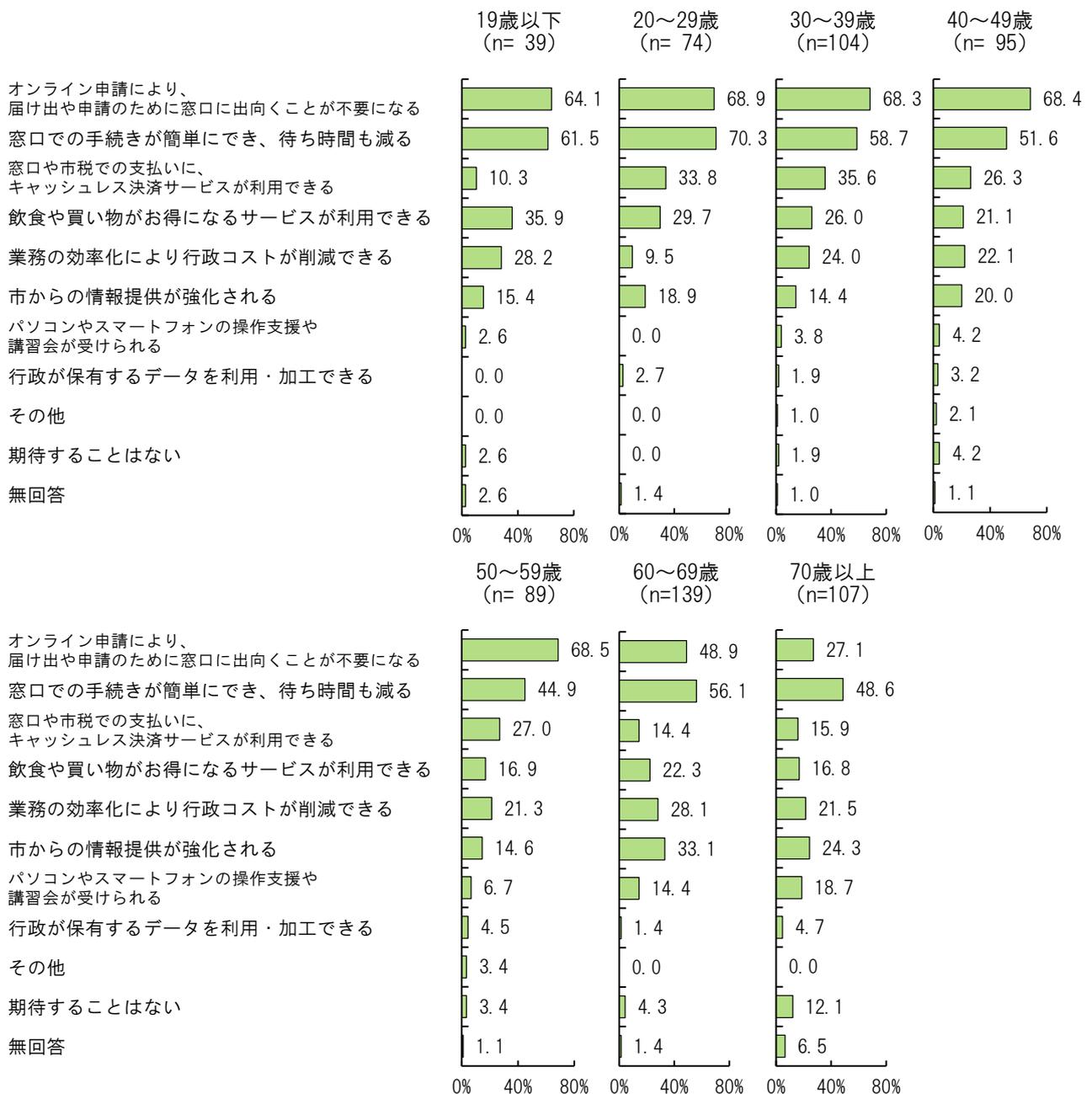
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」「業務の効率化により行政コストが削減できる」が女性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

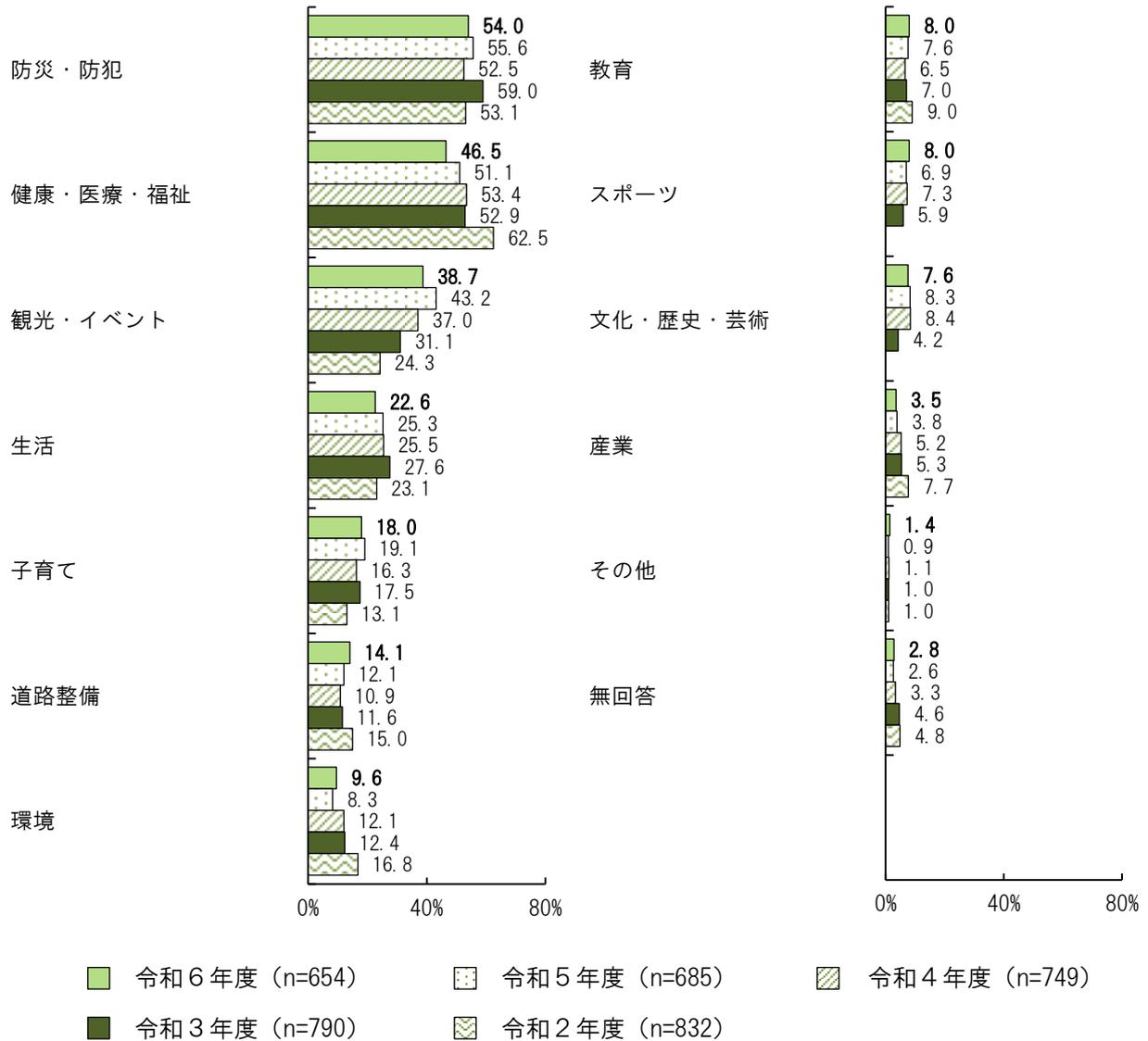


【年齢別】：19歳以下は「飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる」が35.9%と他の年代に比べて多くなっています。20~29歳は「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が70.3%と多く、「業務の効率化により行政コストが削減できる」が9.5%と少なくなっています。また、60~69歳は「市からの情報提供が強化される」が33.1%と多くなっています。さらに、70歳以上は「期待することはない」が12.1%と多く、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が27.1%と少なくなっています。

⑩市からの情報発信について

(20) 市から得たい情報

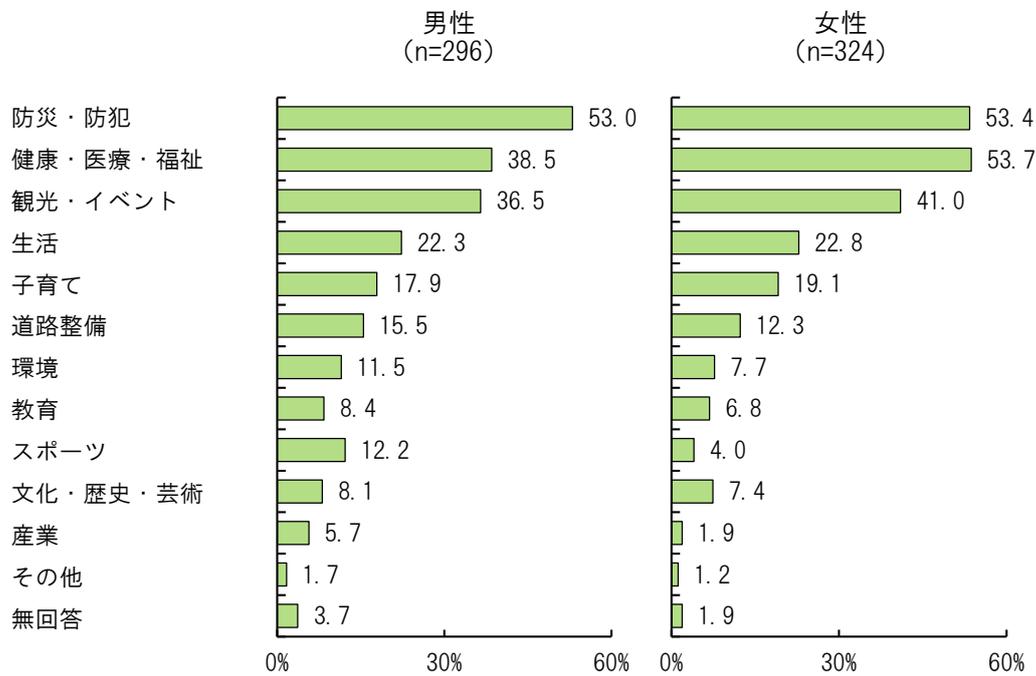
問20 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？（○は3つ以内）



※「スポーツ」「文化・歴史・芸術」は、令和3年度は「スポーツ」「文化・歴史」、令和2年度は「スポーツ・文化・歴史」という選択肢でした。

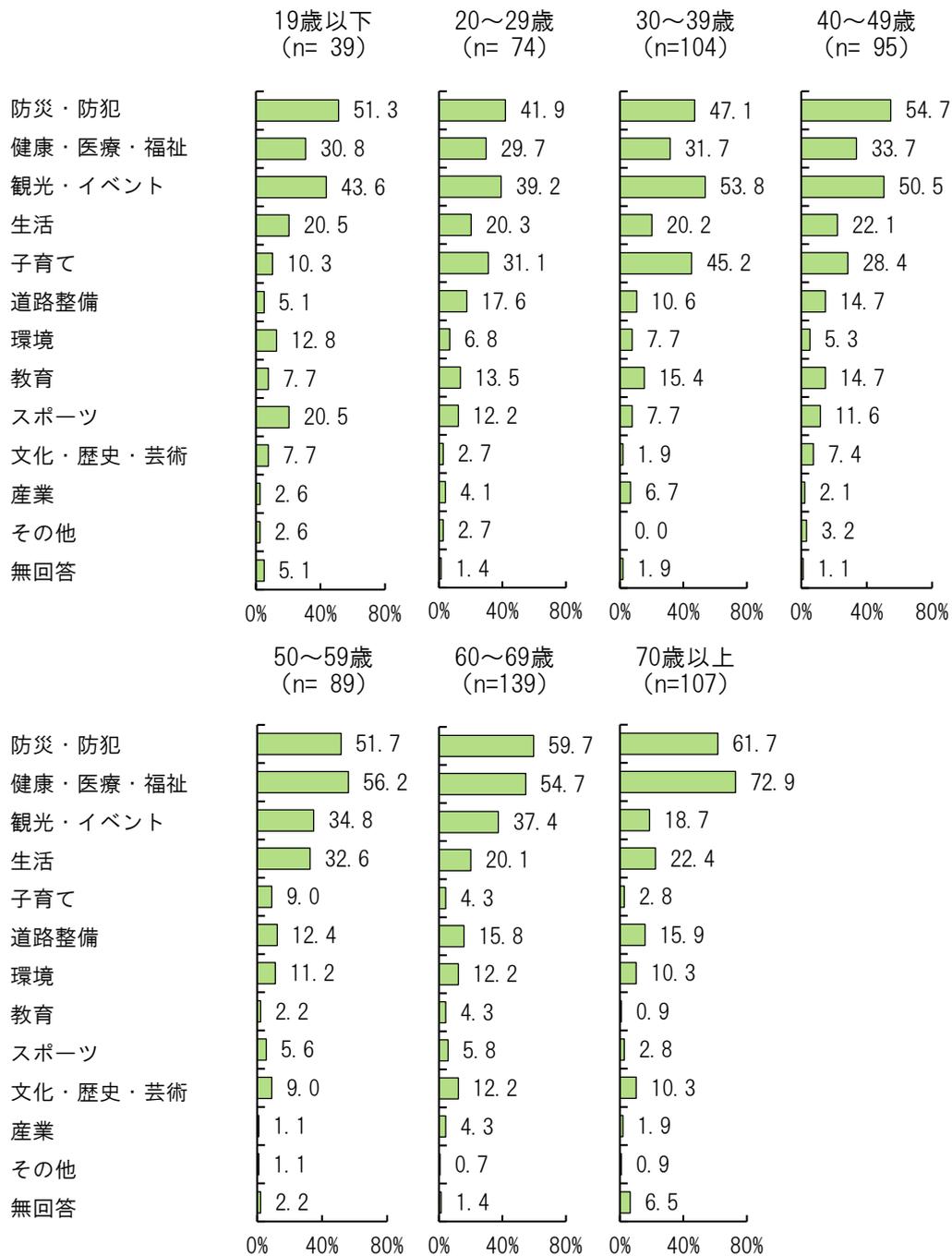
市から得たい情報は、「防災・防犯」が54.0%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が46.5%、「観光・イベント」が38.7%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「スポーツ」が12.2%と女性より多くなっています。女性は「健康・医療・福祉」が53.7%と男性より多くなっています。

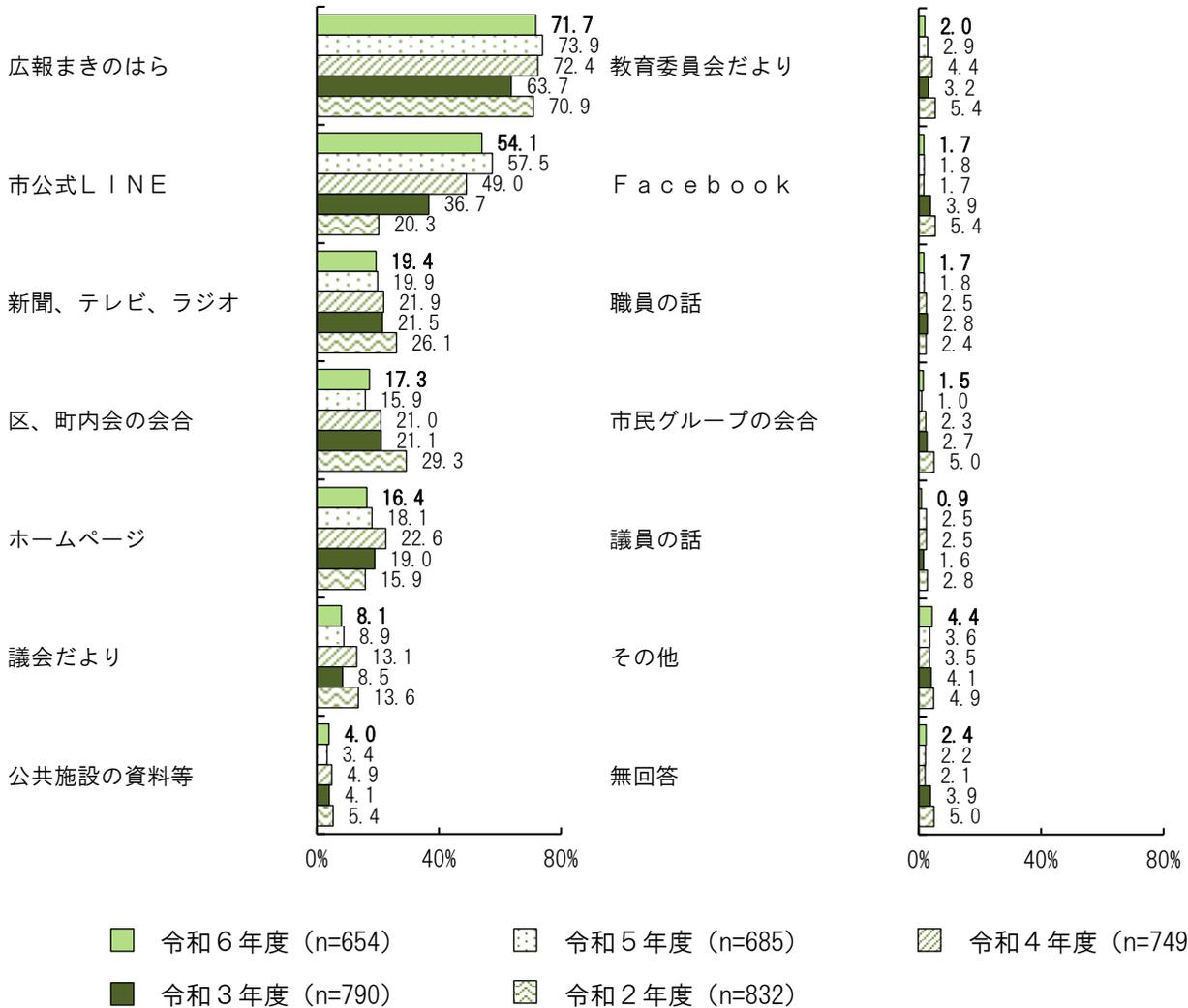
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「スポーツ」が20.5%と他の年代に比べて多く、「道路整備」が5.1%と少なくなっています。20～29歳は「防災・防犯」が41.9%と少なくなっています。また、30～39歳は「子育て」が45.2%と多くなっています。50～59歳は「生活」が32.6%と多くなっています。さらに、70歳以上は「健康・医療・福祉」が72.9%と多く、「観光・イベント」が18.7%と少なくなっています。

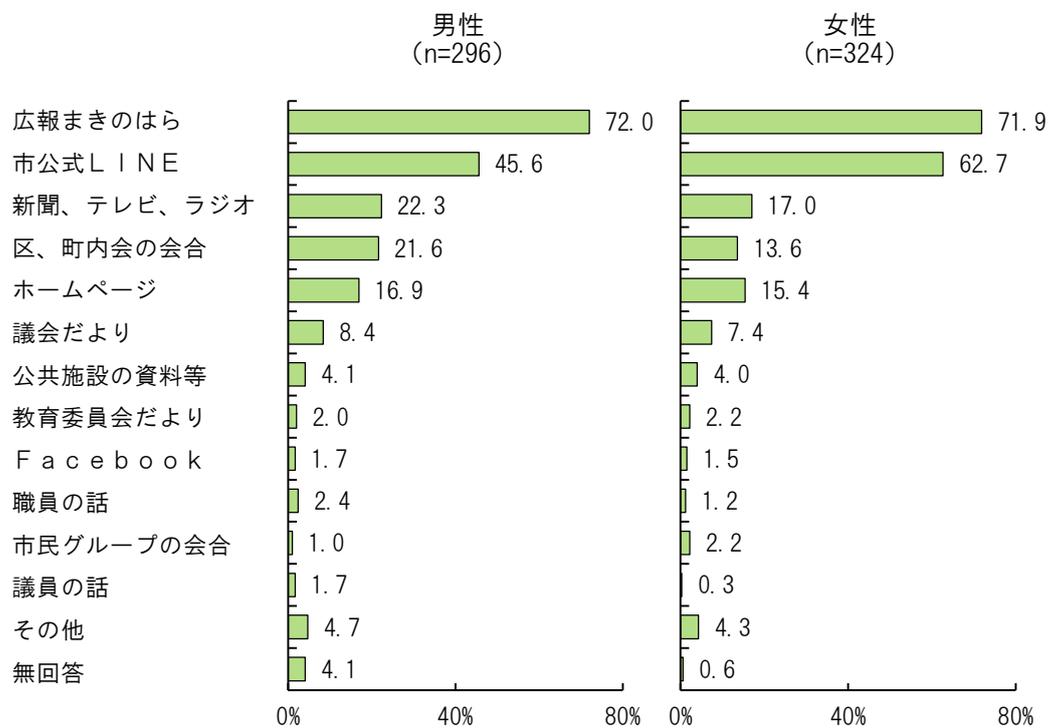
(21) 市からの情報を得る媒体

問21 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？（〇はいくつでも）



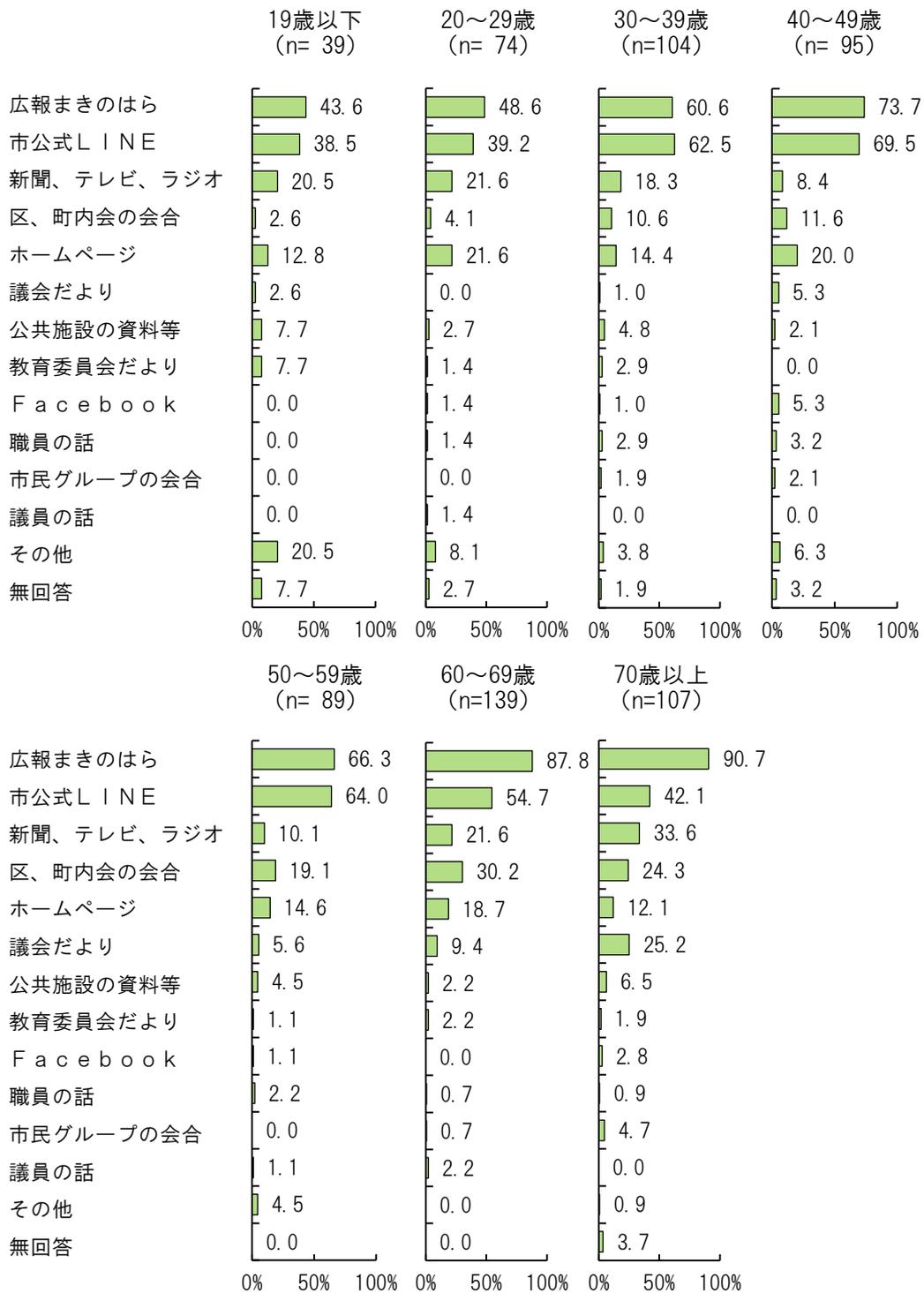
市からの情報を得る媒体は、「広報まきのほら」が71.7%と最も多く、次いで「市公式LINE」が54.1%、「新聞、テレビ、ラジオ」が19.4%などとなっています。
 昨年度と比較すると、大きな変化はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「新聞、テレビ、ラジオ」「区、町内会の会合」が女性より多くなっています。女性は「市公式LINE」が62.7%と男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「広報まきのはら」が43.6%と他の年代に比べて少なくなっています。40～49歳は「市公式LINE」が69.5%と多くなっています。また、60～69歳は「区、町内会の会合」が30.2%と多くなっています。さらに、70歳以上は「新聞、テレビ、ラジオ」「議会だより」が多くなっています。

⑪牧之原市の行政サービスについて

(22) 満足度・重要度について

問22 あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

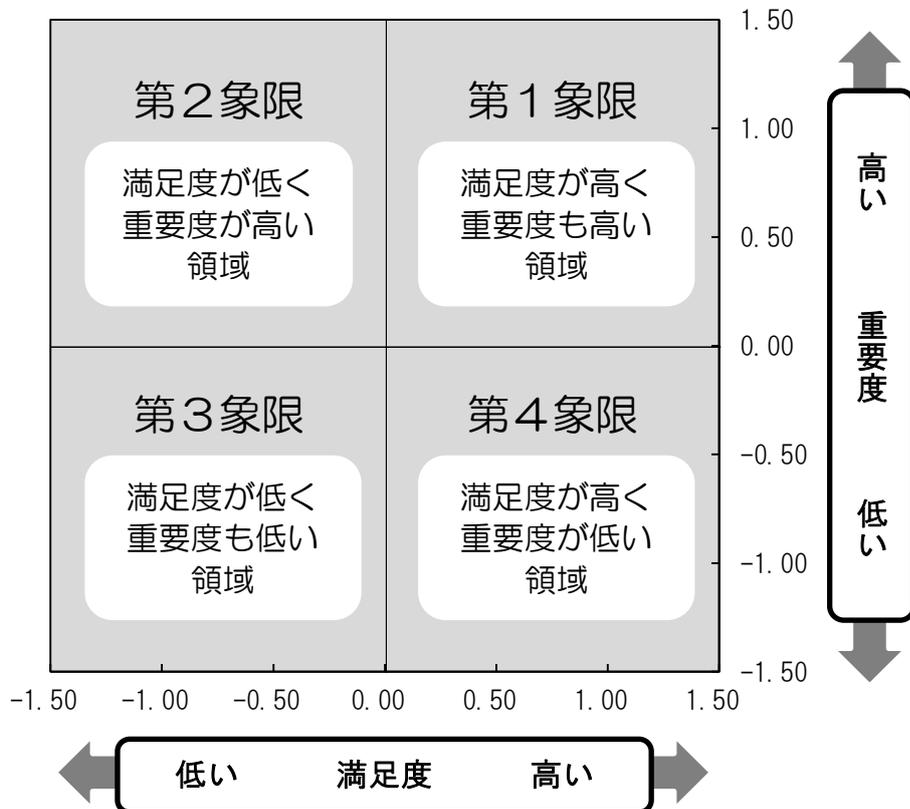
※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族・知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○をつけてください。

《評価点の算出方法》

「満足」、「高い」と回答した人を+2点、「やや満足」、「やや高い」と回答した人を+1点、「やや不満」、「やや低い」と回答した人を-1点、「不満」、「低い」と回答した人を-2点として算出した値を、回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割って算出しています。評価点は、プラスの大きい項目は評価が高く、マイナスの大きいものは評価が低いことを表しています。

また、各取組について満足度・重要度の評価点を散布図にて表した場合、下記のように4つの象限に評価をみることができます。

満足度	重要度	点数
「満足」	「高い」	+2点
「やや満足」	「やや高い」	+1点
「やや不満」	「やや低い」	-1点
「不満」	「低い」	-2点
「無回答」	「無回答」	点数加算なし・回答者数にも含まない

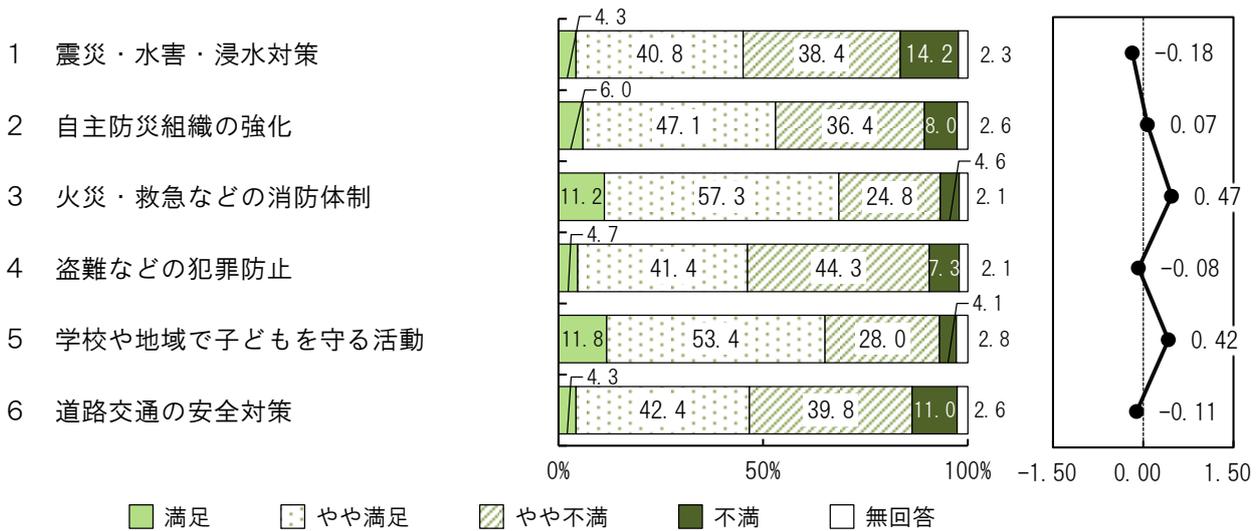


(23) 満足度・重要度【防災】

【防災】

《満足度》

令和6年度 (n=654)



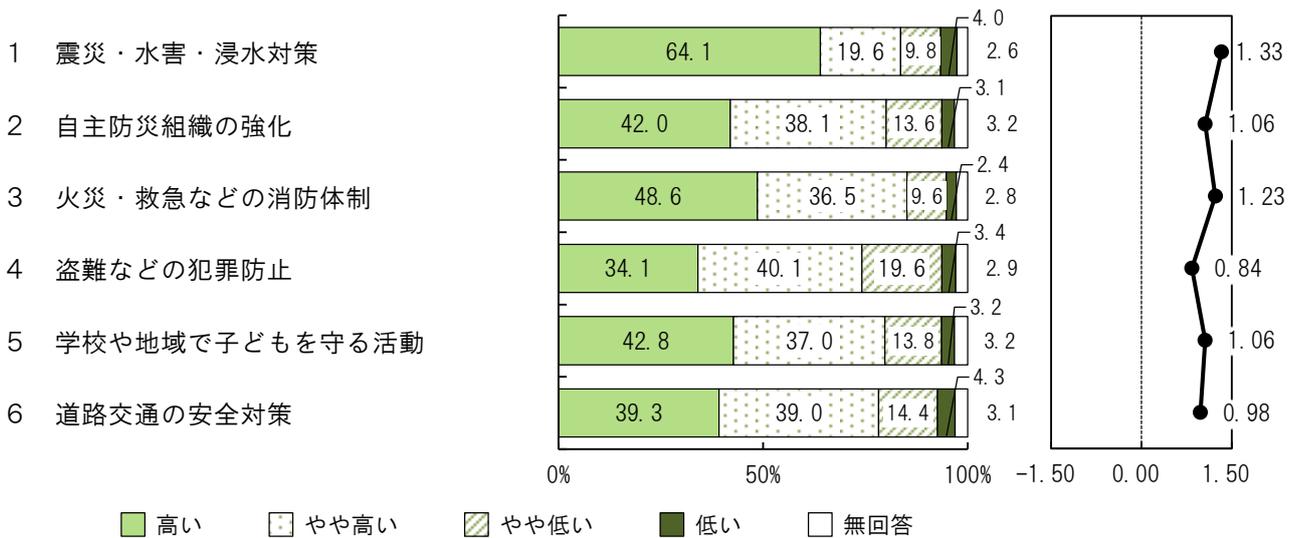
満足度が最も高い項目は、《3 火災・救急などの消防体制》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が68.5%、評価点が0.47点となっています。次に満足度が高い項目は、《5 学校や地域で子どもを守る活動》（0.42点）、《2 自主防災組織の強化》（0.07点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《1 震災・水害・浸水対策》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が52.6%、評価点が-0.18点となっています。次に満足度が低い項目は、《6 道路交通の安全対策》（-0.11点）、《4 盗難などの犯罪防止》（-0.08点）などとなっています。

【防災】

《重要度》

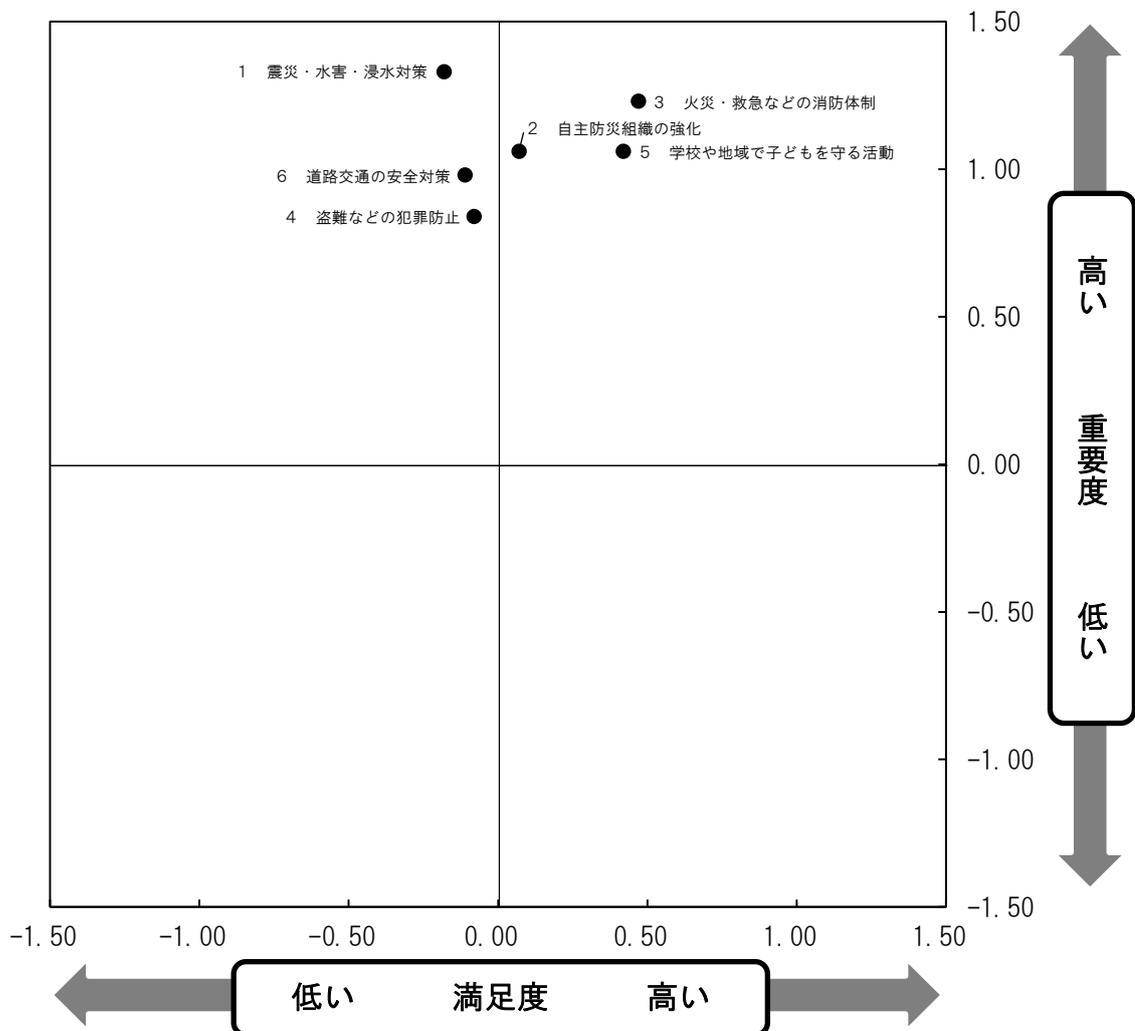
令和6年度 (n=654)



重要度が最も高い項目は、《1 震災・水害・浸水対策》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が83.6%、評価点が1.33点となっています。次に重要度が高い項目は、《3 火災・救急などの消防体制》（1.23点）、《2 自主防災組織の強化》《5 学校や地域で子どもを守る活動》（ともに1.06点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《4 盗難などの犯罪防止》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が22.9%、評価点が0.84点となっています。次に重要度が低い項目は、《6 道路交通の安全対策》（0.98点）、《2 自主防災組織の強化》《5 学校や地域で子どもを守る活動》（ともに1.06点）などとなっています。

【防災】評価項目		満足度	重要度
1	震災・水害・浸水対策	-0.18	1.33
2	自主防災組織の強化	0.07	1.06
3	火災・救急などの消防体制	0.47	1.23
4	盗難などの犯罪防止	-0.08	0.84
5	学校や地域で子どもを守る活動	0.42	1.06
6	道路交通の安全対策	-0.11	0.98



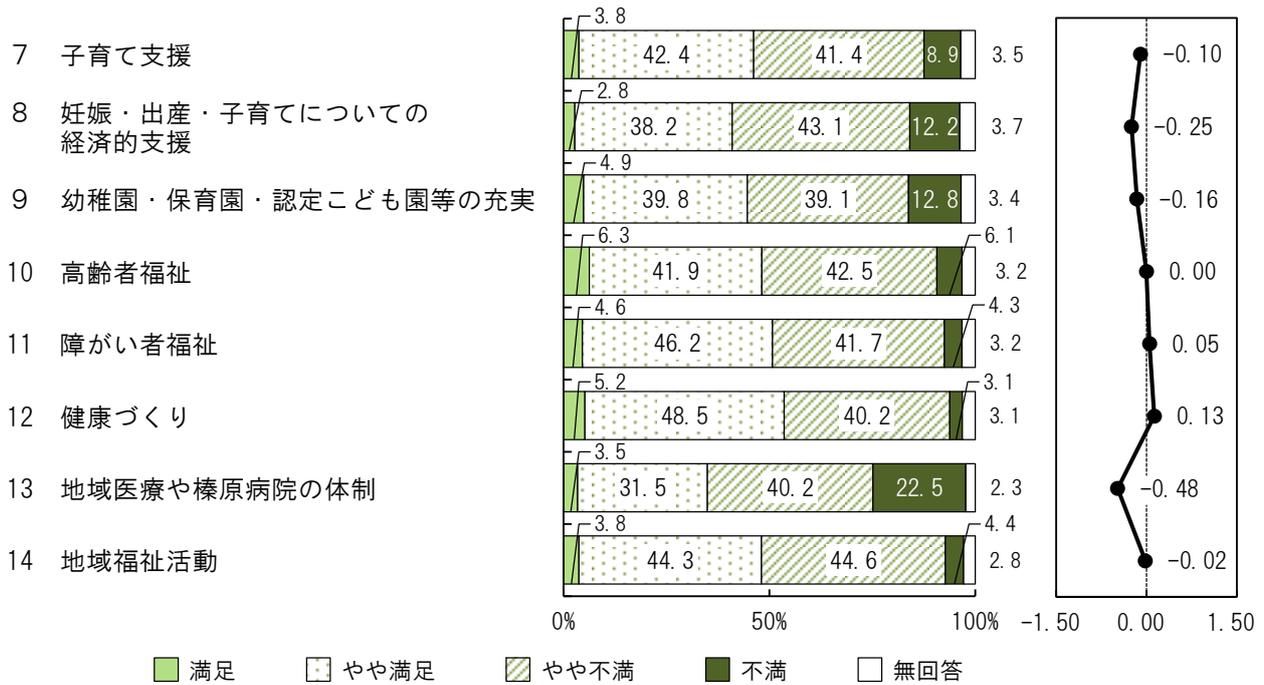
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「3 火災・救急などの消防体制」は満足度が最も高くなっています。一方で、「1 震災・水害・浸水対策」は重要度が最も高いものの、満足度は最も低くなっています。

(24) 満足度・重要度【健康福祉】

【健康福祉】

《満足度》

令和6年度 (n=654)



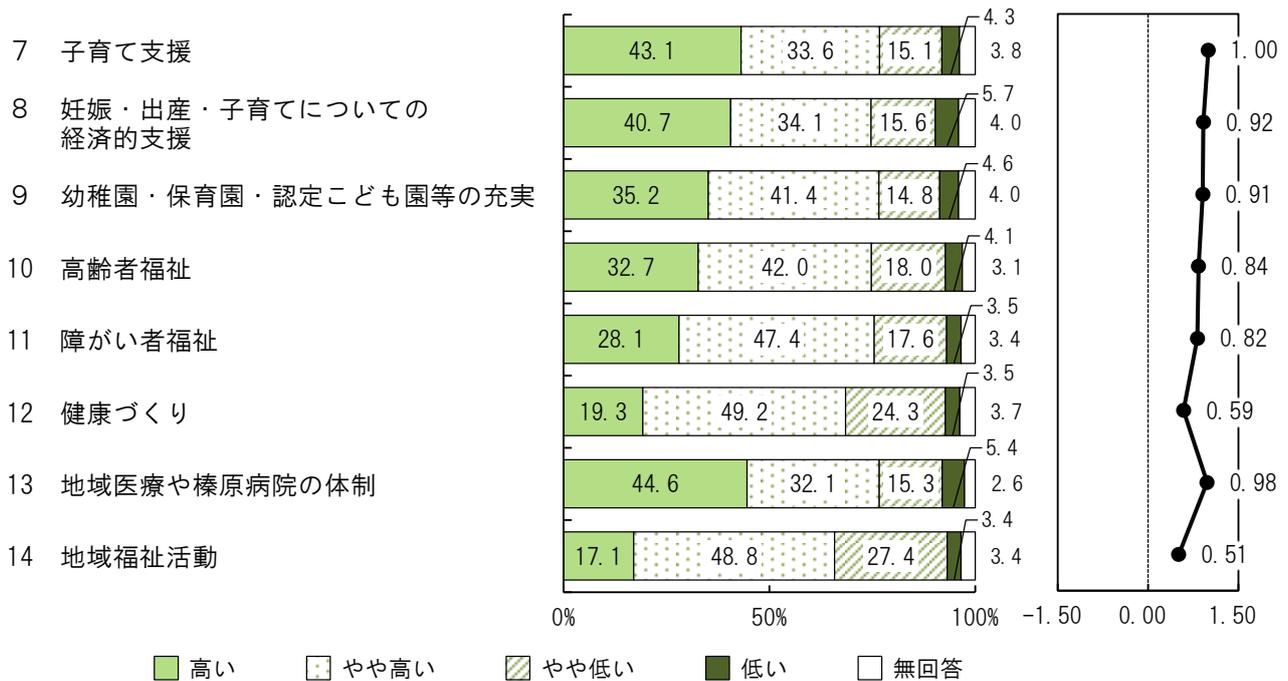
満足度が最も高い項目は、《12 健康づくり》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が53.7%、評価点が0.13点となっています。次に満足度が高い項目は、《11 障がい者福祉》（0.05点）、《10 高齢者福祉》（0.00点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《13 地域医療や榛原病院の体制》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が62.7%、評価点が-0.48点となっています。次に満足度が低い項目は、《8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援》（-0.25点）、《9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実》（-0.16点）などとなっています。

【健康福祉】

《重要度》

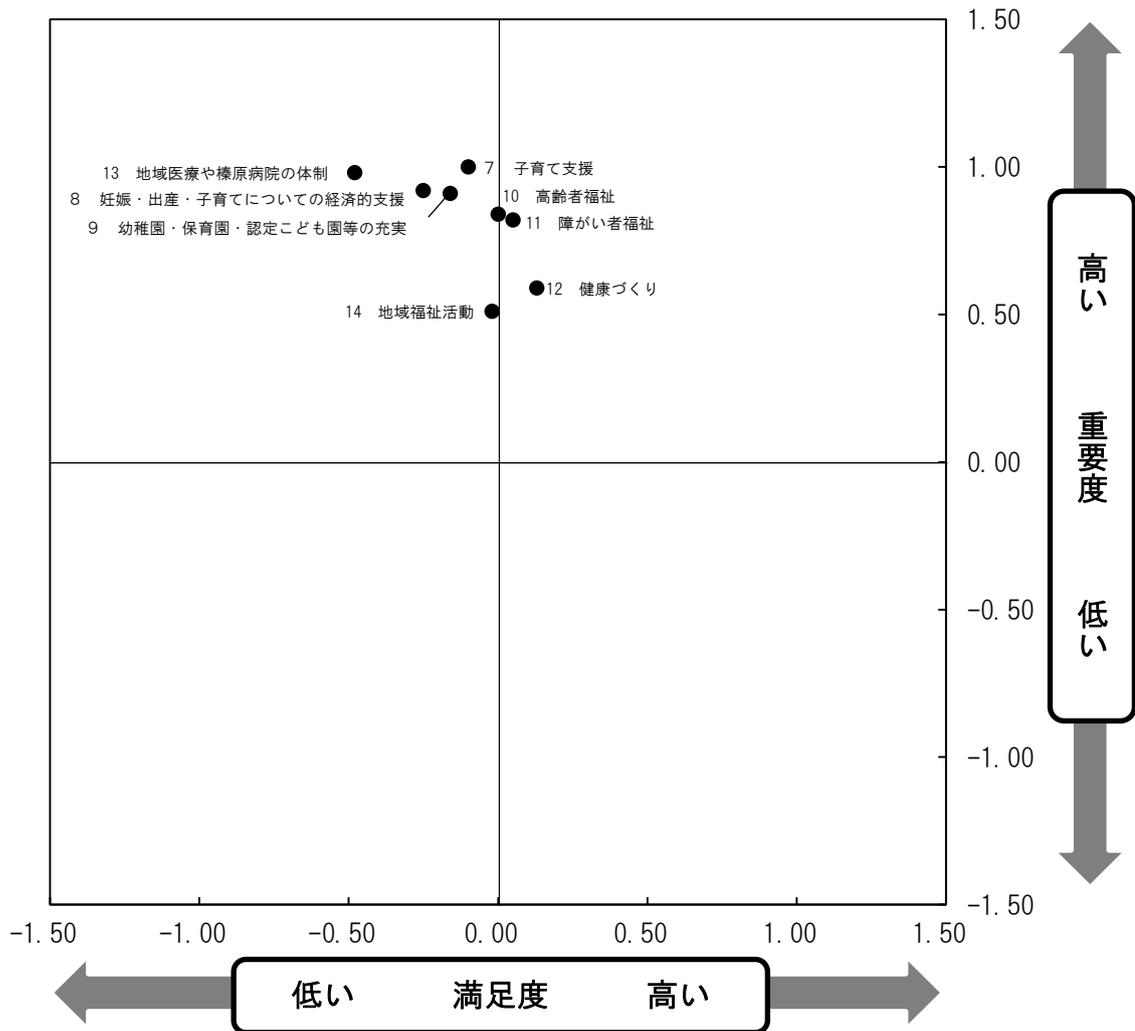
令和6年度 (n=654)



重要度が最も高い項目は、《7 子育て支援》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が76.8%、評価点が1.00点となっています。次に重要度が高い項目は、《13 地域医療や榛原病院の体制》（0.98点）、《8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援》（0.92点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《14 地域福祉活動》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が30.7%、評価点が0.51点となっています。次に重要度が低い項目は、《12 健康づくり》（0.59点）、《11 障がい者福祉》（0.82点）などとなっています。

【健康福祉】評価項目	満足度	重要度
7 子育て支援	-0.10	1.00
8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	-0.25	0.92
9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	-0.16	0.91
10 高齢者福祉	0.00	0.84
11 障がい者福祉	0.05	0.82
12 健康づくり	0.13	0.59
13 地域医療や榛原病院の体制	-0.48	0.98
14 地域福祉活動	-0.02	0.51



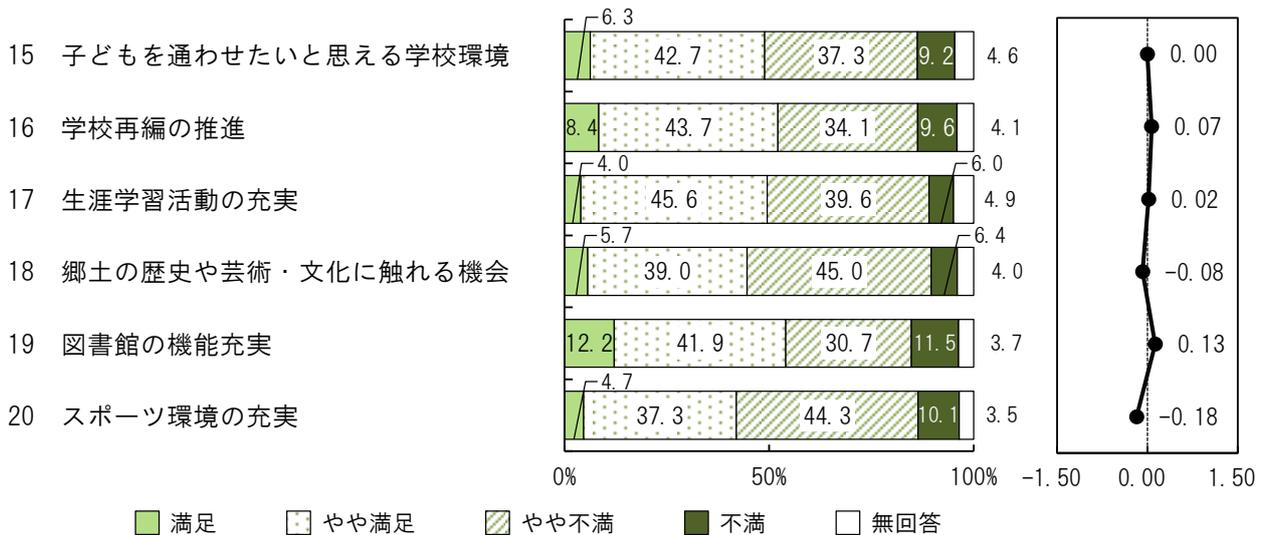
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「12 健康づくり」は満足度が最も高くなっています。一方で、「13 地域医療や榛原病院の体制」は重要度が2番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(25) 満足度・重要度【教育文化】

【教育文化】

《満足度》

令和6年度 (n=654)



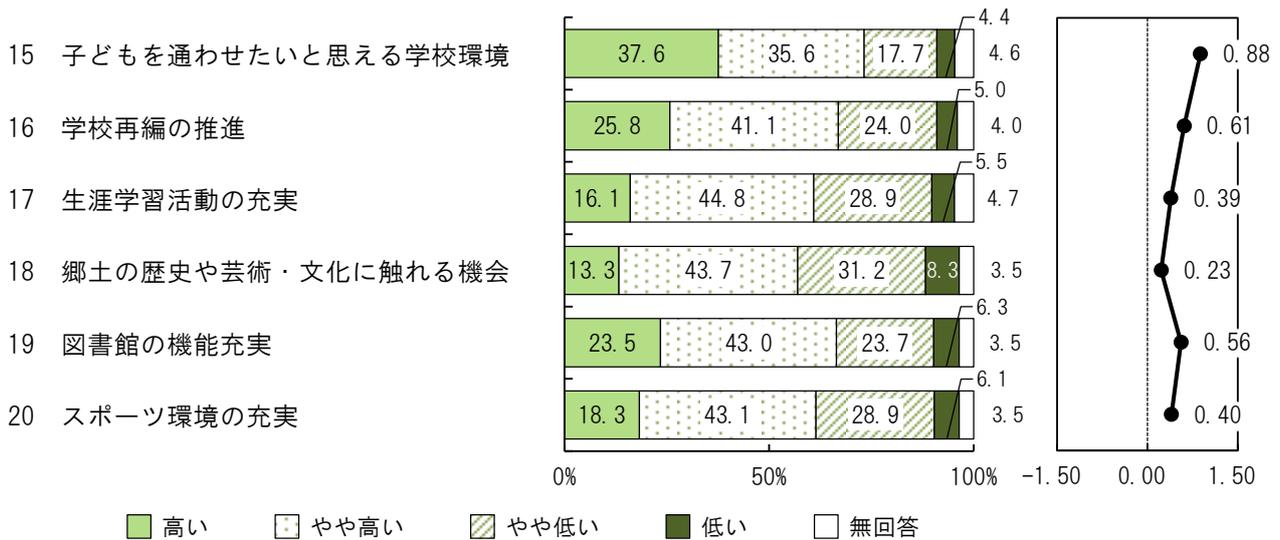
満足度が最も高い項目は、《19 図書館の機能充実》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が54.1%、評価点が0.13点となっています。次に満足度が高い項目は、《16 学校再編の推進》（0.07点）、《17 生涯学習活動の充実》（0.02点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《20 スポーツ環境の充実》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が54.4%、評価点が-0.18点となっています。次に満足度が低い項目は、《18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会》（-0.08点）、《15 子どもを通わせたいと思える学校環境》（0.00点）などとなっています。

【教育文化】

《重要度》

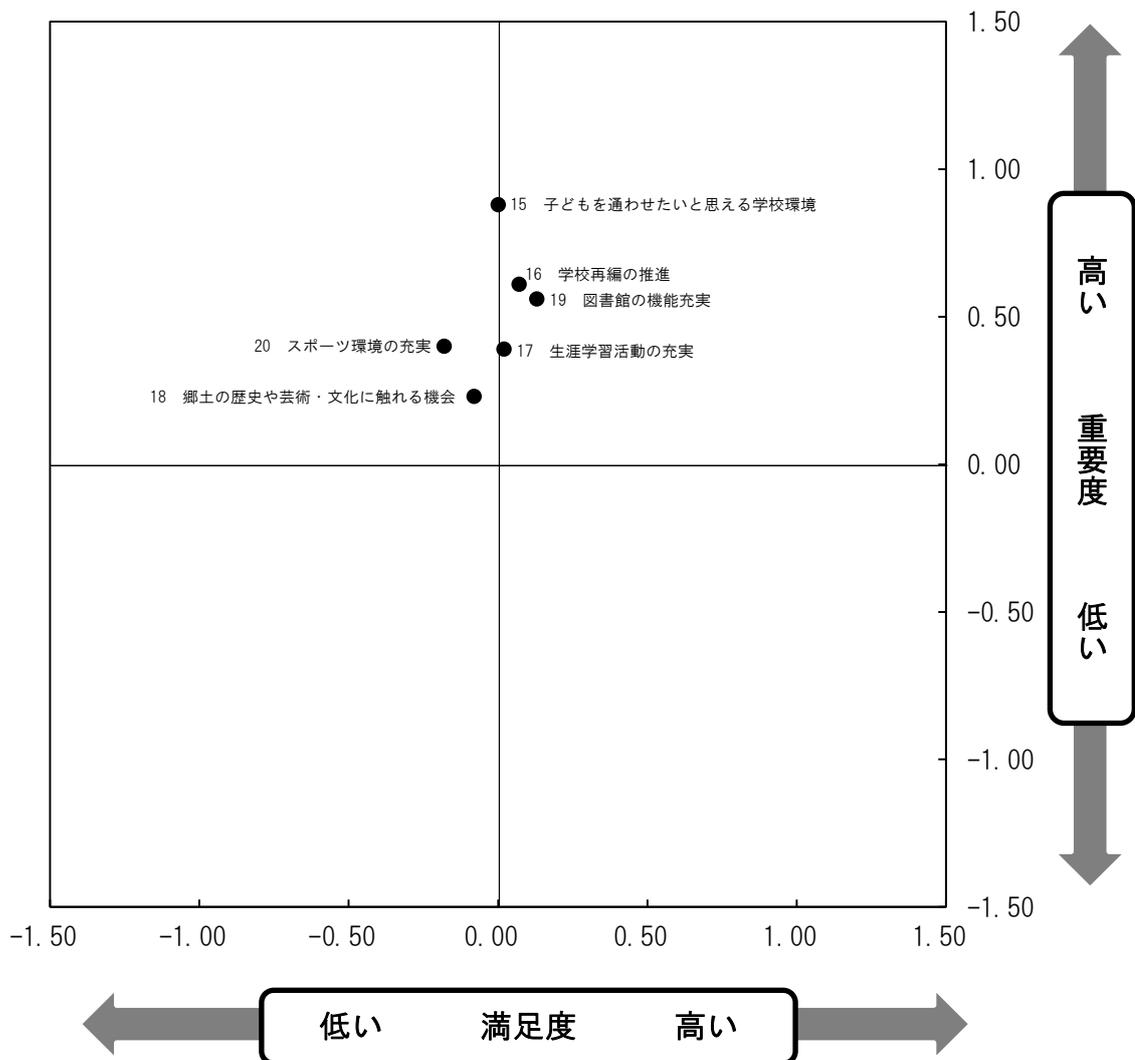
令和6年度 (n=654)



重要度が最も高い項目は、《15 子どもを通わせたいと思える学校環境》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が73.2%、評価点が0.88点となっています。次に重要度が高い項目は、《16 学校再編の推進》（0.61点）、《19 図書館の機能充実》（0.56点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が39.4%、評価点が0.23点となっています。次に重要度が低い項目は、《17 生涯学習活動の充実》（0.39点）、《20 スポーツ環境の充実》（0.40点）などとなっています。

【教育文化】評価項目	満足度	重要度
15 子どもを通わせたいと思える学校環境	0.00	0.88
16 学校再編の推進	0.07	0.61
17 生涯学習活動の充実	0.02	0.39
18 郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会	-0.08	0.23
19 図書館の機能充実	0.13	0.56
20 スポーツ環境の充実	-0.18	0.40



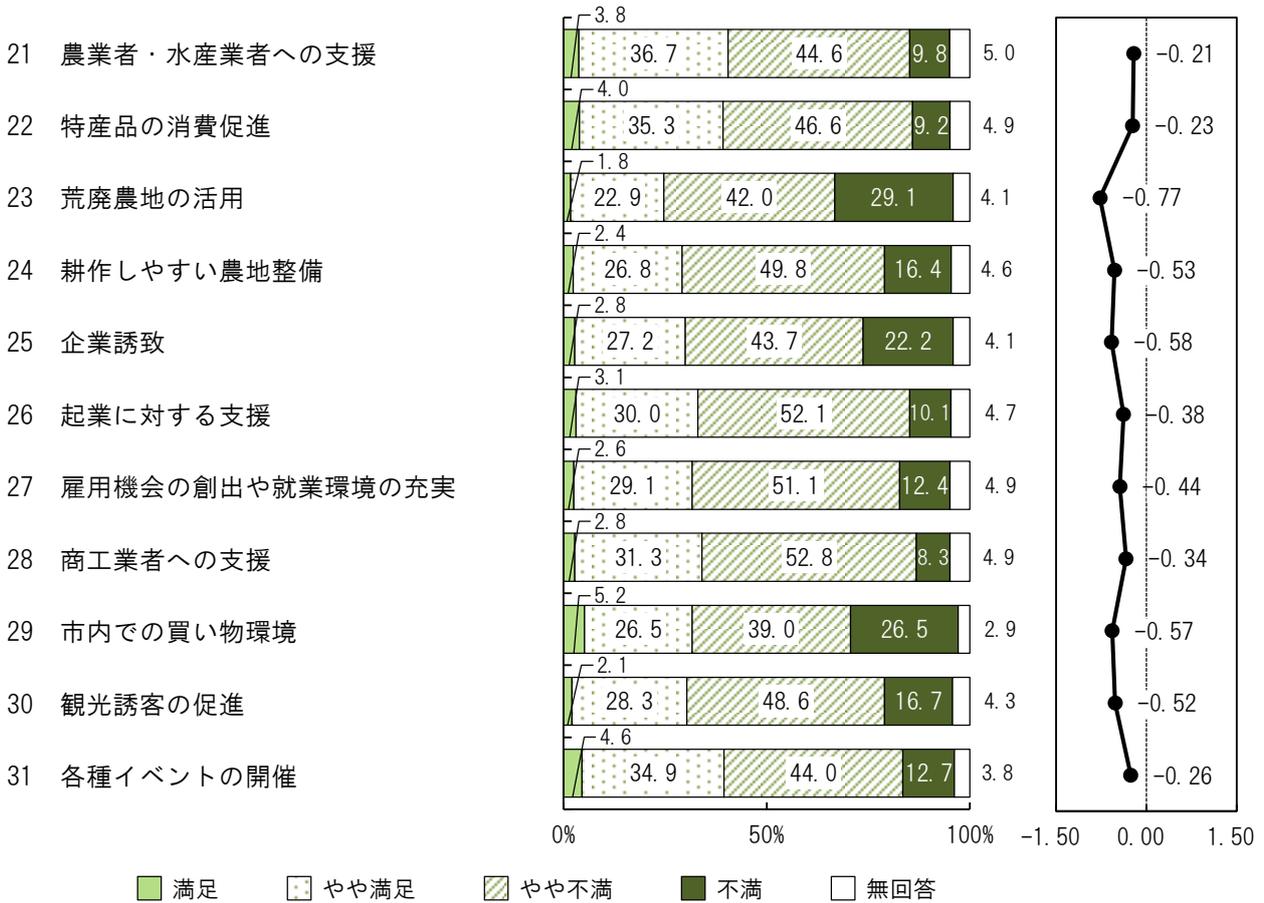
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「19 図書館の機能充実」は満足度が最も高くなっています。一方で、「15 子どもを通わせたいと思える学校環境」は重要度が最も高いものの、満足度は3番目に低くなっています。

(26) 満足度・重要度【産業経済】

【産業経済】

《満足度》

令和6年度 (n=654)



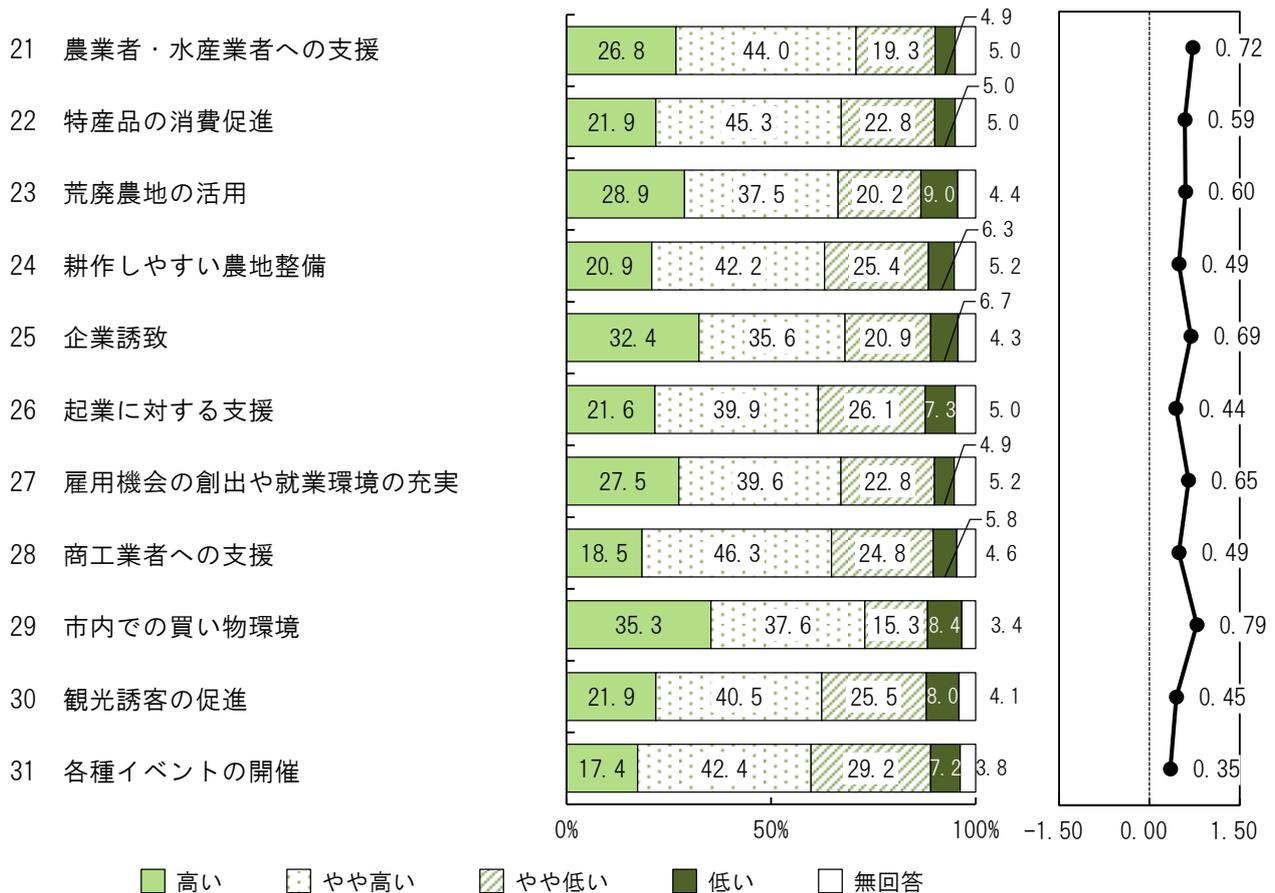
満足度が最も高い項目は、《21 農業者・水産業者への支援》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が40.5%、評価点が-0.21点となっています。次に満足度が高い項目は、《22 特産品の消費促進》（-0.23点）、《31 各種イベントの開催》（-0.26点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《23 荒廃農地の活用》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が71.1%、評価点が-0.77点となっています。次に満足度が低い項目は、《25 企業誘致》（-0.58点）、《29 市内での買い物環境》（-0.57点）などとなっています。

【産業経済】

《重要度》

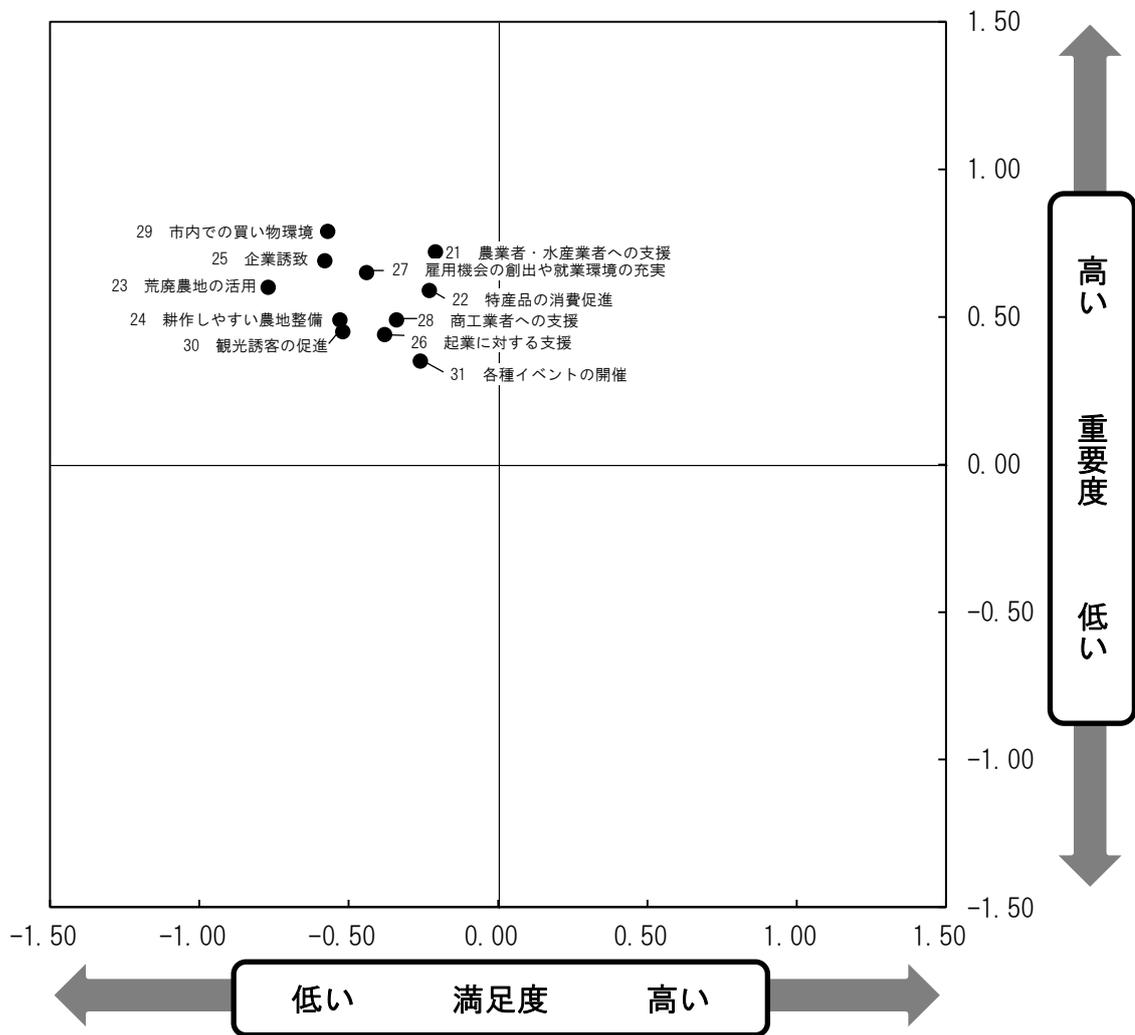
令和6年度 (n=654)



重要度が最も高い項目は、《29 市内での買い物環境》で、『高い』(「高い」+「やや高い」)が72.9%、評価点が0.79点となっています。次に重要度が高い項目は、《21 農業者・水産業者への支援》(0.72点)、《25 企業誘致》(0.69点)などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《31 各種イベントの開催》で、『低い』(「やや低い」+「低い」)が36.4%、評価点が0.35点となっています。次に重要度が低い項目は、《26 起業に対する支援》(0.44点)、《30 観光誘客の促進》(0.45点)などとなっています。

【産業経済】評価項目	満足度	重要度
21 農業者・水産業者への支援	-0.21	0.72
22 特産品の消費促進	-0.23	0.59
23 荒廃農地の活用	-0.77	0.60
24 耕作しやすい農地整備	-0.53	0.49
25 企業誘致	-0.58	0.69
26 起業に対する支援	-0.38	0.44
27 雇用機会の創出や就業環境の充実	-0.44	0.65
28 商工業者への支援	-0.34	0.49
29 市内での買い物環境	-0.57	0.79
30 観光誘客の促進	-0.52	0.45
31 各種イベントの開催	-0.26	0.35



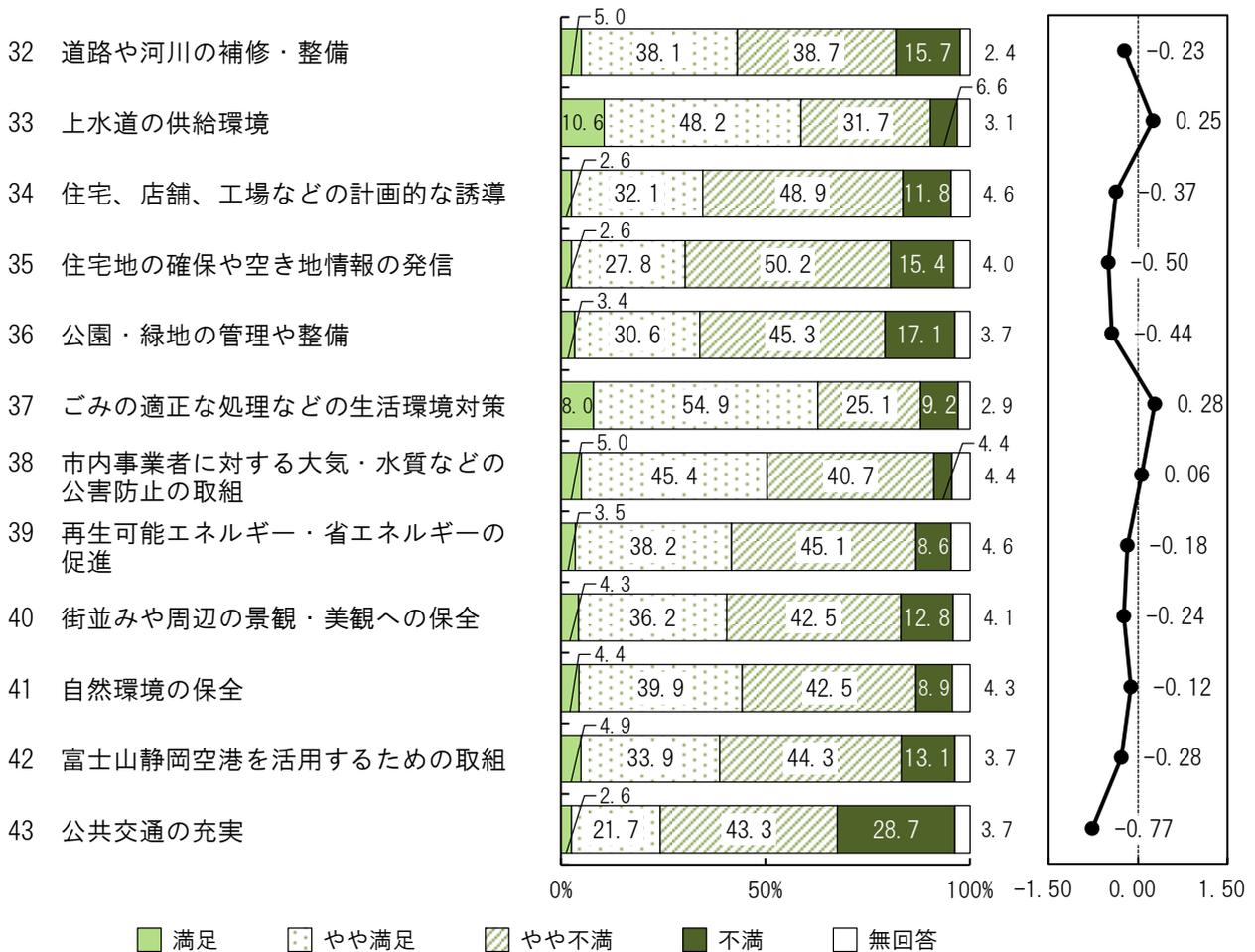
散布図でみると、重要度は高いが満足度の低い第2象限にすべての項目が位置しており、その中でも、《21 農業者・水産業者への支援》は満足度が最も高くなっています。一方で、《25 企業誘致》は重要度が3番目に高いものの、満足度は2番目に低くなっています。

(27) 満足度・重要度【生活基盤】

【生活基盤】

《満足度》

令和6年度 (n=654)



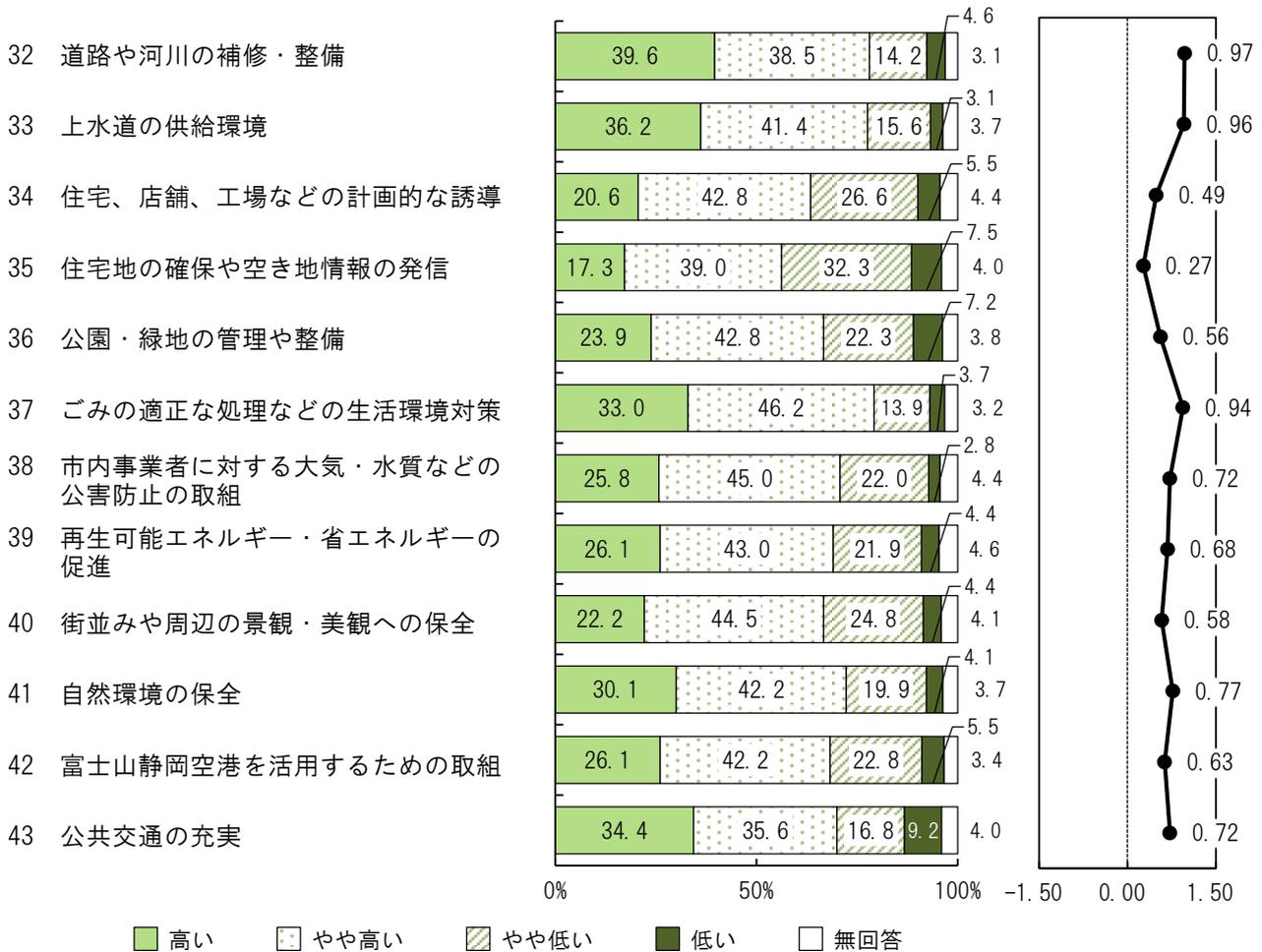
満足度が最も高い項目は、《37 ごみの適正な処理などの生活環境対策》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が62.8%、評価点が0.28点となっています。次に満足度が高い項目は、《33 上水道の供給環境》（0.25点）、《38 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組》（0.06点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《43 公共交通の充実》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が72.0%、評価点が-0.77点となっています。次に満足度が低い項目は、《35 住宅地の確保や空き地情報の発信》（-0.50点）、《36 公園・緑地の管理や整備》（-0.44点）などとなっています。

【生活基盤】

《重要度》

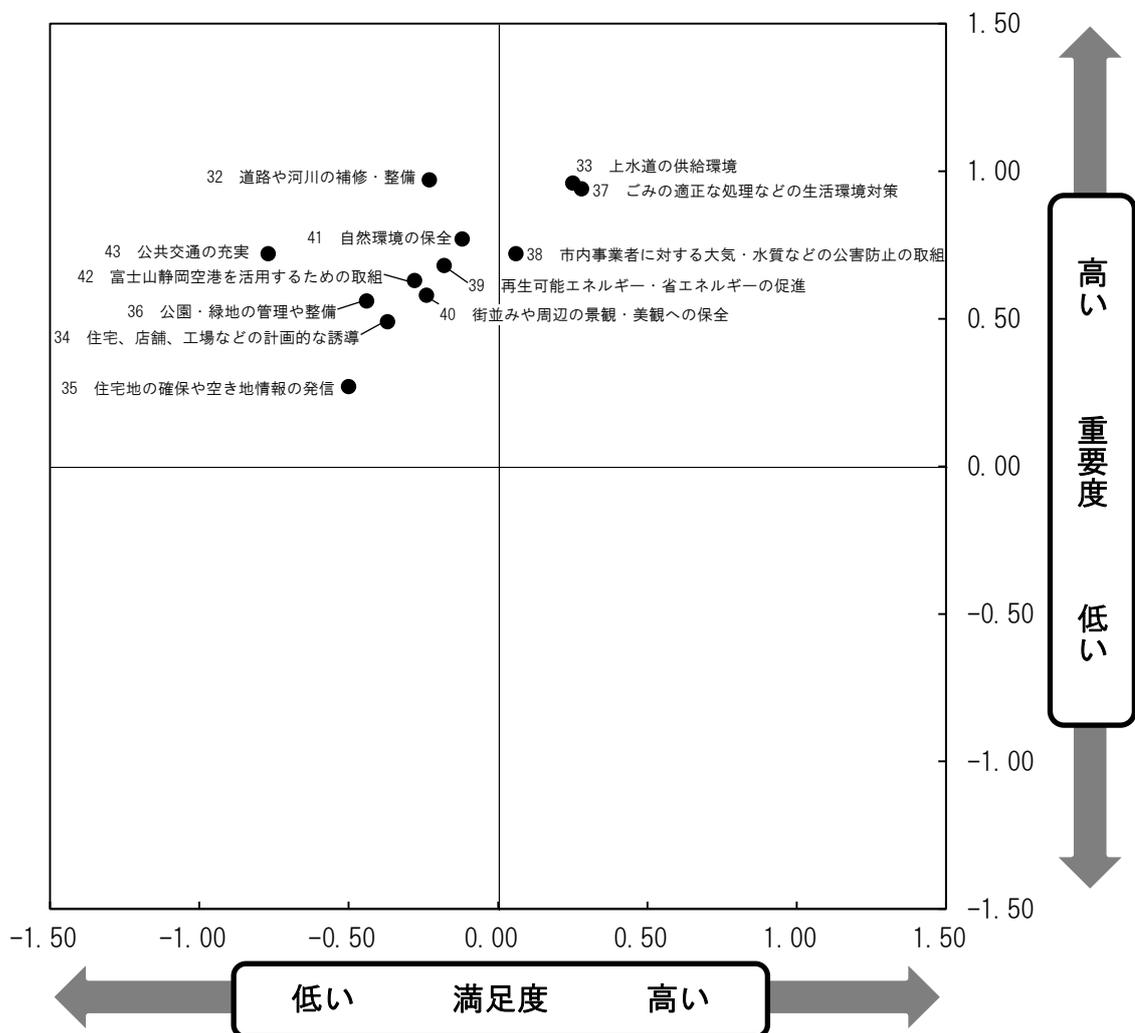
令和6年度 (n=654)



重要度が最も高い項目は、《32 道路や河川の補修・整備》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が78.1%、評価点が0.97点となっています。次に重要度が高い項目は、《33 上水道の供給環境》（0.96点）、《37 ごみの適正な処理などの生活環境対策》（0.94点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《35 住宅地の確保や空き地情報の発信》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が39.8%、評価点が0.27点となっています。次に重要度が低い項目は、《34 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導》（0.49点）、《36 公園・緑地の管理や整備》（0.56点）などとなっています。

【生活基盤】評価項目	満足度	重要度
32 道路や河川の補修・整備	-0.23	0.97
33 上水道の供給環境	0.25	0.96
34 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	-0.37	0.49
35 住宅地の確保や空き地情報の発信	-0.50	0.27
36 公園・緑地の管理や整備	-0.44	0.56
37 ごみの適正な処理などの生活環境対策	0.28	0.94
38 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	0.06	0.72
39 再生可能エネルギー・省エネルギーの促進	-0.18	0.68
40 街並みや周辺の景観・美観への保全	-0.24	0.58
41 自然環境の保全	-0.12	0.77
42 富士山静岡空港を活用するための取組	-0.28	0.63
43 公共交通の充実	-0.77	0.72



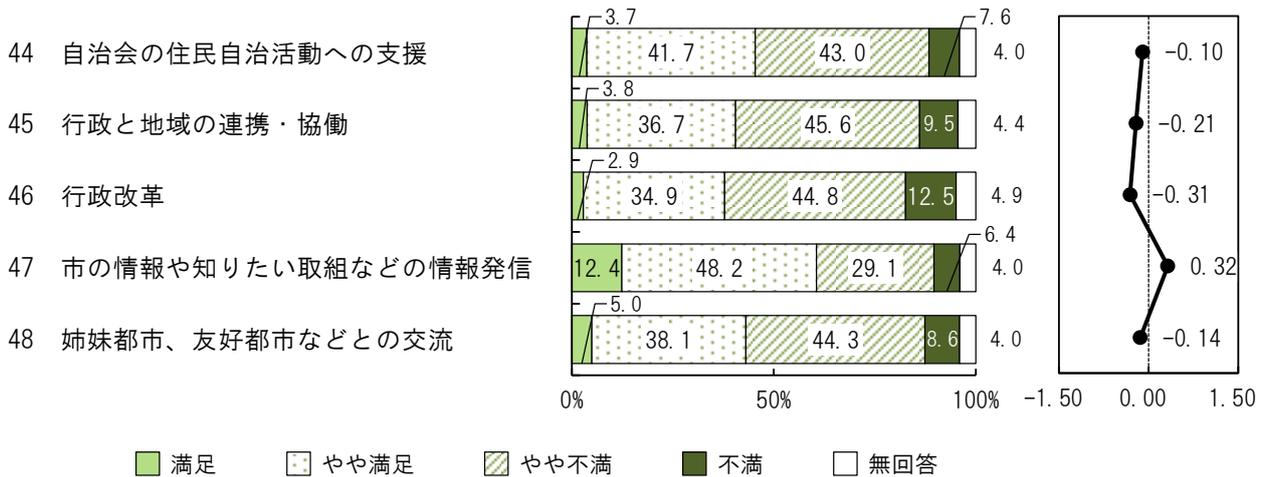
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「37 ごみの適正な処理などの生活環境対策」は満足度が最も高くなっています。一方で、「39 公共交通の充実」は重要度が5番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(28) 満足度・重要度【市政経営】

【市政経営】

《満足度》

令和6年度 (n=654)



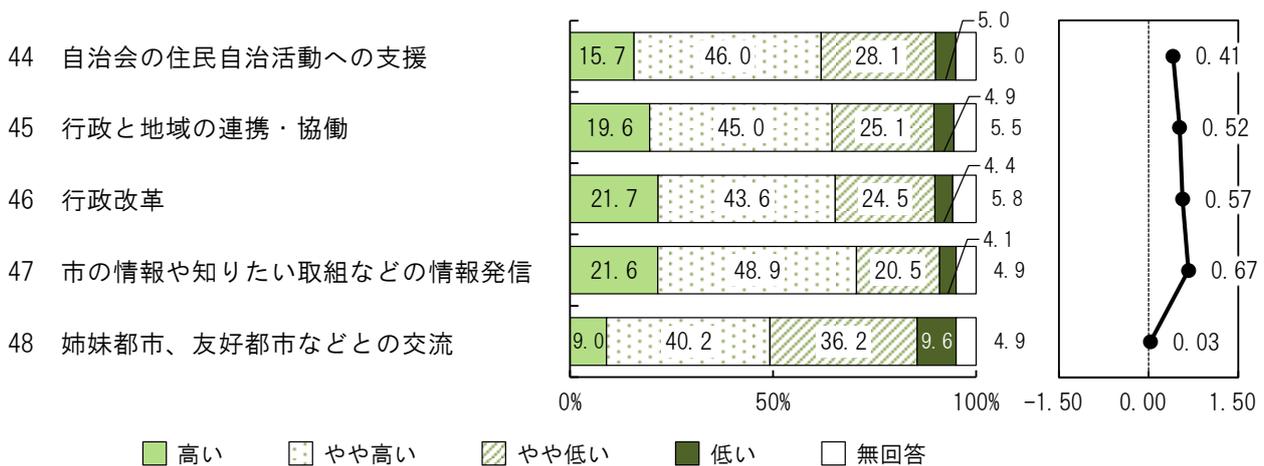
満足度が最も高い項目は、《47 市の情報や知りたい取組などの情報発信》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が60.6%、評価点が0.32点となっています。次に満足度が高い項目は、《44 自治会の住民自治活動への支援》（-0.10点）、《48 姉妹都市、友好都市などとの交流》（-0.14点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《46 行政改革》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が57.3%、評価点が-0.31点となっています。次に満足度が低い項目は、《45 行政と地域の連携・協働》（-0.21点）、《48 姉妹都市、友好都市などとの交流》（-0.14点）などとなっています。

【市政経営】

《重要度》

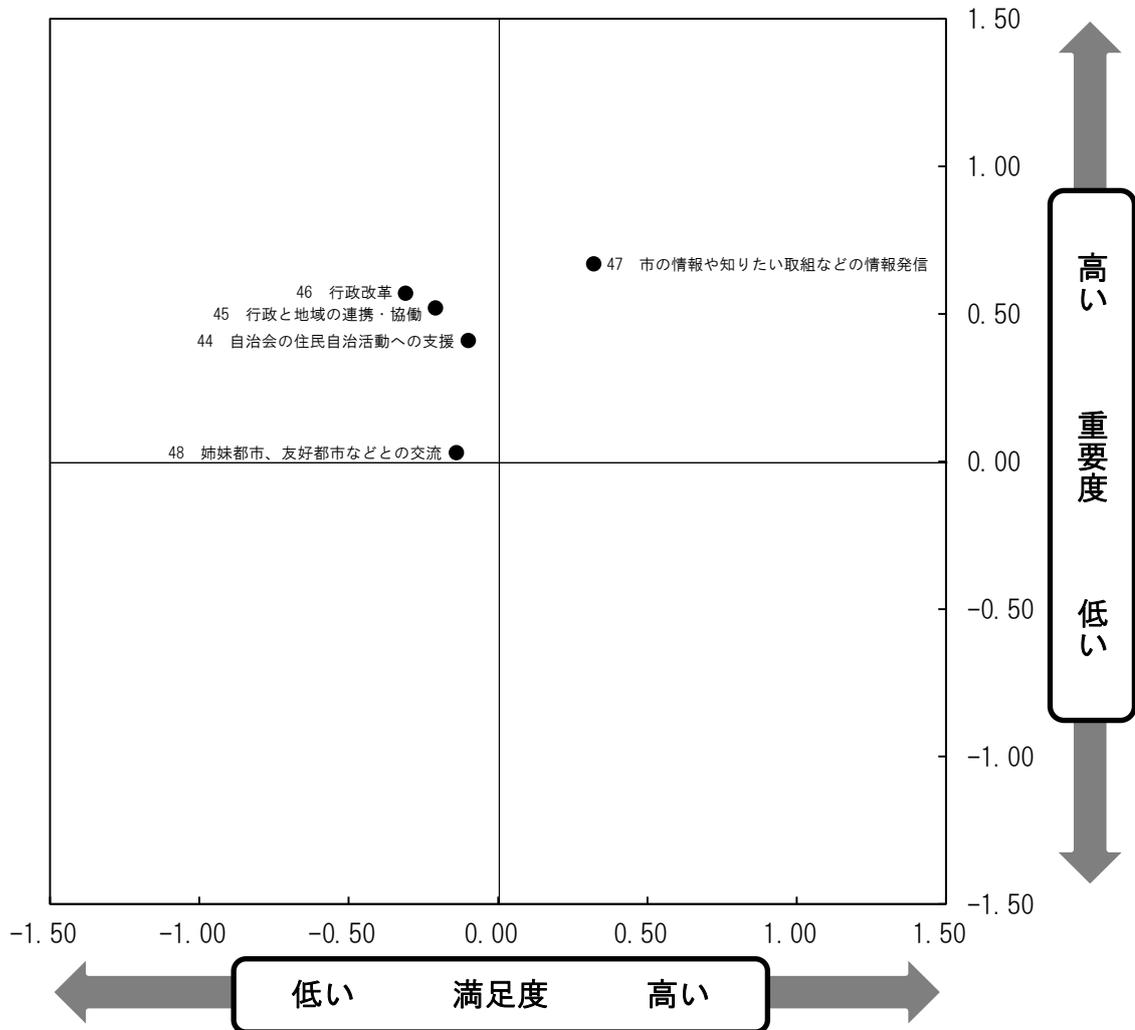
令和6年度 (n=654)



重要度が最も高い項目は、《47 市の情報や知りたい取組などの情報発信》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が70.5%、評価点が0.67点となっています。次に重要度が高い項目は、《46 行政改革》（0.57点）、《45 行政と地域の連携・協働》（0.52点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《48 姉妹都市、友好都市などとの交流》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が45.9%、評価点が0.03点となっています。次に重要度が低い項目は、《44 自治会の住民自治活動への支援》（0.41点）、《45 行政と地域の連携・協働》（0.52点）などとなっています。

【市政経営】評価項目	満足度	重要度
44 自治会の住民自治活動への支援	-0.10	0.41
45 行政と地域の連携・協働	-0.21	0.52
46 行政改革	-0.31	0.57
47 市の情報や知りたい取組などの情報発信	0.32	0.67
48 姉妹都市、友好都市などとの交流	-0.14	0.03

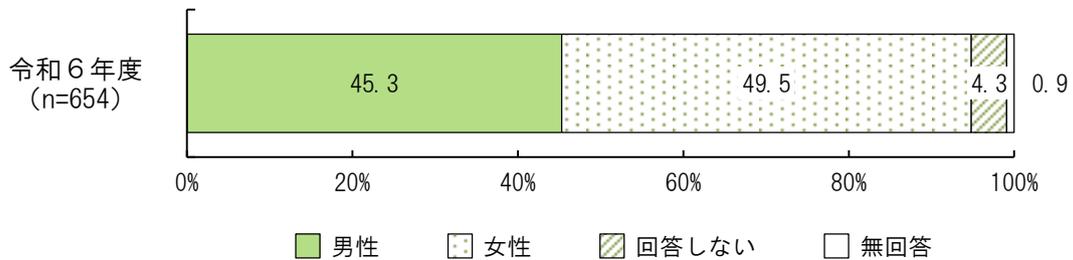


散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「47 市の情報や知りたい取組などの情報発信」は満足度が最も高く、満足度も重要度も高い第1象限に唯一位置しています。一方で、「46 行政改革」は重要度が2番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

⑫回答者自身のことについて

(29) 回答者の属性 ①性別

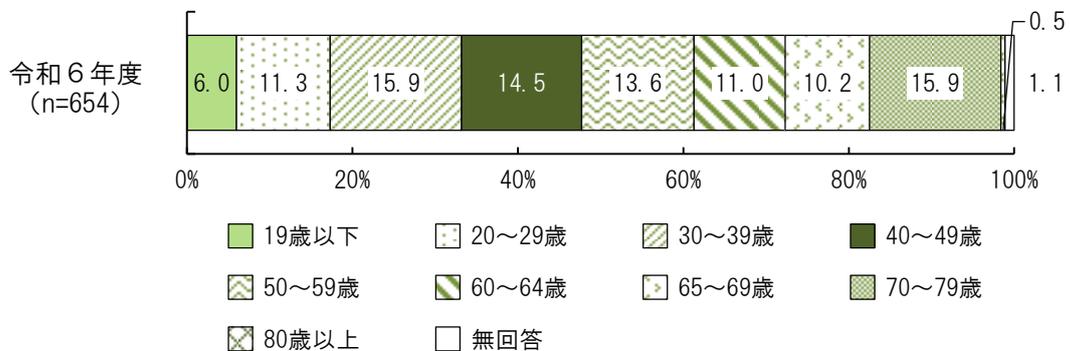
問23：1 あなたの性別は？（○は1つ）



回答者の性別は、「男性」が45.3%、「女性」が49.5%、「回答しない」が4.3%となっています。

(30) 回答者の属性 ②年齢

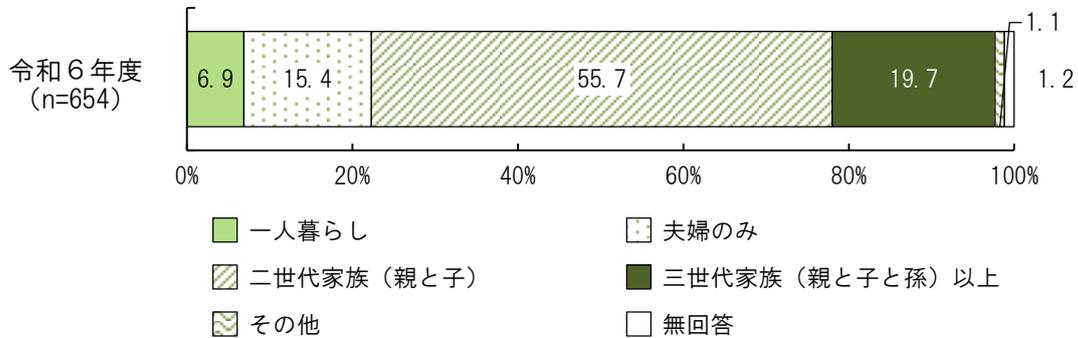
問23：2 あなたの年齢は？（○は1つ）



回答者の年齢は、「30~39歳」「70~79歳」がともに15.9%と最も多く、次いで「40~49歳」が14.5%、「50~59歳」が13.6%などとなっています。

(31) 回答者の属性 ③同居世帯の構成

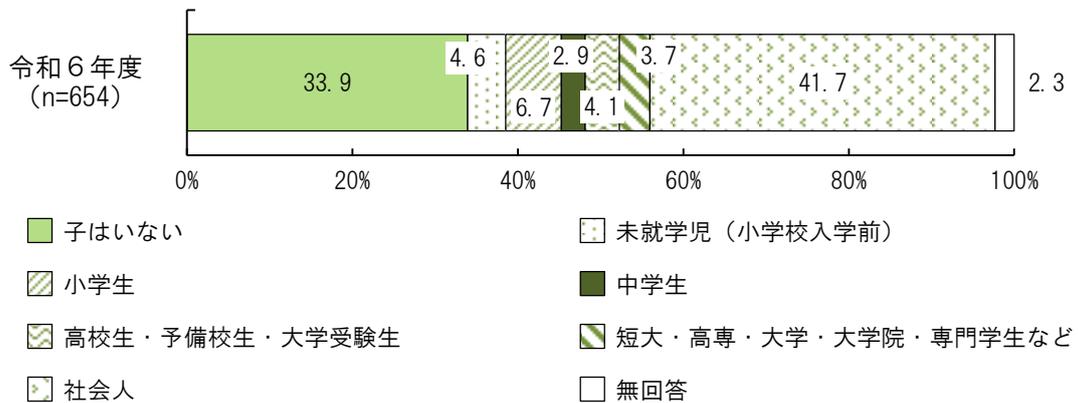
問23：3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○は1つ）



回答者の同居世帯の構成は、「二世世代家族 (親と子)」が 55.7% と最も多く、次いで「三世世代家族 (親と子と孫) 以上」が 19.7%、「夫婦のみ」が 15.4% などとなっています。

(32) 回答者の属性 ④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ

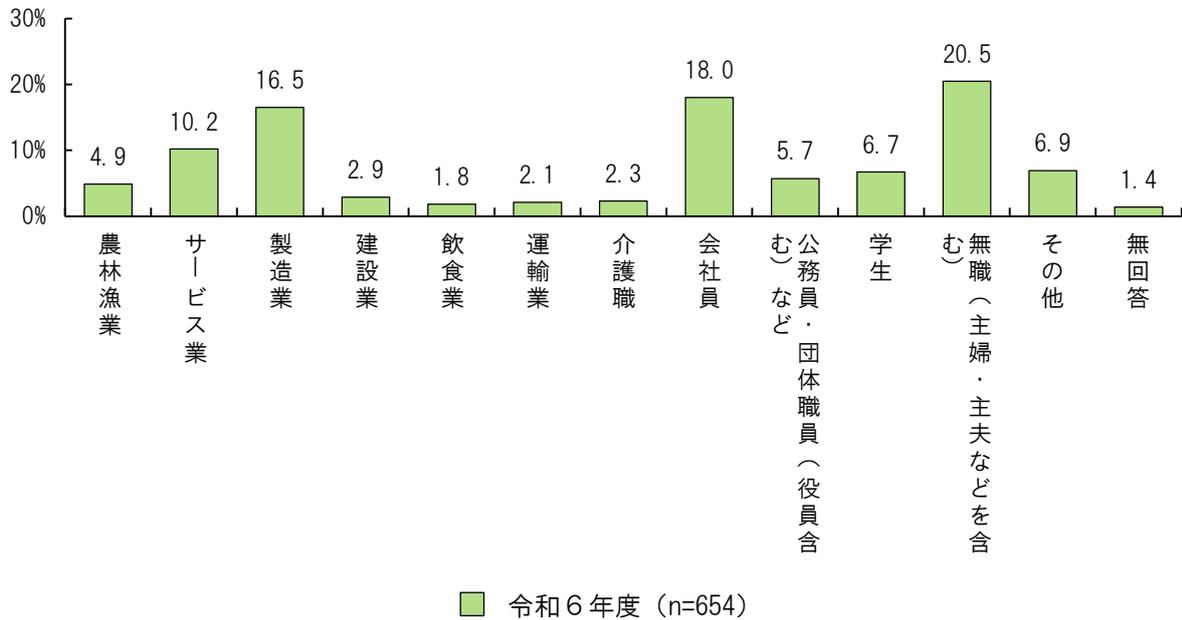
問23：4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。（○は1つ）



回答者の子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろは、「社会人」が 41.7% と最も多く、次いで「子はいない」が 33.9%、「小学生」が 6.7% などとなっています。

(33) 回答者の属性 ⑤職業

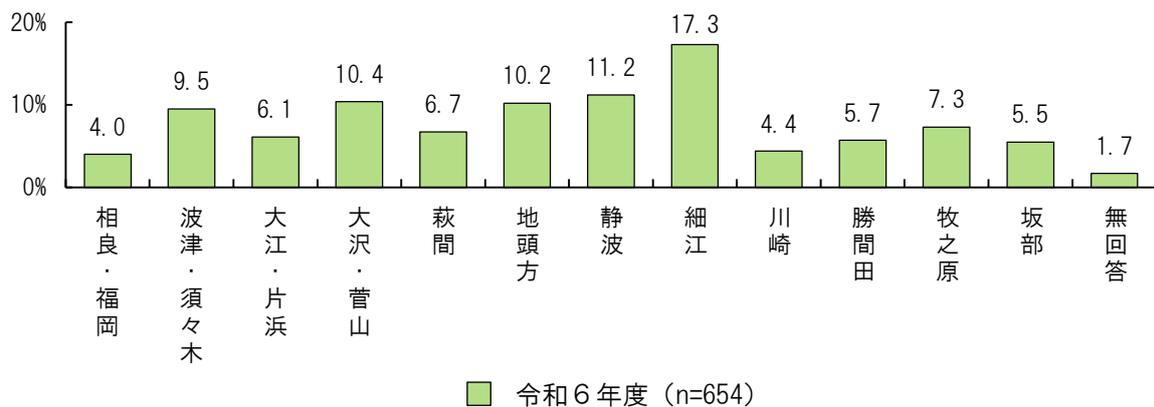
問23：5 あなたの職業は？（○は1つ）



回答者の職業は、「無職（主婦・主夫などを含む）」が 20.5%と最も多く、次いで「会社員」が 18.0%、「製造業」が 16.5%などとなっています。

(34) 回答者の属性 ⑥居住地域

問23：6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？（○は1つ）



回答者の居住地域は、「細江」が 17.3%と最も多く、次いで「静波」が 11.2%、「大沢・菅山」が 10.4%などとなっています。

牧之原市での暮らしについて、お聞かせください。

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 住み続けたい | 2 市内の他の場所へ移りたい |
| 3 市外へ移りたい | 4 わからない |

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

問2 他の場所へ移りたい理由は何ですか？(○は3つ以内)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから | 2 通勤や通学など交通面が不便だから |
| 3 道路などの生活基盤が整備されていないから | 4 子育てや教育の環境が良くないから |
| 5 医療や介護の環境が良くないから | 6 自然環境が悪化しているから |
| 7 地震や津波などの被災のおそれがあるから | 8 人間関係やしきたり等が煩わしいから |
| 9 知人や親族がないから | 10 故郷ではないから |
| 11 勤めたい会社が市内にないから | |
| 12 その他 (具体的に : _____) | |

問3 市内で転居するとしたら、どんな場所に住みたいですか？(○は3つ以内)

※転居する予定がない方もお答えください。

- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| 1 災害の心配がないところ | |
| 2 災害の心配はあるが、対策がされているところ (避難タワーや避難路など) | |
| 3 市街地周辺で高台エリア | |
| 4 幹線道路やインターチェンジ周辺など交通の利便性が高いところ | |
| 5 公共交通機関へのアクセスの良いところ | 6 商店や公共施設の近く |
| 7 学校の近く | 8 職場の近く |
| 9 病院や医療施設の近く | 10 新興住宅地 |
| 11 自然豊かで緑の多いところ | |
| 12 昔から慣れ親しんだところ (過去に住んでいた、通い慣れた場所など) | |
| 13 その他 (具体的に : _____) | |

問4 あなたには、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？

(○は1つ)

強くおすすめしたい ← どちらでもない → 全く思わない

10 ・ 9 ・ 8 ・ 7 ・ 6 ・ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ 0

問5 牧之原市をおすすめしたい理由は何ですか？(○は3つ以内)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 海岸線や里山などの景観 | 2 四季の風景 |
| 3 豊かな食 | 4 ものづくり産業 |
| 5 特産物 | 6 魅力ある店舗 |
| 7 観光施設、観光イベント | 8 地域の祭りや伝統行事 |
| 9 歴史文化 | 10 交通インフラ |
| 11 地域の活動や人のつながり | 12 牧之原市らしい暮らし |
| 13 子育て | 14 賑わい創出の取組 |
| 15 活躍できる場があること | |
| 16 その他（具体的に： _____) | |

問6 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうが良い |
| 2 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうが良い |
| 3 どちらともいえない |
| 4 わからない |
| 5 その他（具体的に： _____) |

「女性にやさしいまち」について、お聞かせください。

当市では、若者の市外への流出が進んでおり、それに伴い出生数も大きく減少しています。当市の男女別の人口構成では、20代から40代で女性が男性に比べて少ないため、若者世代の定住や出生数を増やすためには、女性の定住意欲を高めるような事業の創出、施策の充実が必要であると考えています。

そのため、当市は「女性にやさしいまち」を目指し、仕事、結婚、子育て、日常生活の各ライフステージにおいて、女性が暮らしやすく、活躍できる環境を充実していきます。

問7 あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり思わない | 5 まったく思わない | 6 わからない |

問8 あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？また、選んだ項目について、具体的に取組んでほしいことがあればカッコ内に記入してください。(○は2つ以内)

- | |
|---|
| 1 仕事【例：働きたい職種がある、育児と仕事の両立ができるなど】
(具体的に：) |
| 2 結婚【例：出会いの場があるなど】
(具体的に：) |
| 3 子育て【例：子どもを産み育てやすい環境づくりなど】
(具体的に：) |
| 4 日常生活【例：買い物や食事などで楽しく過ごせる施設の充実など】
(具体的に：) |
| 5 その他
(具体的に：) |

「子育て」について、お聞かせください。

問9 あなたは、牧之原市が子どもを育てやすい環境だと思いますか？(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり思わない | 5 まったく思わない | 6 わからない |

問10 あなたは、子どもを育てやすい環境にするためには、市はどんなことに力を入れるべきだと思いますか？(○は3つ以内)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 小児科や産婦人科などの医療機関の充実 | 2 親子で遊べる施設や公園の整備 |
| 3 子育てに関する経済的支援の充実 | 4 悩みごとを話せる相談窓口の充実 |
| 5 教育・文化水準の向上 | 6 子どもを預かる施設の充実 |
| 7 男性の育児・家事参加の促進 | 8 地域で子どもを育てる意識の向上 |
| 9 子育てについての積極的な情報提供 | 10 仕事や家事などとの両立の支援 |
| 11 その他(具体的に: _____) | |

「教育」について、お聞かせください。

当市では、児童生徒数の減少や施設の老朽化という課題を踏まえ、平成29年度から子どもたちにとっての望ましい教育環境について検討を続けてきました。キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを推進し、子どもたちに「次代を切り拓く力」を育むとともに、安全・安心で学びやすく、通いたい・通わせたい・働きたいと思える魅力的な義務教育学校をつくります。義務教育学校は、1～9年生が同じ教育方針の下、同じ施設で過ごす施設一体型とし、榛原地域は2030年度、相良地域は2033年度の開校を予定しています。

問11 あなたは、義務教育学校の整備を踏まえ、今後、子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？(○は3つ以内)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 教科の基礎的な学力 | 2 実際の場面で使える英語力 |
| 3 コンピュータを活用する力 | 4 音楽・美術など芸術面の能力や情操 |
| 5 体力や運動能力 | 6 ものごとを論理的に考える力 |
| 7 自分の考えを表現する力 | 8 ものごとを計画的に行う力 |
| 9 新しいものを生み出す創造的な力 | 10 自ら学ぼうとする意欲 |
| 11 善悪を判断する力 | 12 人間関係を築く力(コミュニケーション力) |
| 13 社会で役立とうとする心 | 14 基本的な生活習慣 |
| 15 その他(具体的に: _____) | |

「多文化共生」について、お聞かせください。

当市は、農業や自動車産業が主要産業で、約 2,500 人（令和 6 年 4 月 1 日時点）の外国籍住民が暮らしています。今後は、国内労働人口の減少が予測されることから、外国籍従業員の力が必要となり、市内で暮らす外国籍住民が増えると想定されています。

こういったことに対応するため、当市では、16 歳以上の外国籍の方を対象とした日本での日常会話や生活習慣を学ぶための「はじめての日本語教室」や、小中学校編入前の外国籍の児童生徒が通う日本語初期支援教室「いっぽ」を実施しています。

問 12 あなたは、外国籍住民にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思えますか？また、選んだ項目について、具体的に取り組んでほしいことがあれば、カッコ内に記入してください。（〇は2つ以内）

1 言語サポート【例：日本語習得の支援など】 (具体的に：)
2 日常生活サポート【例：ごみ出しや地域での生活ルールなどの周知など】 (具体的に：)
3 雇用サポート【例：企業や働くことに関する情報の周知など】 (具体的に：)
4 相談できる窓口【例：悩みや相談を受けてくれる窓口の設置など】 (具体的に：)
5 市民の理解【例：やさしい日本語を使って話をするなど】 (具体的に：)
6 その他 (具体的に：)

「公共施設の最適化」について、お聞かせください。

日本では、昭和 40 年代から 50 年代における、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。

これらの公共施設は、老朽化により、近い将来一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、人口や経済構造が変化の中で、全ての公共施設を維持・更新していくことが財政的に難しくなるため、当市では公共施設の最適化に向け、計画的に取り組んでいきます。

問 13 牧之原市では、この「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？（〇はいくつでも）

1 学校再編の取組	2 保育施設の民営化	3 片浜小学校の利活用
4 消防団詰所の統廃合	5 図書館の整備	6 老朽化施設の取り壊し
7 多目的体育館の整備	8 道の駅の整備	9 知らない
10 その他（具体的に：)		

問17 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は何だと思えますか？(○は3つ以内)

- 1 健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）
- 2 食事のバランスや栄養に関する食育講座の開催・情報発信
- 3 運動しやすい環境の充実や整備
- 4 良質な睡眠のとり方やストレス軽減・解消に関する啓発
- 5 適正飲酒に関する啓発
- 6 受動喫煙防止の環境整備や啓発
- 7 むし歯予防や歯周病予防の健診や相談
- 8 歯科衛生士や管理栄養士等の専門職による健康講座
- 9 認知症予防の教室や相談
- 10 その他（具体的に： _____)

「行政サービスのデジタル化」について、お聞かせください。

デジタル技術が日々進歩し市民生活に浸透する中、各自治体においても新たな生活様式への変革を図る「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の動きを加速させています。

当市としても、将来にわたり持続可能で安定した行政運営を行い、市民の利便性を向上させるため、行政サービスのデジタル化を計画的に進めています。

問18 あなたは現在、個人でインターネットを利用していますか？利用している場合は、ご利用端末にすべて○をつけてください。(○はいくつでも)

インターネットを 利用している	1 パソコン	2 スマートフォン
	3 携帯電話（スマートフォンを除く）	4 タブレット型端末
	5 家庭用ゲーム機	6 インターネットに接続できるテレビ
	7 その他（具体的に： _____）	
インターネットを 利用していない	8 インターネットは利用していない	

問 19 デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？

(○は3つ以内)

- 1 窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る
- 2 オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる
- 3 市からの情報提供が強化される
- 4 業務の効率化により行政コストが削減できる
- 5 窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる
- 6 飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる
- 7 行政が保有するデータを利用・加工できる（オープンデータ）
- 8 パソコンやスマートフォンの操作支援や講習会が受けられる
- 9 期待することはない
- 10 その他（具体的に： _____)

「市からの情報発信」について、お聞かせください。

問 20 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？(○は3つ以内)

- | | | |
|----------------------|-------------|---------|
| 1 子育て | 2 健康・医療・福祉 | 3 防災・防犯 |
| 4 道路整備 | 5 観光・イベント | 6 環境 |
| 7 教育 | 8 産業 | 9 生活 |
| 10 スポーツ | 11 文化・歴史・芸術 | |
| 12 その他（具体的に： _____) | | |

問 21 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------------|-------------|--------------|
| 1 広報まきのほら | 2 ホームページ | 3 Facebook |
| 4 市公式LINE | 5 教育委員会だより | 6 新聞、テレビ、ラジオ |
| 7 区、町内会の会合 | 8 市民グループの会合 | 9 議員の話 |
| 10 職員の話 | 11 公共施設の資料等 | 12 議会だより |
| 13 その他（具体的に： _____) | | |

「行政サービス」について、お聞かせください。

問22 あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。

※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族・知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○をつけてください。

	(○は1つずつ)				(○は1つずつ)			
	満足度 (評価できる取組だと思うか)				重要度 (重要度が高い取組だと思うか)			
	満足	←→		不満	高い	←→		低い
【記入例】 2 自主防災組織の強化	1	2	3	4	1	2	3	4
防災								
1 震災・水害・浸水対策	1	2	3	4	1	2	3	4
2 自主防災組織の強化 (防災訓練や防災資機材の補助など)	1	2	3	4	1	2	3	4
3 火災・救急などの消防体制	1	2	3	4	1	2	3	4
4 盗難などの犯罪防止	1	2	3	4	1	2	3	4
5 学校や地域で子どもを守る活動 (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
6 道路交通の安全対策	1	2	3	4	1	2	3	4
健康福祉								
7 子育て支援	1	2	3	4	1	2	3	4
8 妊娠・出産・子育てについての経済的支援	1	2	3	4	1	2	3	4
9 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
10 高齢者福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
11 障がい者福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
12 健康づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
13 地域医療や榛原病院の体制	1	2	3	4	1	2	3	4
14 地域福祉活動	1	2	3	4	1	2	3	4

	満足度 (評価できる取組だと思うか)				重要度 (重要度が高い取組だと思うか)							
	満足	←→		不満	高い	←→		低い				
教育文化												
15	子どもを通わせたいと思える学校環境（学習内容、学校行事、地域連携など）				1	2	3	4	1	2	3	4
16	学校再編の推進				1	2	3	4	1	2	3	4
17	生涯学習活動の充実				1	2	3	4	1	2	3	4
18	郷土の歴史や芸術・文化に触れる機会				1	2	3	4	1	2	3	4
19	図書館の機能充実				1	2	3	4	1	2	3	4
20	スポーツ環境の充実				1	2	3	4	1	2	3	4
産業経済												
21	農業者・水産業者への支援				1	2	3	4	1	2	3	4
22	特産品の消費促進				1	2	3	4	1	2	3	4
23	荒廃農地の活用				1	2	3	4	1	2	3	4
24	耕作しやすい農地整備				1	2	3	4	1	2	3	4
25	企業誘致				1	2	3	4	1	2	3	4
26	起業に対する支援				1	2	3	4	1	2	3	4
27	雇用機会の創出や就業環境の充実				1	2	3	4	1	2	3	4
28	商工業者への支援				1	2	3	4	1	2	3	4
29	市内での買い物環境				1	2	3	4	1	2	3	4
30	観光誘客の促進				1	2	3	4	1	2	3	4
31	各種イベントの開催				1	2	3	4	1	2	3	4

	満足度 (評価できる取組だと思うか)				重要度 (重要度が高い取組だと思うか)			
	満足	←→		不満	高い	←→		低い
生活基盤								
32 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
33 上水道の供給環境	1	2	3	4	1	2	3	4
34 住宅、店舗、工場などの計画的な誘導	1	2	3	4	1	2	3	4
35 住宅地の確保や空き家情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4
36 公園・緑地の管理や整備	1	2	3	4	1	2	3	4
37 ごみの適正な処理などの生活環境対策	1	2	3	4	1	2	3	4
38 市内事業者に対する大気・水質などの公害防止の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
39 再生可能エネルギー・省エネルギーの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
40 街並みや周辺の景観・美観への保全	1	2	3	4	1	2	3	4
41 自然環境の保全 (海・川・森林・生物の保全活動)	1	2	3	4	1	2	3	4
42 富士山静岡空港を活用するための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
43 公共交通の充実(バス、デマンド乗合タクシーなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
市政経営								
44 自治会の住民自治活動への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
45 行政と地域の連携・協働	1	2	3	4	1	2	3	4
46 行政改革(効果的、効率的な運営)	1	2	3	4	1	2	3	4
47 市の情報や知りたい取組などの情報発信(広報紙や市公式LINEなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
48 姉妹都市、友好都市などとの交流	1	2	3	4	1	2	3	4

あなたご自身について、お聞かせください。

問 23 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1 あなたの性別は？

- 1 男性
- 2 女性
- 3 回答しない

2 あなたの年齢は？

- 1 19歳以下 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳 5 50～59歳
- 6 60～64歳 7 65～69歳 8 70～79歳 9 80歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？

- 1 一人暮らし 2 夫婦のみ 3 二世世代家族（親と子）
- 4 三世世代家族（親と子と孫）以上 5 その他（具体的に： ）

4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。

- 1 子はいない 2 未就学児（小学校入学前） 3 小学生
- 4 中学生 5 高校生・予備校生・大学受験生
- 6 短大・高専・大学・大学院・専門学生など 7 社会人（2～6に該当しない場合を含む）

5 あなたの職業は？

- 1 農林漁業 2 サービス業 3 製造業 4 建設業
- 5 飲食業 6 運輸業 7 介護職 8 会社員
- 9 公務員・団体職員（役員含む）など 10 学生
- 11 無職（主婦・主夫などを含む） 12 その他（具体的に： ）

6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

- 1 相良・福岡 2 波津・須々木 3 大江・片浜 4 大沢・菅山
- 5 萩間 6 地頭方 7 静波 8 細江
- 9 川崎 10 勝間田 11 牧之原 12 坂部

次ページの設問へのご回答もお願いします。

令和6年度 牧之原市 市民意識調査
報告書

発行：令和6年6月
発行者：牧之原市

企画・編集：牧之原市役所 企画政策部 企画政策課
〒421-0495

静岡県牧之原市静波 447-1

TEL 0548-23-0045

FAX 0548-23-0059

E-mail seisaku@city.makinohara.lg.jp

URL <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>